

## 食品安全モニター課題報告

### 「食品安全委員会から入手した情報の利用等について」（平成 26 年 2 月実施）の結果

#### 1. 調査目的

食品安全委員会では、食品安全モニターの方を対象に、食品の安全性に関する情報等について、平成 26 年 2 月 14 日から 2 月 25 日を調査実施期間として、食品安全モニター 470 名を対象に調査を実施した。（有効回答数 381 名（81.1%））

#### 2. 調査項目

調査項目は、次の 2 項目である。

##### 1) 食品安全委員会から入手した情報の利用について

（食品安全委員会から入手した情報 A～D<sup>※1</sup>の家族への提供の有無、「家族に話したことがある」情報 A～D について、話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報等）

##### 2) 食品安全モニター会議においてのグループ討議について

（平成 25 年度の食品安全モニター会議のグループ討議で、もっと話し合いたいと思ったテーマ）

※1：情報 A～D

**情報 A** 「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、「食中毒予防のためには十分な加熱や手洗い、適切な保存が重要である」等、食品の安全性・食生活に関する一般的な情報（以下「一般情報」という。）

**情報 B** リスク分析（アナリシス）の仕組み、食品安全委員会と各リスク管理機関の役割等、食品の安全性を確保する行政の取組に関する情報（以下「行政取組情報」という。）

**情報 C** モニター会議や、それ以外に食品安全委員会が行った説明会等（ご自身が出席したものに限り）において取り上げられた、特定のハザード<sup>※2</sup>や個別の食品健康影響評価に関する情報（以下「特定ハザード情報（会議）」という。）

**情報 D** 情報 C 以外の、特定のハザードや個別の食品健康影響評価に関する情報（以下「特定ハザード情報（会議以外）」）

※2：農薬、食品添加物、化学物質・汚染物質（メチル水銀等）、遺伝子組換え食品等をいう。

#### 3. 実施期間

平成 26 年 2 月 14 日から 2 月 25 日

#### 4. 対象

食品安全モニター	470 名	
有効回答数	381 名	（有効回答率：81.1%）

## 5. 食品安全モニターの回答者数の内訳

### ① 男女別、年齢別

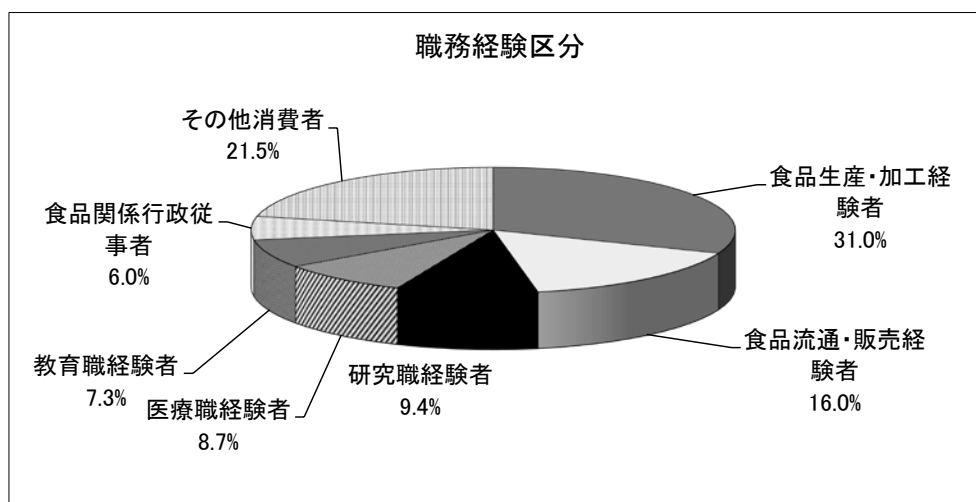
	男性	女性	人数計	割合
20～29 歳	3 人	4 人	7 人	1.8%
30～39 歳	22 人	39 人	61 人	16.0%
40～49 歳	37 人	61 人	98 人	25.7%
50～59 歳	56 人	42 人	98 人	25.7%
60～69 歳	79 人	16 人	95 人	24.9%
70 歳以上	17 人	5 人	22 人	5.8%
全体	214 人	167 人	381 人	-
割合	56.2%	43.8%	-	100.0%

### ② 職務経験区分別

食品生産・加工経験者	・現在又は過去において、食品の生産、加工に関する職業（調理従事者を含む）に5年以上従事している方	118 人 (31.0%)
食品流通・販売経験者	・現在又は過去において、食品の流通、販売等（会社、団体の役員を含む）に関する職業に5年以上従事している方	61 人 (16.0%)
研究職経験者	・現在又は過去において、試験研究機関（民間を含む）、大学等で食品や、食品の安全に関する研究の経験を5年以上有している方	36 人 (9.4%)
医療職経験者	・現在又は過去において、医療等に関する職業（医師、獣医師、薬剤師等）に就いた経験を5年以上有している方	33 人 (8.7%)
教育職経験者	・現在又は過去において、教育に従事した経験を5年以上有している方	28 人 (7.3%)
食品関係行政従事者	・過去に食品の安全に関する行政に従事した経験を有している方	23 人 (6.0%)
上記の項目に該当しない食品安全モニター（文中「その他消費者」） <sup>※3</sup>	・上記の項目に該当しない方	82 人 (21.5%)

※<sup>3</sup> 食品安全モニターは、モニター活動を行う上で、食品安全委員会が行うリスク評価や食品安全行政について一定の理解ができる必要があることから、次の条件のいずれかを満たしていることを応募資格としている。

- [1] 大学等で食品に関係の深い学問（医学、歯学、薬学、獣医学、畜産学、水産学、農芸化学、家政学、食品工学等）を専攻し修了した方
- [2] 食品に関係の深い資格（栄養士、管理栄養士、調理師、専門調理師、製菓衛生師又は食品衛生管理者その他の事務局長が適当と認めるもの）を保有の方
- [3] 食品安全に関する業務を業としている方若しくはしていた方又は常勤公務員として食品の安全に関する行政に従事していた方（平成25年4月1日現在常勤の公務員でないこと）

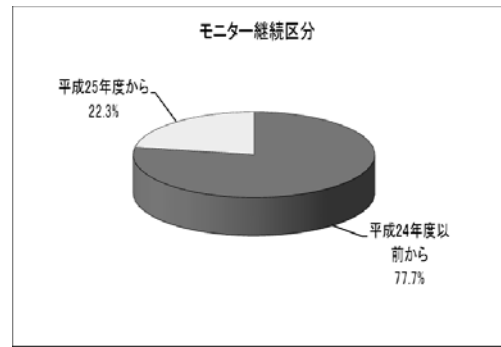


●男女別、年代区分別、職務経験別 内訳

	男女別		年代区分別			全体
	男性	女性	20～39歳	40～59歳	60歳以上	
食品生産・加工経験者	84人	34人	23人	66人	29人	118人
	39.3%	20.4%	33.8%	33.7%	24.8%	31.0%
食品流通・販売経験者	44人	17人	12人	27人	22人	61人
	20.6%	10.2%	17.6%	13.8%	18.8%	16.0%
研究職経験者	29人	7人	3人	18人	15人	36人
	13.6%	4.2%	4.4%	9.2%	12.8%	9.4%
医療職経験者	8人	25人	7人	17人	9人	33人
	3.7%	15%	10.3%	8.7%	7.7%	8.7%
教育職経験者	13人	15人	2人	15人	11人	28人
	6.1%	9%	2.9%	7.7%	9.4%	7.3%
食品関係行政従事者	17人	6人	2人	5人	16人	23人
	7.9%	3.6%	2.9%	2.6%	13.7%	6.0%
その他消費者	19人	63人	19人	48人	15人	82人
	8.9%	37.7%	27.9%	24.5%	12.8%	21.5%

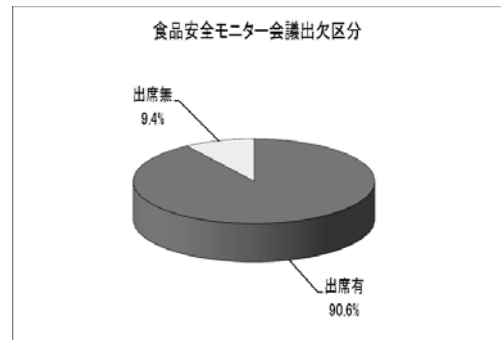
③ モニター継続区分別：

- 過去においても食品安全モニターに依頼されていた方  
296人 (77.7%)
- 平成25年度から、食品安全モニターに依頼された方  
85人 (22.3%)



④ 食品安全モニター会議出欠区分別

- これまでに食品安全モニター会議に出席したことがある方  
345人 (90.6%)
- これまでに食品安全モニター会議に出席していない方  
36人 (9.4%)



## 1) 食品安全委員会から入手した情報の利用について

問1～問8について、情報A～Dは次のものをいう。なお、情報A～Dをまとめて指す場合は「4種類の情報」と表記する。

### 情報A：

「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、「食中毒予防のためには十分な加熱や手洗い、適切な保存が重要である」等、食品の安全性・食生活に関する一般的な情報

【以下「一般情報」という。】

### 情報B：

リスク分析（アナリシス）の仕組み、食品安全委員会と各リスク管理機関の役割等、食品の安全性を確保する行政の取組に関する情報

【以下「行政取組情報」という。】

### 情報C：

モニター会議や、それ以外に食品安全委員会が行った説明会等（ご自身が出席したものに限る）において取り上げられた、特定のハザード<sup>※4</sup>や個別の食品健康影響評価に関する情報

【以下「特定ハザード情報（会議）」という。】

### 情報D：

情報C以外の、特定のハザードや個別の食品健康影響評価に関する情報

【以下「特定ハザード情報（会議以外）」という。】

※4：農薬、食品添加物、化学物質・汚染物質（メチル水銀等）、遺伝子組換え食品等をいう。

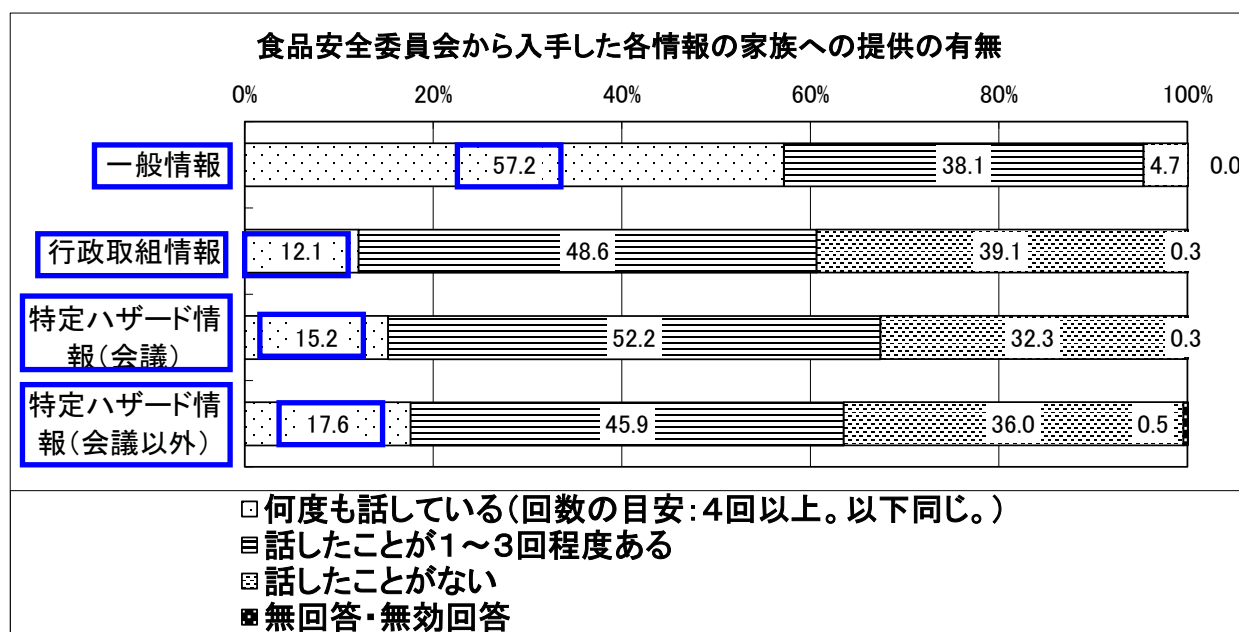
①食品安全委員会から入手した4種類の情報の家族への提供の有無（問1）

問1 あなたは平成25年4月以降、4種類の情報について、家族に話したことがありますか。情報ごとに、当てはまるものを選択肢1～3の中から1つずつ選んで下さい。

【選択肢】

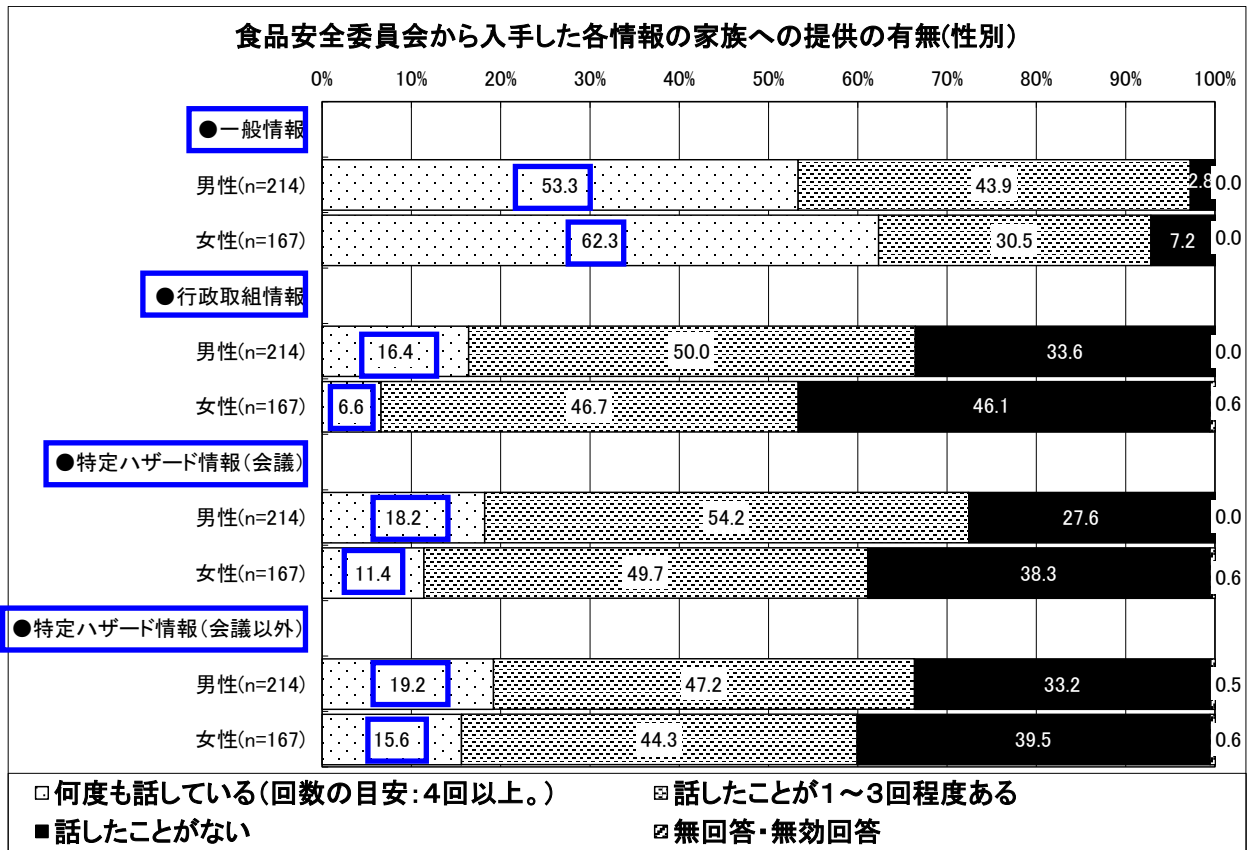
- 1 何度も話している（回数の目安：4回以上。以下同じ。）
- 2 話したことが1～3回程度ある
- 3 話したことがない

- ◆ 一般情報について「何度も話している（回数の目安：4回以上。以下同じ。）」との回答割合は57.2%であり、行政取組情報（12.1%）、特定ハザード情報（会議）（15.2%）、特定ハザード情報（会議以外）（17.6%）に比べると高い。



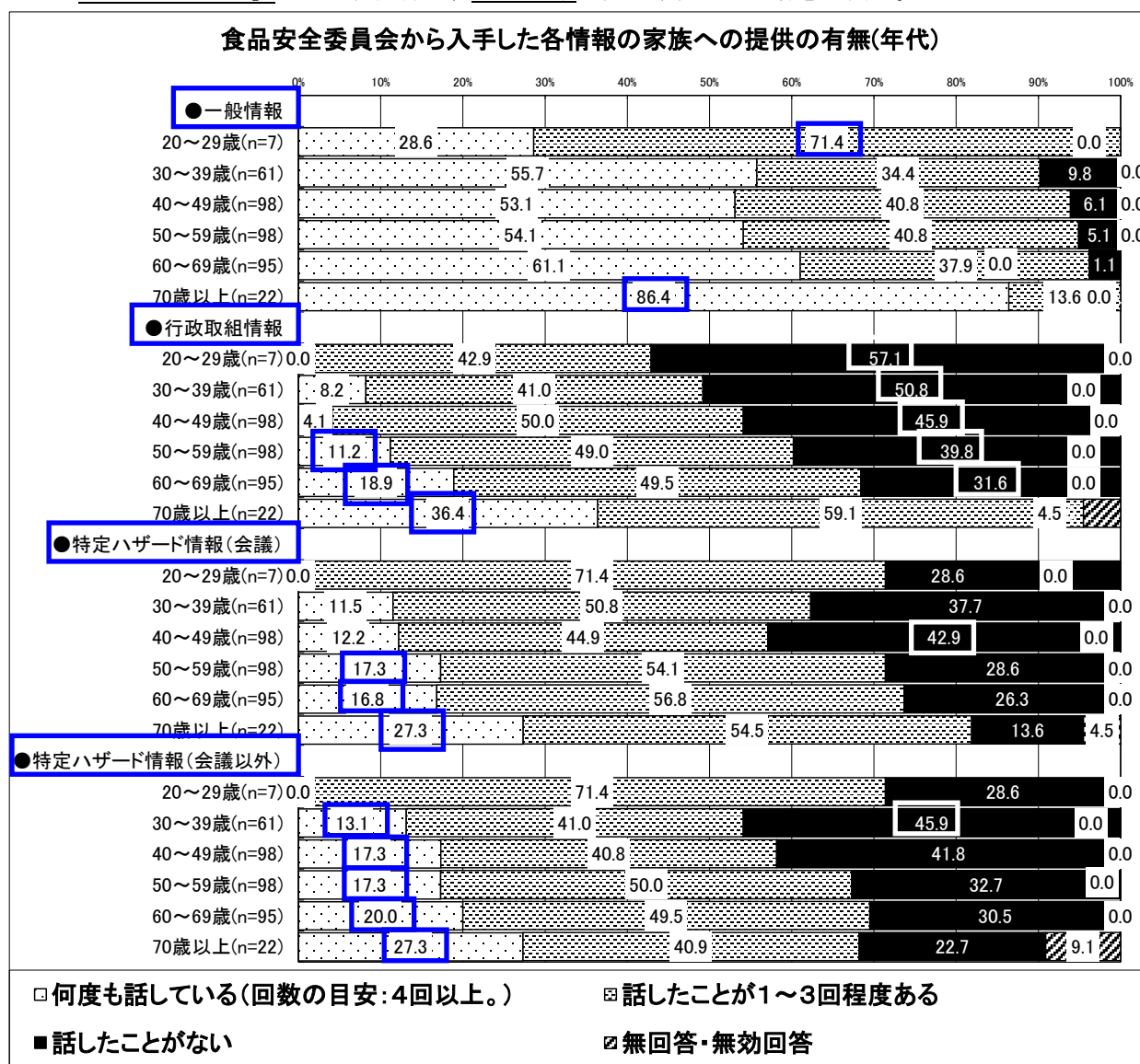
＜食品安全委員会から入手した4種類の情報の家族への提供の有無について（男女別回答割合）＞  
 食品安全委員会から入手した4種類の情報について、「何度も話している」との回答割合は、

- ◆ 一般情報については、女性が男性に比べ有意に高い
- ◆ 行政取組情報については、男性が女性に比べ有意に高い
- ◆ 特定ハザード情報（会議）及び特定ハザード情報（会議以外）については、男性が女性に比べ高い傾向が見られる。



<食品安全委員会から入手した4種類の情報の家族への提供の有無について（年代別回答割合）>

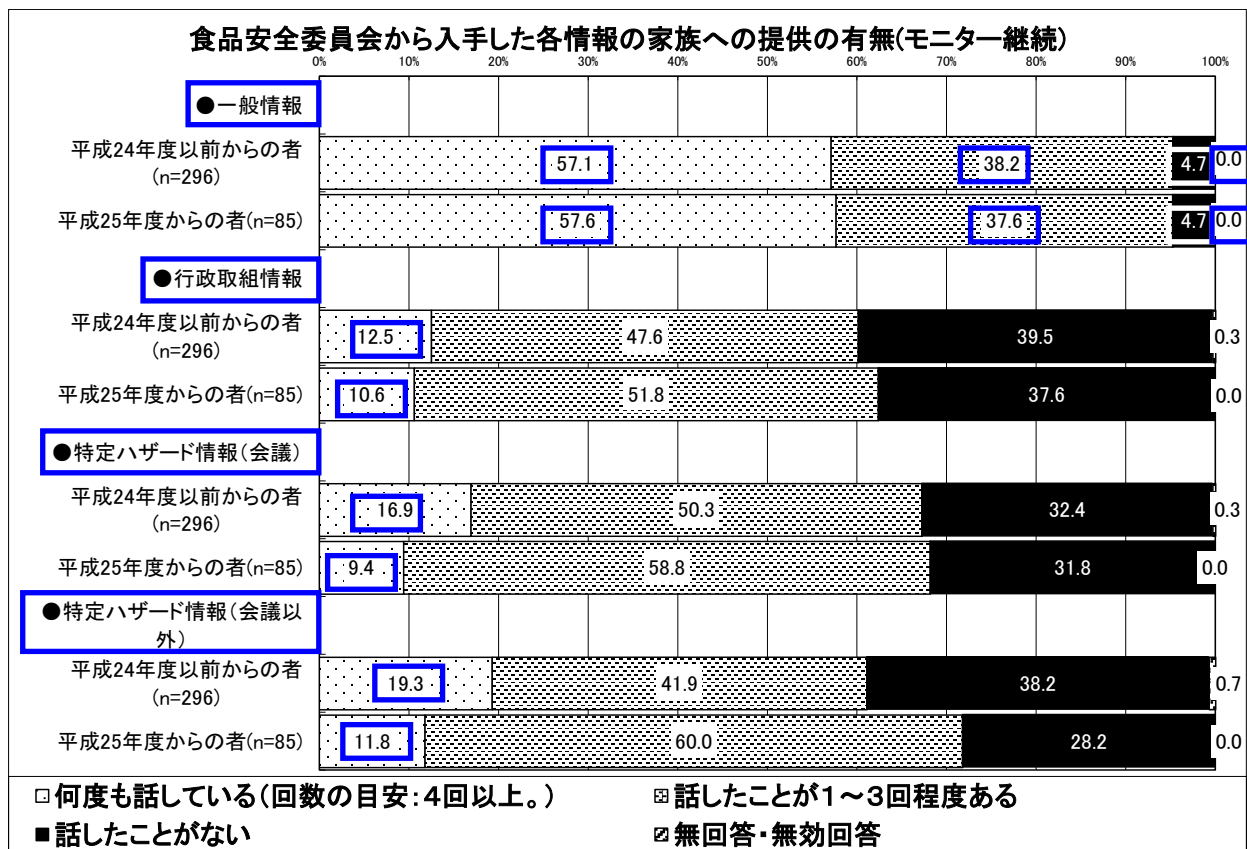
- ◆ 一般情報について「何度も話している」との回答割合は、70歳以上で他の年代に比べ高い傾向が見られる。また、「話したことがない」との回答割合は、20～29歳で他の年代に比べ高い傾向が見られる。
- ◆ 行政取組情報について「何度も話している」との回答割合は、70歳以上で他の年代に比べ有意に高い。次いで、60～69歳、50～59歳の順に有意に高い。また、「話したことがない」との回答割合は、20～29歳で他の年代に比べ有意に高く、年代が高くなるにつれて回答割合は有意に低くなる。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）については、70歳以上で他の年代に比べ有意に高い。次いで、50～59歳、60～69歳の順に有意に高い。また、「話したことがない」との回答割合は、40～49歳で他の年代に比べ有意に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）については「何度も話している」との回答割合は、70歳以上で他の年代に比べ有意に高い。次いで、60～69歳、50～59歳、40～49歳の順に有意に高い。また、「話したことがない」との回答割合は、30～39歳で他の年代に比べ有意に高い。





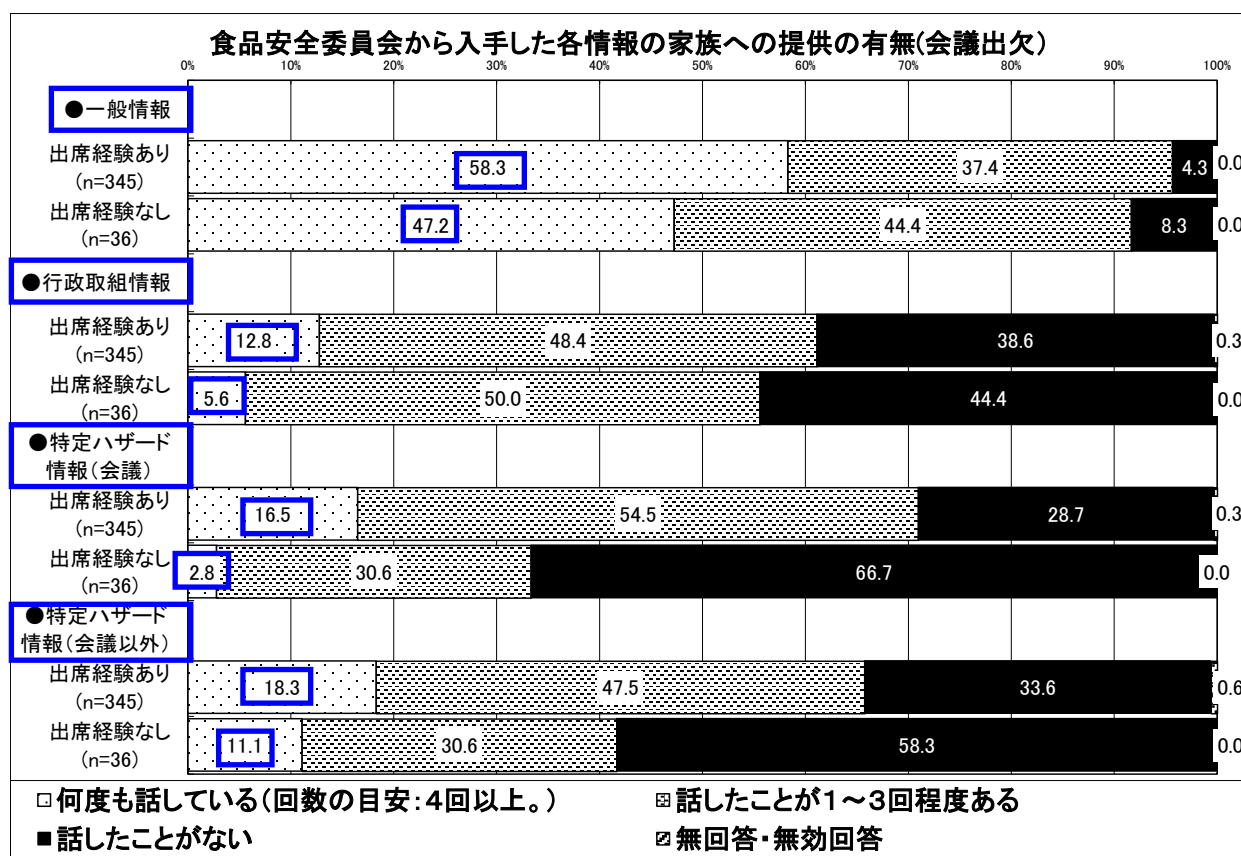
< 食品安全委員会から入手した各情報の家族への提供の有無について（モニター継続別回答割合） >

- ◆ 一般情報 についての回答割合は、モニターの継続の状況による差はみられない。
- ◆ 行政取組情報及び特定ハザード情報（会議） について「何度も話している」との回答割合は、平成24年度以前からモニターである者（以下「平成24年度以前からの者」） で 平成25年度からモニターである者（以下「平成25年度からの者」） に比べ高い傾向が見られる。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外） について「何度も話している」との回答割合は、平成24年度以前からの者が平成25年度からの者に比べ有意に高い。



< 食品安全委員会から入手した各情報の家族への提供の有無について（会議出欠別回答割合） >

- ◆ 一般情報及び行政取組情報について「何度も話している」との回答割合は、これまでにモニター会議への出席経験がある者（以下「出席経験がある者」という。）でこれまでにモニター会議への出席経験がない者（以下「出席経験がない者」という。）に比べ高い傾向が見られる。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）及び特定ハザード情報（会議以外）について「何度も話している」との回答割合は、出席経験がある者で出席経験がない者に比べ有意に高い。



② 4 種類の情報について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報（問 2）

問 2 問 1 で、各情報のうち、「1（何度も話している）」又は「2（話したことが 1～3 回程度ある）」  
を選択した情報についてお伺いします。

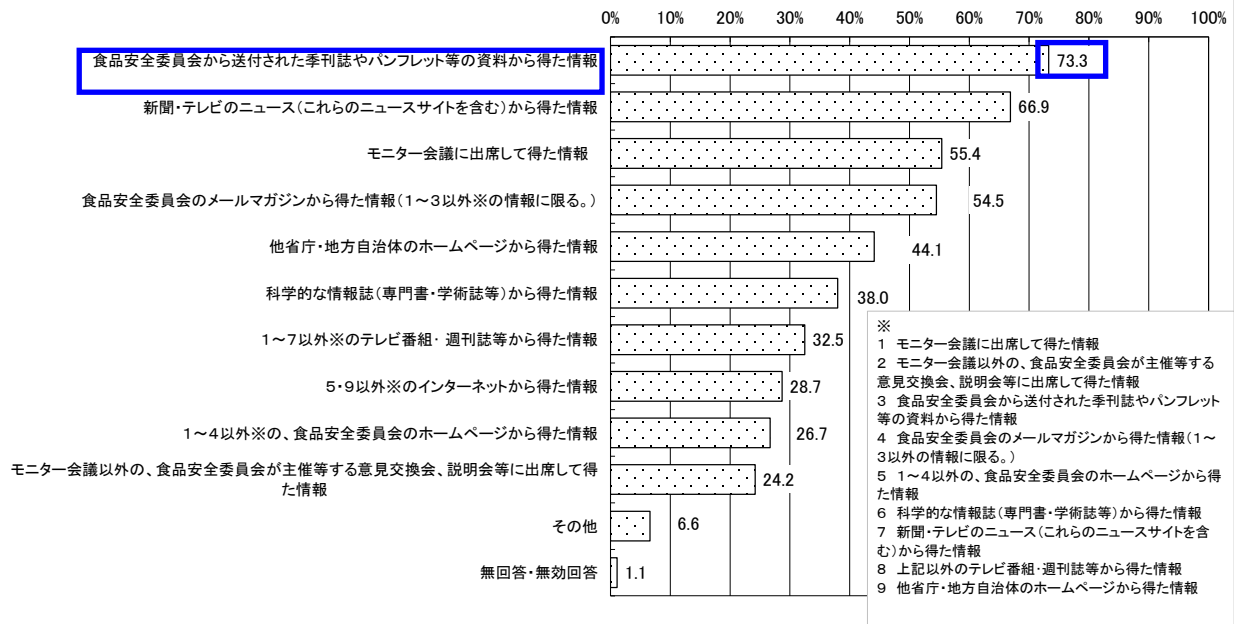
あなたが家族に対し、問 1 で「1（何度も話している）」又は「2（話したことが 1～3 回程度ある）」  
を選択したそれぞれの情報を話した際に、役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、  
どのようなものですか。情報ごとに、選択肢 1～11 の中から当てはまるものを全て選択して下さい。

【選択肢】

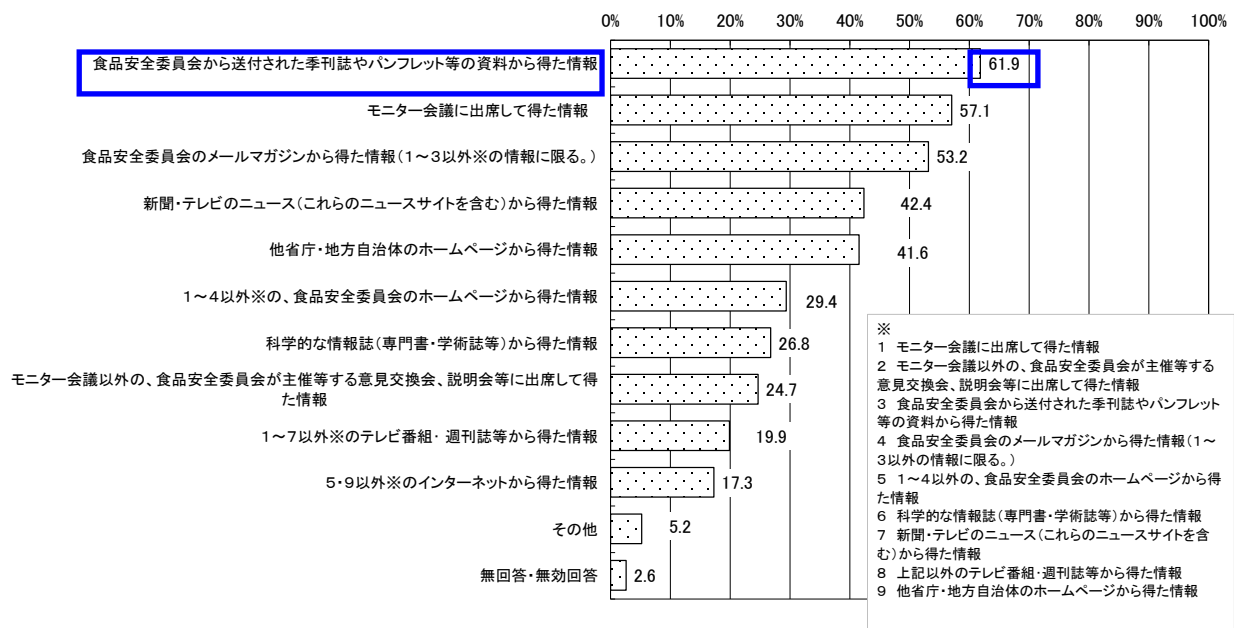
- 1 モニター会議に出席して得た情報
- 2 モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する意見交換会、説明会等に出席して得た情報
- 3 食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報
- 4 食品安全委員会のメールマガジンから得た情報（1～3 以外の情報に限る。）
- 5 1～4 以外の、食品安全委員会のホームページから得た情報
- 6 科学的な情報誌（専門書・学術誌等）から得た情報
- 7 新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た情報
- 8 上記以外のテレビ番組・週刊誌等から得た情報
- 9 他省庁・地方自治体のホームページから得た情報
- 10 5・9 以外のインターネットから得た情報
- 11 その他（具体的に記入）

- ◆ 一般情報及び行政取組情報について、家族に話す際に役立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、「食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）について、家族に話す際に役立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、「モニター会議に出席して得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）について、家族に話す際に役立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、「新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。

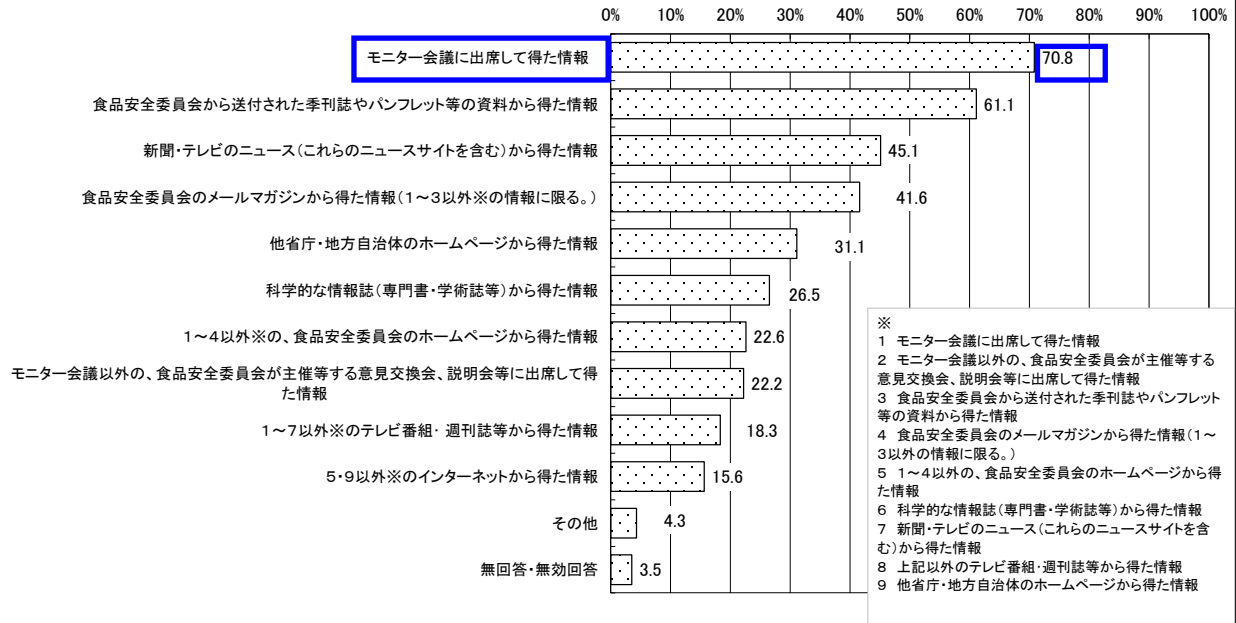
「一般情報」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報  
(n=363)



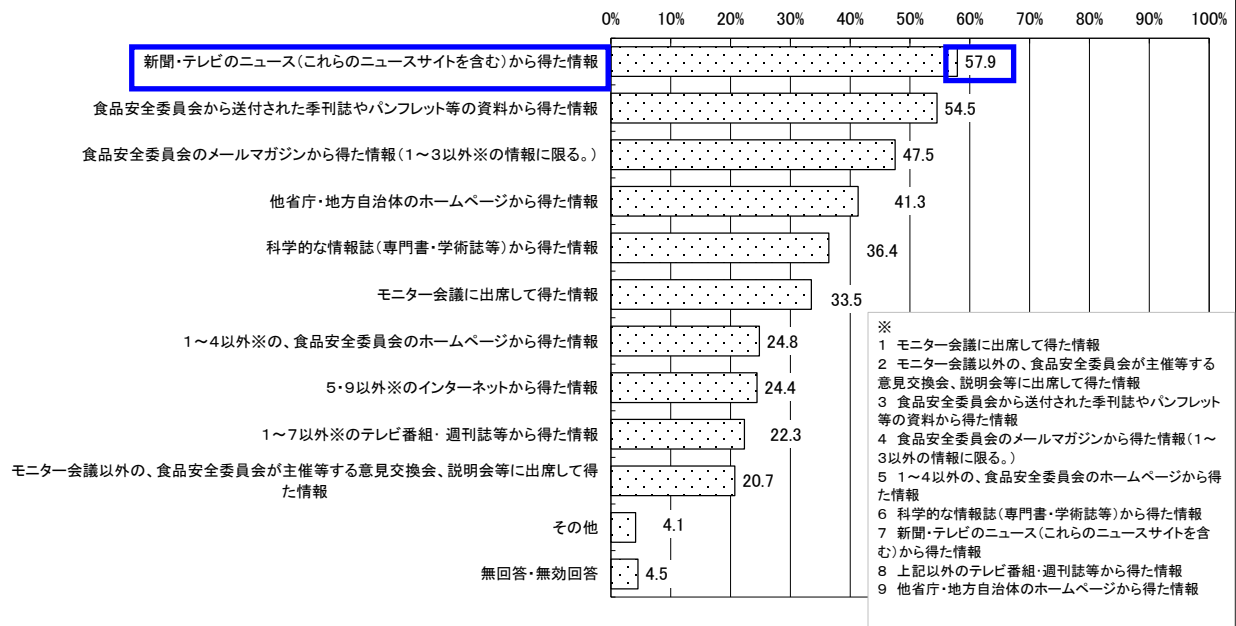
「行政取組情報」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報(n=231)



「特定ハザード情報(会議)」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報(n=257)



「特定ハザード情報(会議以外)」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報(n=242)

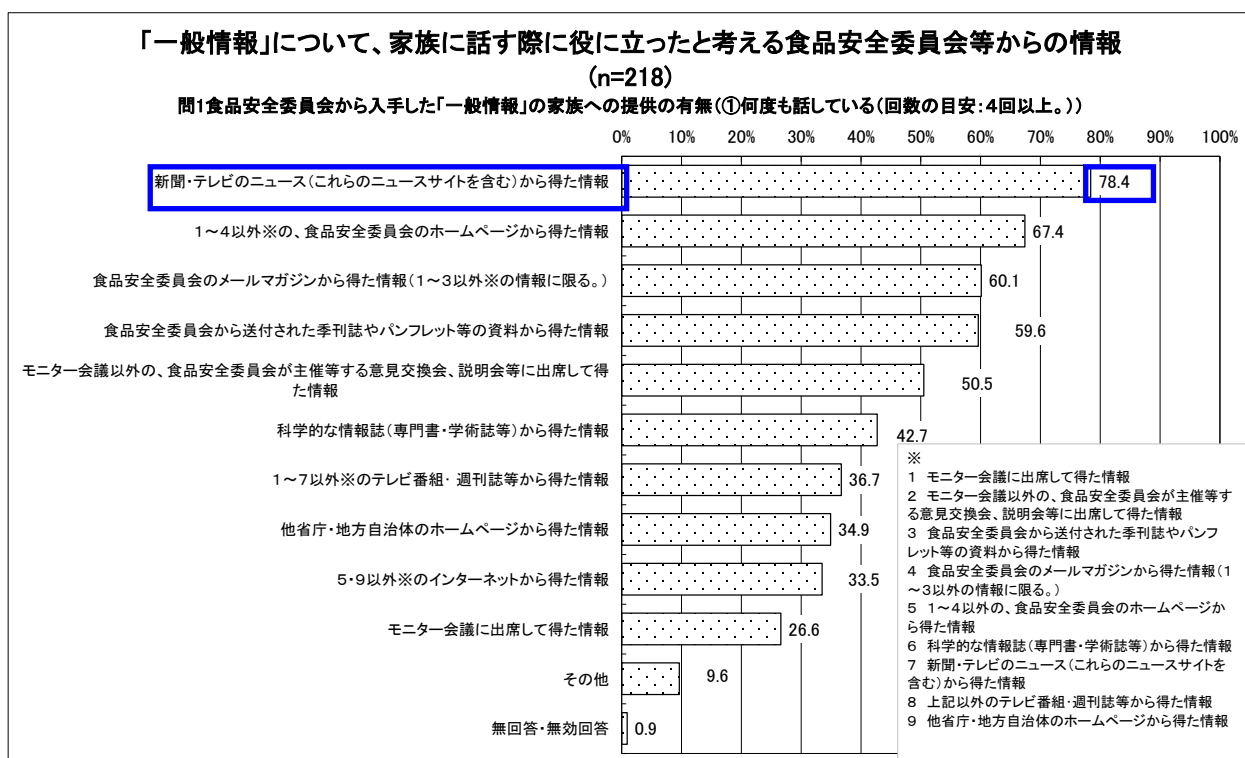


< 4種類の情報について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報について（話した回数別回答割合） >

【何度も話している】

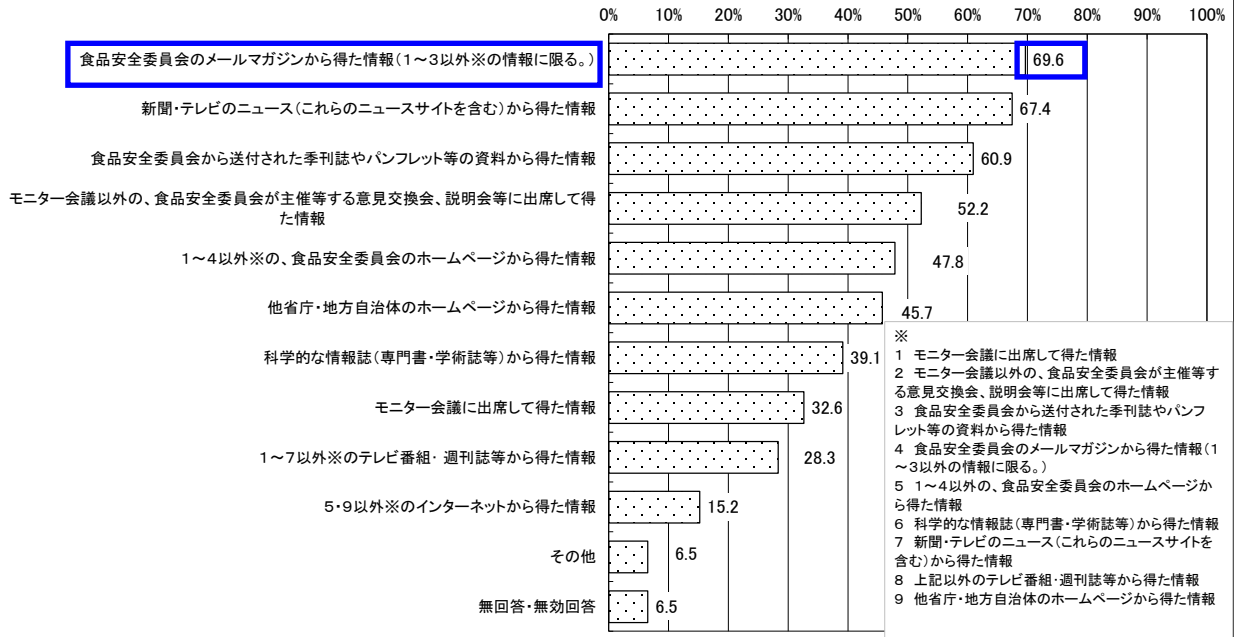
問1で、4種類の情報について、家族に「何度も話している」と回答している者が、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、

- ◆ 一般情報については、「新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。
- ◆ 行政取組情報については、「食品安全委員会のメールマガジンから得た情報（1～3以外の情報に限る。）」との回答割合が他の情報に比べ高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）については、「食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）については、「食品安全委員会のメールマガジンから得た情報（1～3以外の情報に限る。）」及び「1～4以外の、食品安全委員会のホームページから得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。



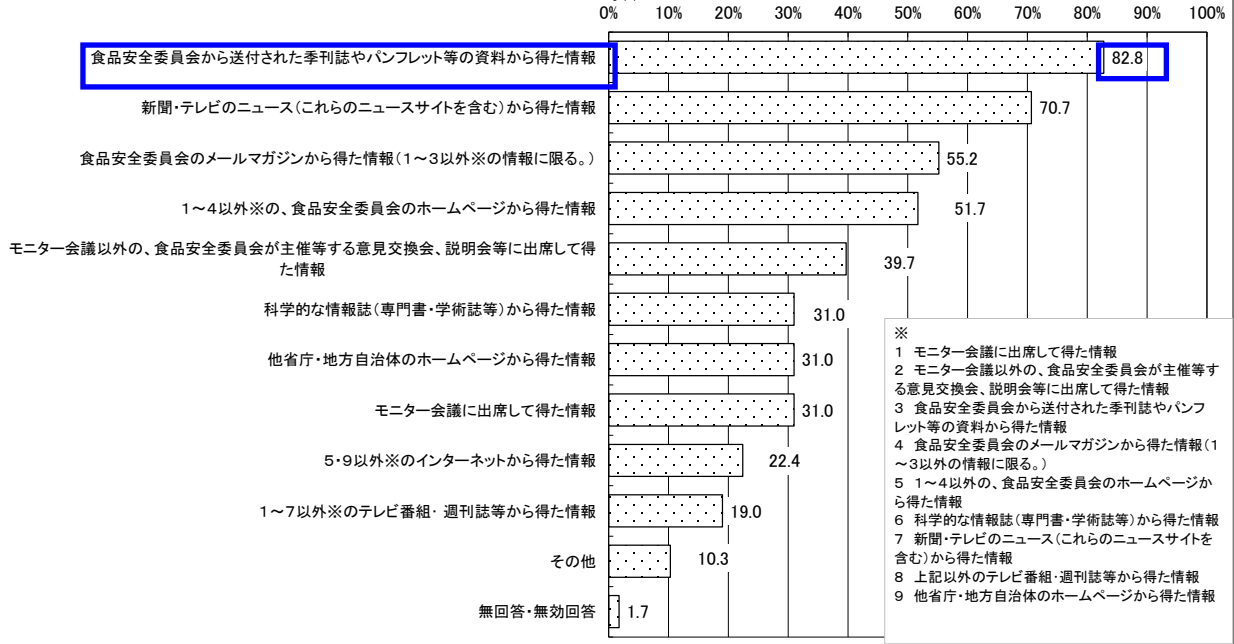
「行政取組情報」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報(n=46)

問1 食品安全委員会から入手した「行政取組情報」の家族への提供の有無(①何度も話している(回数の目安:4回以上。))



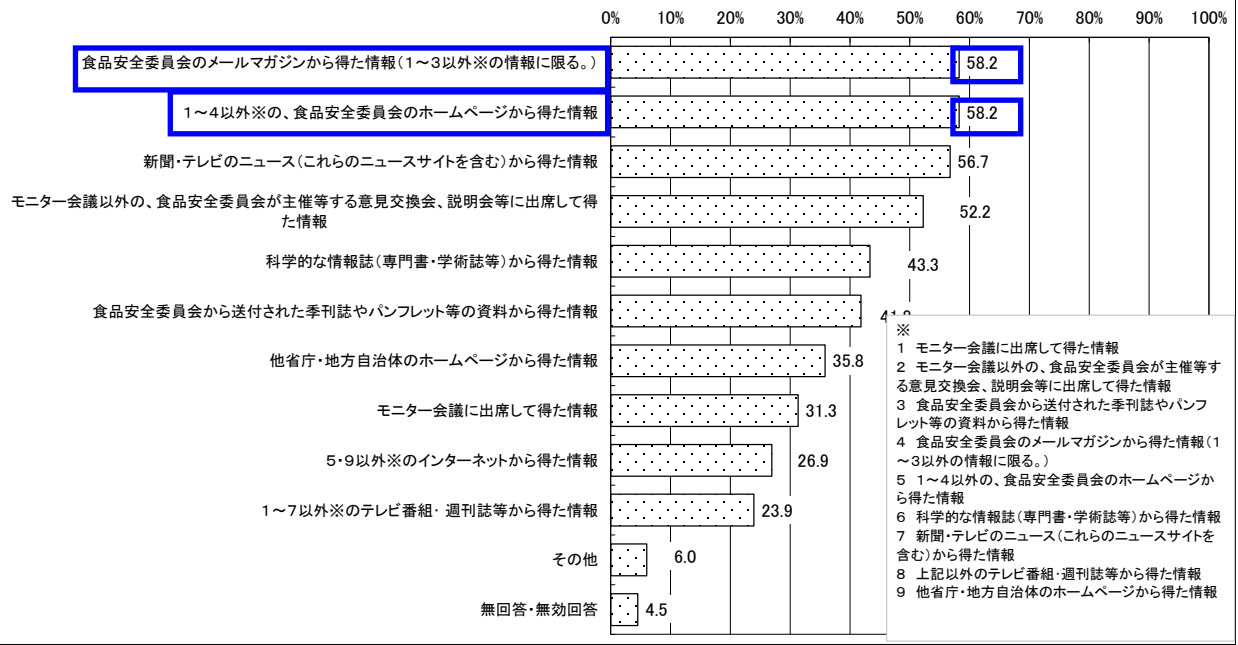
「特定ハザード情報(会議)」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報(n=58)

問1 食品安全委員会から入手した「特定ハザード情報(会議)」の家族への提供の有無(①何度も話している(回数の目安:4回以上。))



「特定ハザード情報(会議以外)」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報(n=67)

問1 食品安全委員会から入手した「特定ハザード情報(会議以外)」の家族への提供の有無(①何度も話している(回数の目安:4回以上。))

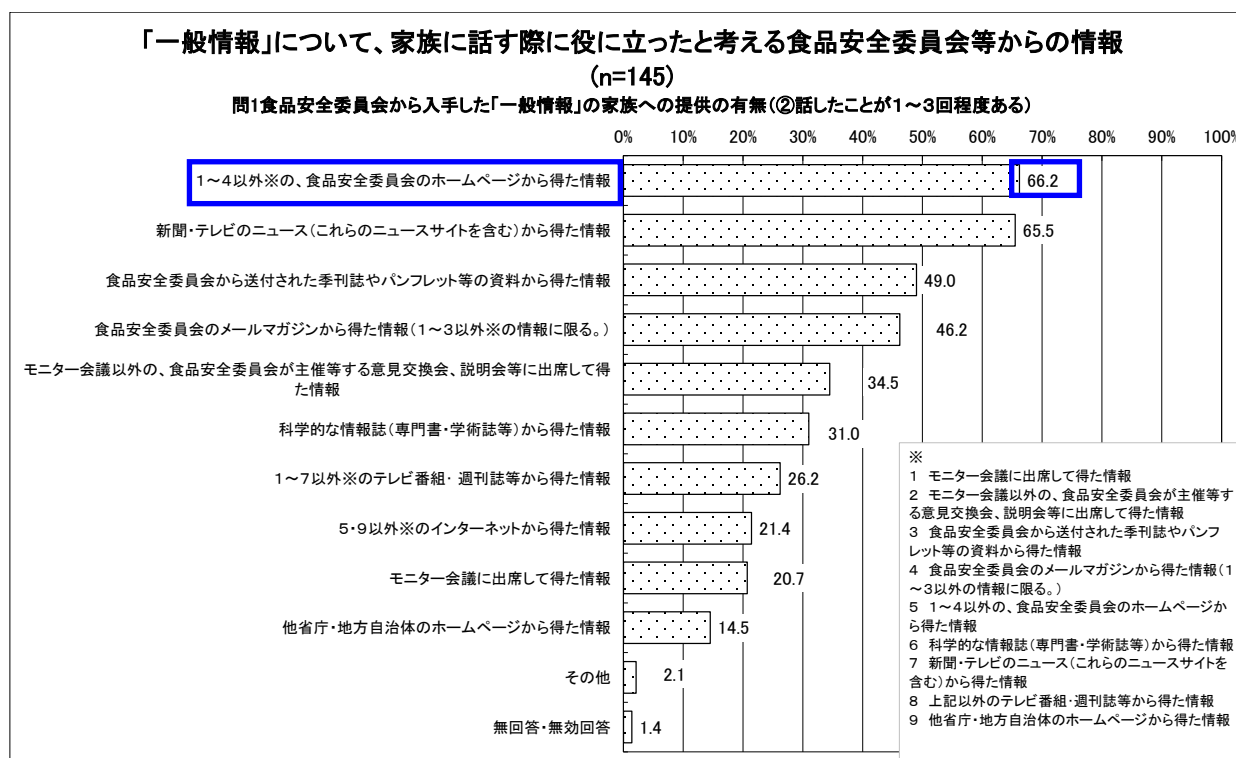




【話したことが1~3回程度ある】

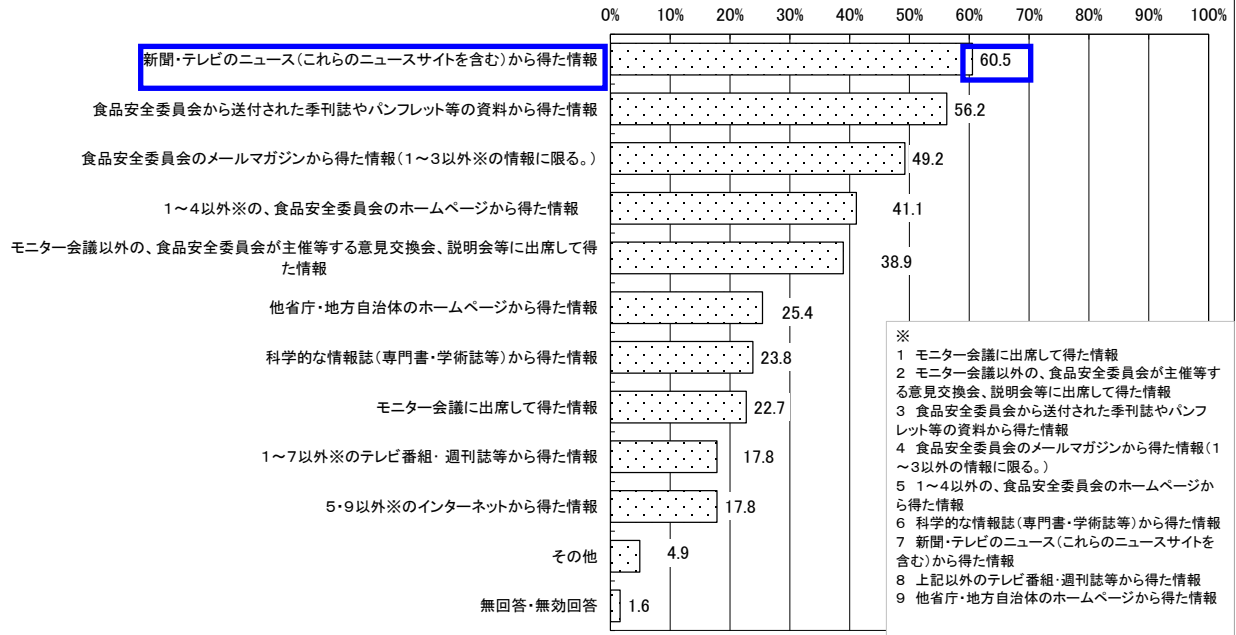
問1で、4種類の情報について、家族に「話したことが1~3回程度ある」と回答している者が、家族に話す際に役立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、

- ◆ 一般情報については、「1~4以外の、食品安全委員会のホームページから得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。
- ◆ 行政取組情報については、「新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）については、「食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）については、「新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。



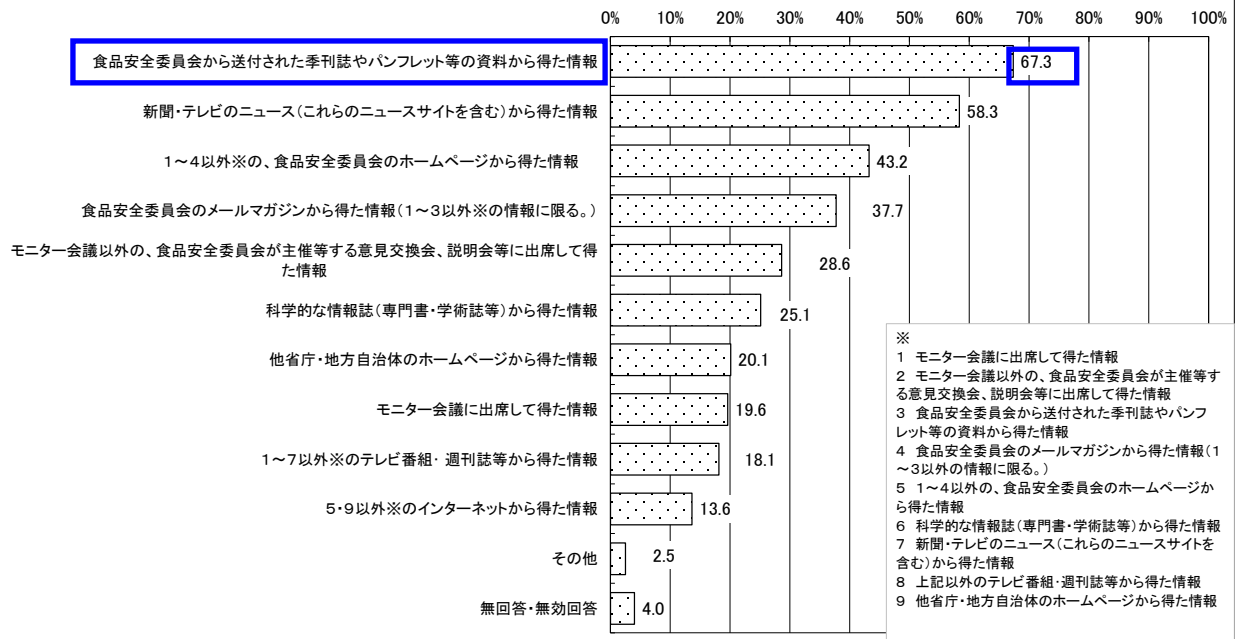
「行政取組情報」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報(n=185)

問1 食品安全委員会から入手した「行政取組情報」の家族への提供の有無(②話したことが1~3回程度ある)



「特定ハザード情報(会議)」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報(n=199)

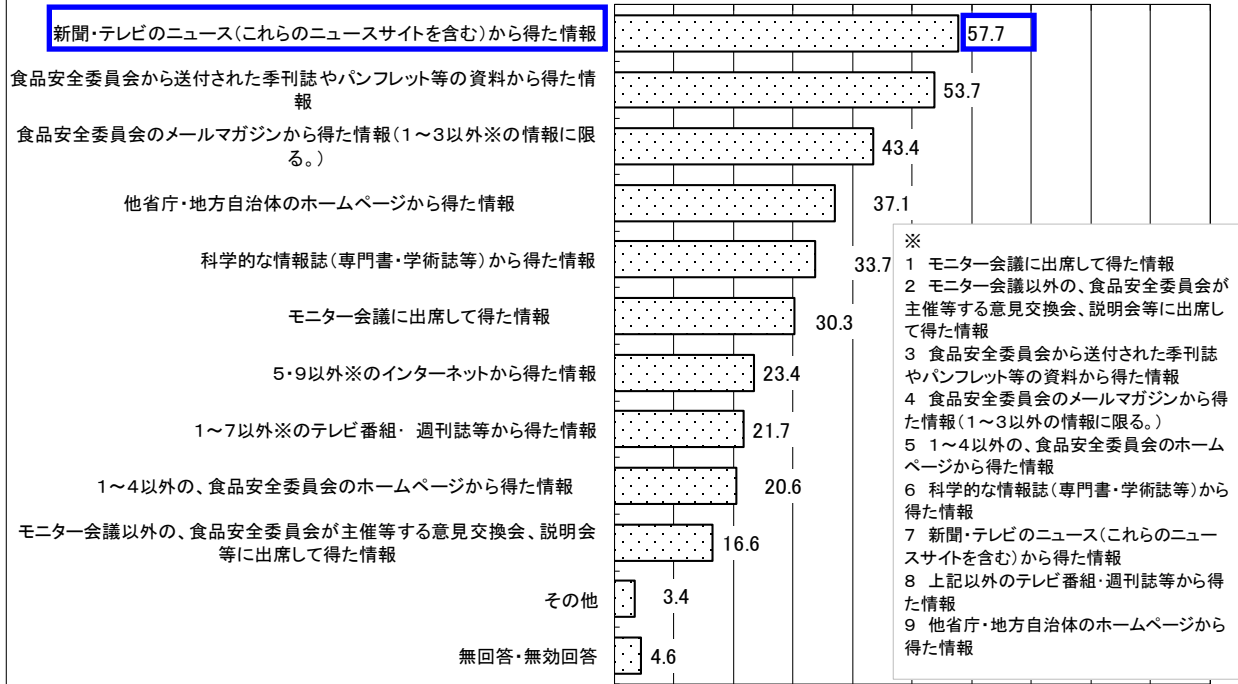
問1 食品安全委員会から入手した「特定ハザード情報(会議)」の家族への提供の有無(②話したことが1~3回程度ある)



## 「特定ハザード情報(会議以外)」について、家族に話す際に役に立ったと 考える食品安全委員会等からの情報(n=175)

問1 食品安全委員会から入手した「特定ハザード情報(会議以外)」の家族への提供の有無(②話したことが1~3回程度ある)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

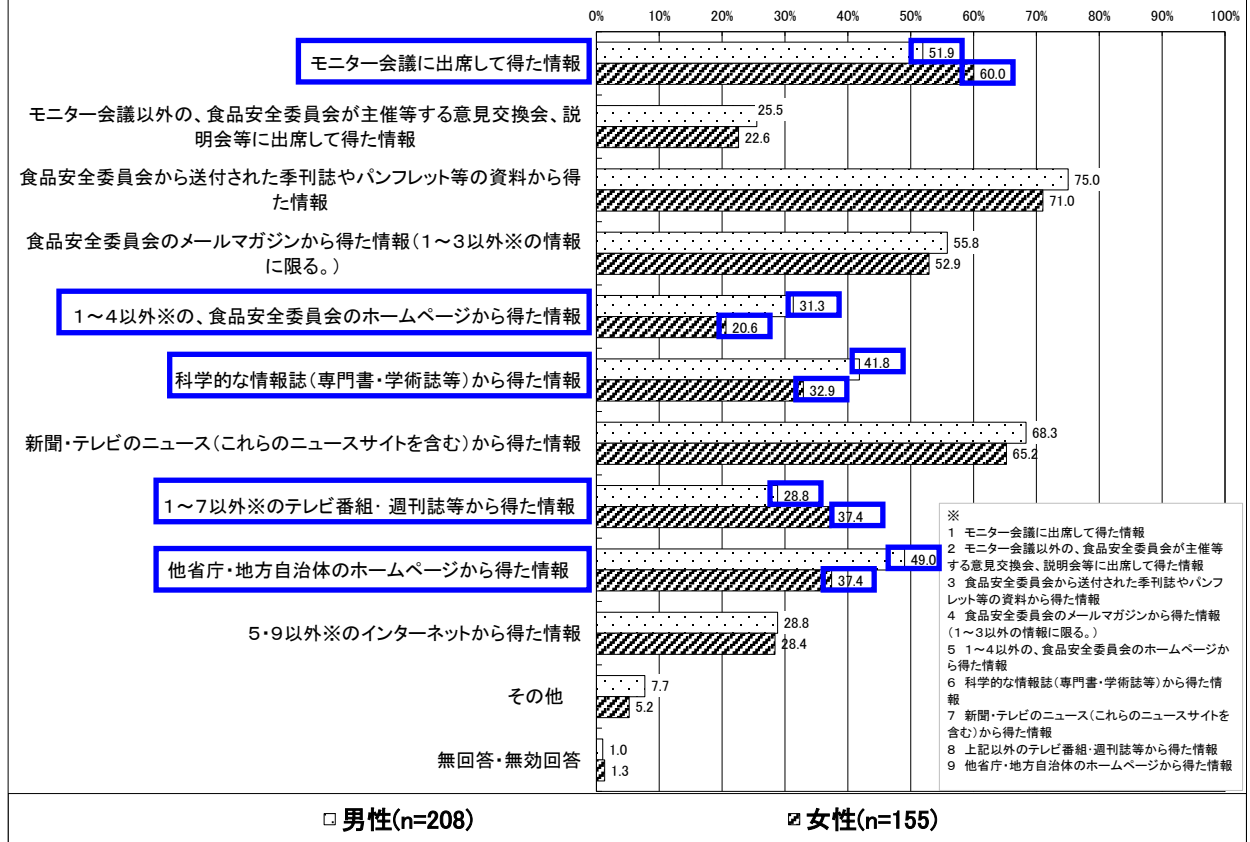


＜4種類の情報について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報について（男女別回答割合）＞

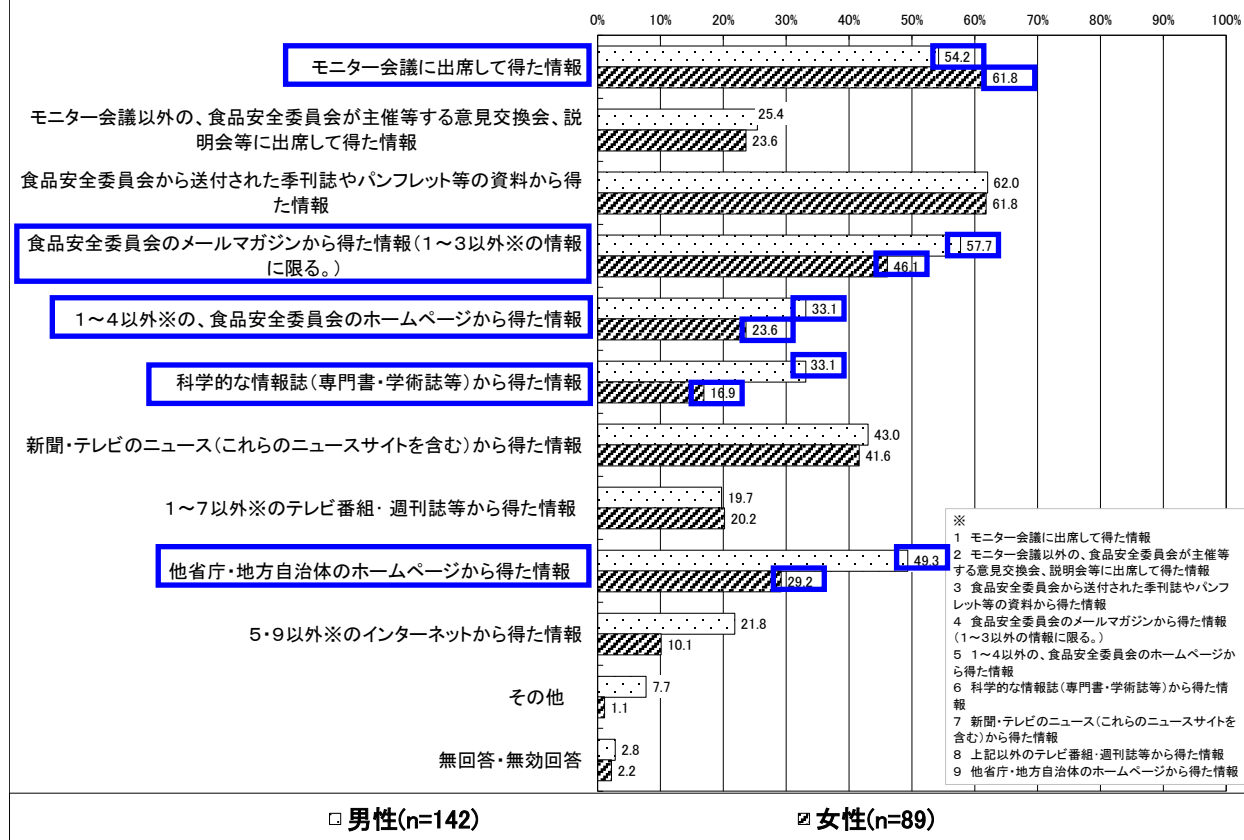
問1で、4種類の情報について、家族に「何度も話している」、「話したことが1～3回程度ある」と回答している者が、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報について男女別にみると、

- ◆ 一般情報について、「1～4以外の、食品安全委員会のホームページから得た情報」、「科学的な情報誌（専門書・学術書等）から得た情報」、「他省庁・地方自治体のホームページから得た情報」との回答割合は、男性が女性に比べ高い傾向がある。また、「モニター会議に出席して得た情報」、「1～7以外のテレビ番組・週刊誌等から得た情報」との回答割合は、女性が男性に比べ高い傾向がある。
- ◆ 行政取組情報について、「食品安全委員会のメールマガジンから得た情報（1～3以外の情報に限る。）」、「1～4以外の、食品安全委員会のホームページから得た情報」、「科学的な情報誌（専門書・学術書等）から得た情報」、「他省庁・地方自治体のホームページから得た情報」との回答割合は、男性が女性に比べ有意に高い。また、「モニター会議に出席して得た情報」との回答割合は、女性が男性に比べ有意に高い。
  - ◆ 特定ハザード情報（会議）について、「食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報」、「食品安全委員会のメールマガジンから得た情報（1～3以外の情報に限る。）」、「科学的な情報誌（専門書・学術書等）から得た情報」、「新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た情報」、「他省庁・自治体のホームページから得た情報」との回答割合は、男性が女性に比べ有意に高い傾向が見られる。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）について、「食品安全委員会のメールマガジンから得た情報（1～3以外の情報に限る。）」、「科学的な情報誌（専門書・学術書等）から得た情報」との回答割合は、男性が女性に比べ高い傾向が見られる。

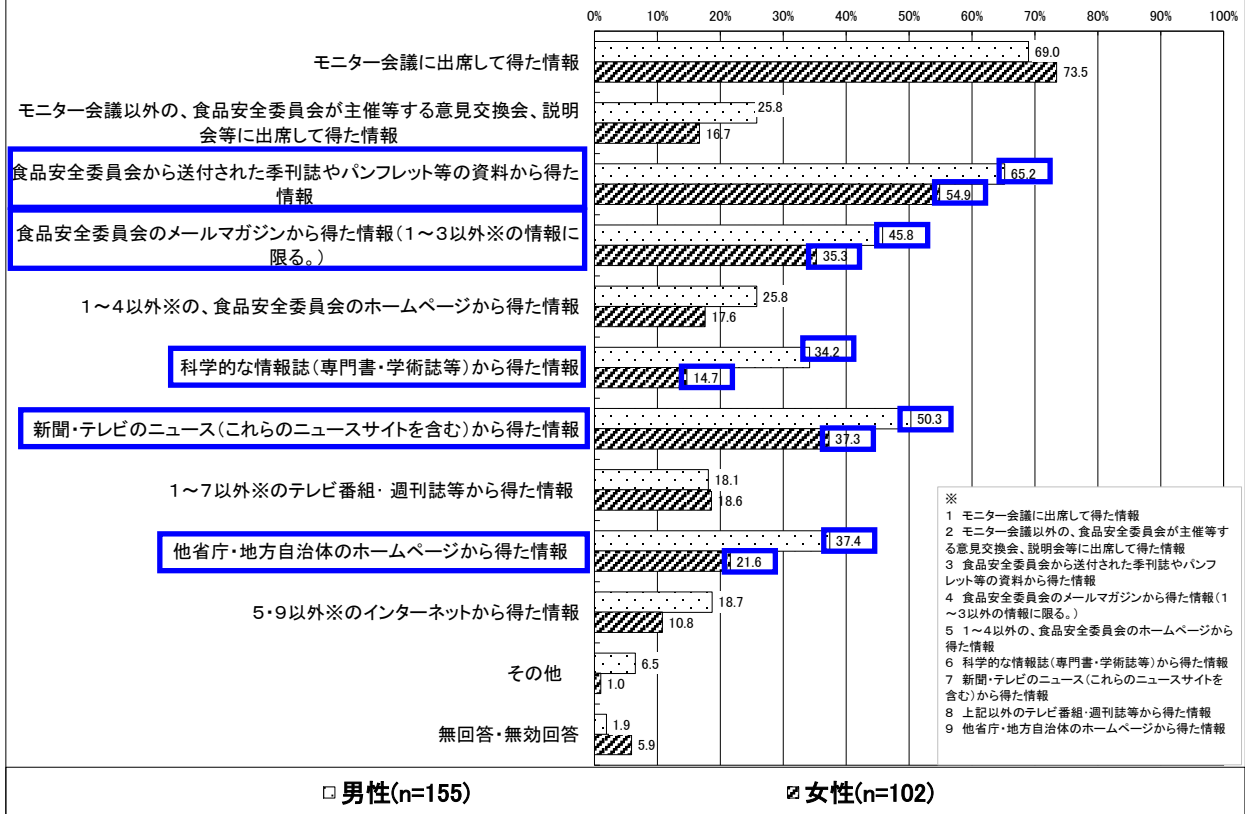
「一般情報」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報(性別) (n=363)



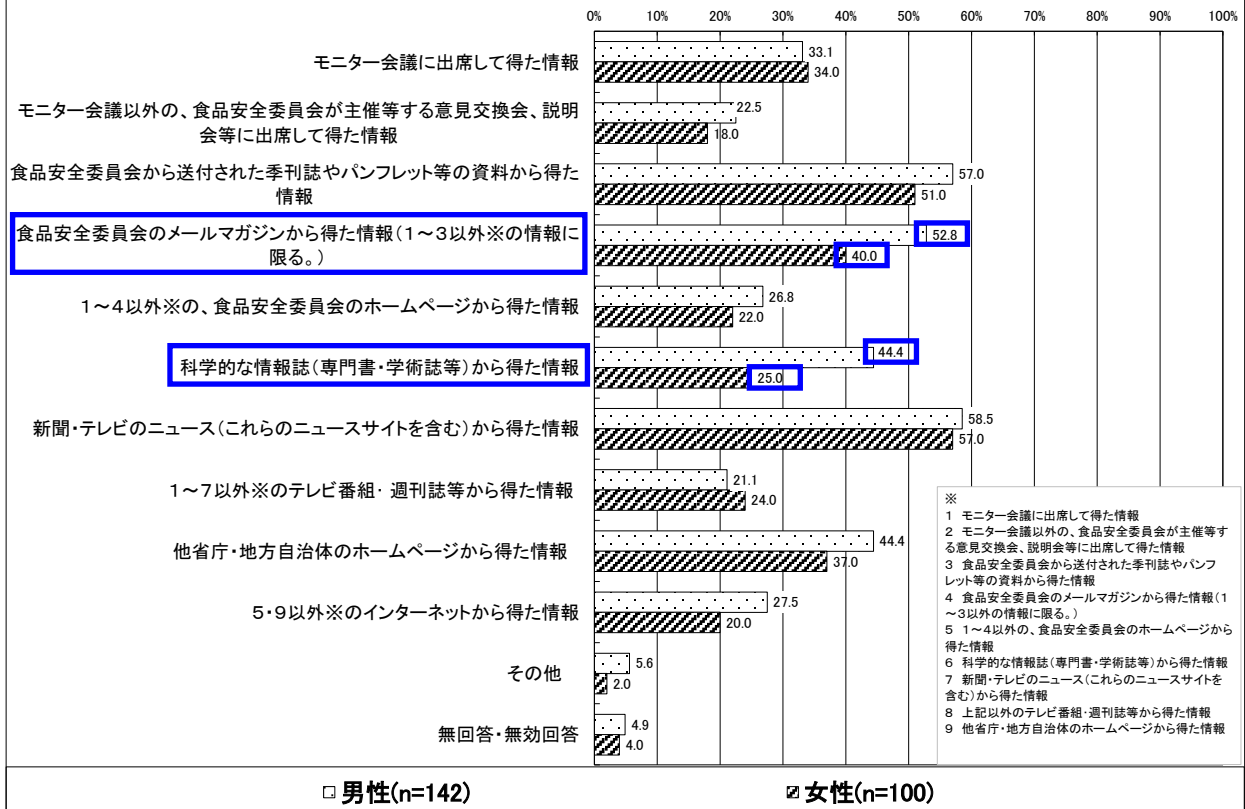
「行政取組情報」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報(性別)(n=231)



「特定ハザード情報(会議)」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報(性別)(n=257)



「特定ハザード情報(会議以外)」について、家族に話す際に役に立ったと考える食品  
安全委員会等からの情報(性別) (n=242)





問 2 : 1 1 その他（4種類の情報について、家族に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報）

（1）一般情報について（回答者数=24人、うち5人が空欄）

消費生活に関する会議で出された内容、工作上、感染症流行や食中毒発生情報をキャッチしたとき、対策も含め家族にも注意喚起するなどの回答があった。

（2）行政取組情報について（回答者数=12人、うち2人が空欄）

専門家に直接話を聞いた内容について、県の食品衛生協会からの食中毒等の情報などの回答があった。

（3）特定ハザード情報（会議）について（回答者数=11人、うち3人が空欄）

専門研究機関による説明会に出席して得た情報、専門家に直接話を聞いた内容についてなどの回答があった。

（4）特定ハザード情報（会議以外）について（回答者数=10人、うち2人が空欄）

海外の評価機関（例：EFSA）からの情報、食品衛生協会、食育勉強会などの回答があった。

③ 4種類の情報を、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由（問3）

問3 問1で、4種類の情報のうち、「3（話したことがない）」を選択した情報についてお伺いします。

あなたが問1で「3（話したことがない）」を選択した情報について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由は何ですか。情報ごとに、最も近いものを選択肢1～7の中からお選び下さい。

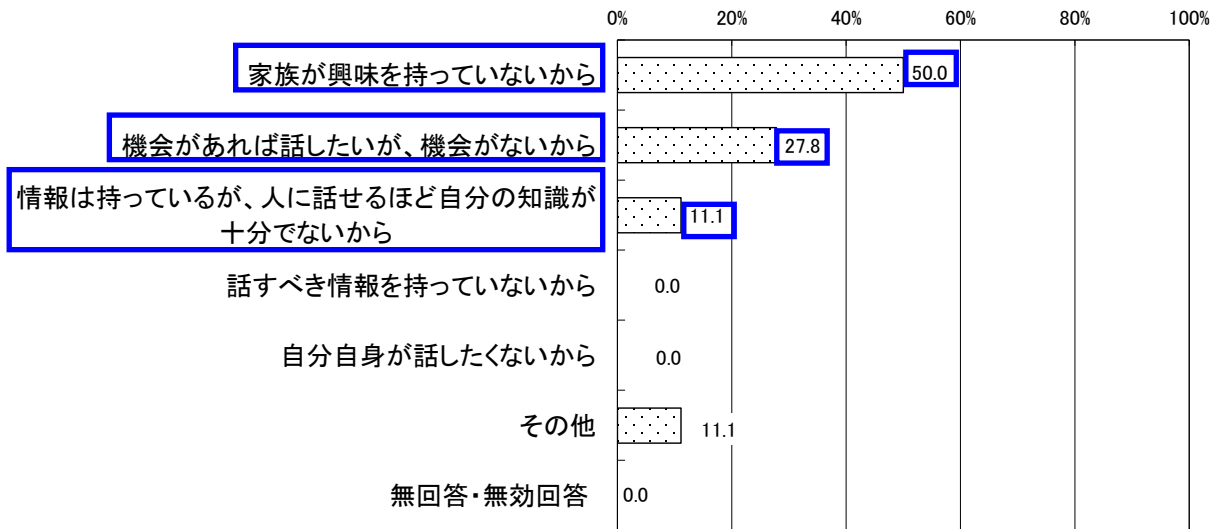
【選択肢】

- 1 話すべき情報を持っていないから
- 2 情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから
- 3 家族が興味を持っていないから
- 4 機会があれば話したいが、機会がないから
- 5 自分自身が話したくないから
- 6 モニター会議や説明会に出席していないので、わからない（情報Cのみの選択肢）
- 7 その他（具体的に記入）

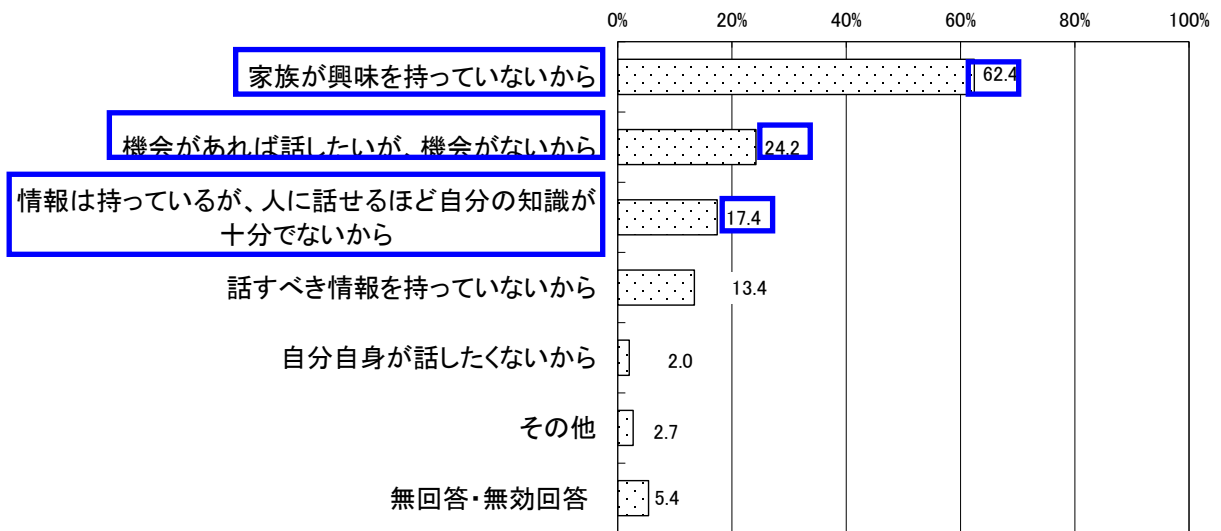
問1で「3（話したことがない）」を選択した情報について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由は、

- ◆ 4種類の情報のいずれも、「家族が興味を持っていないから」との回答割合が他の理由に比べ高い。
- ◆ 一般情報及び行政取組情報では、次いで、「機会があれば話したいが、機会がないから」、「情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから」の順に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）では、次いで、「モニター会議や説明会に出席していないので、わからない」、「機会があれば話したいが、機会がないから」の順に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）では、次いで、「話すべき情報を持っていないから」、「情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから」の順に高い。

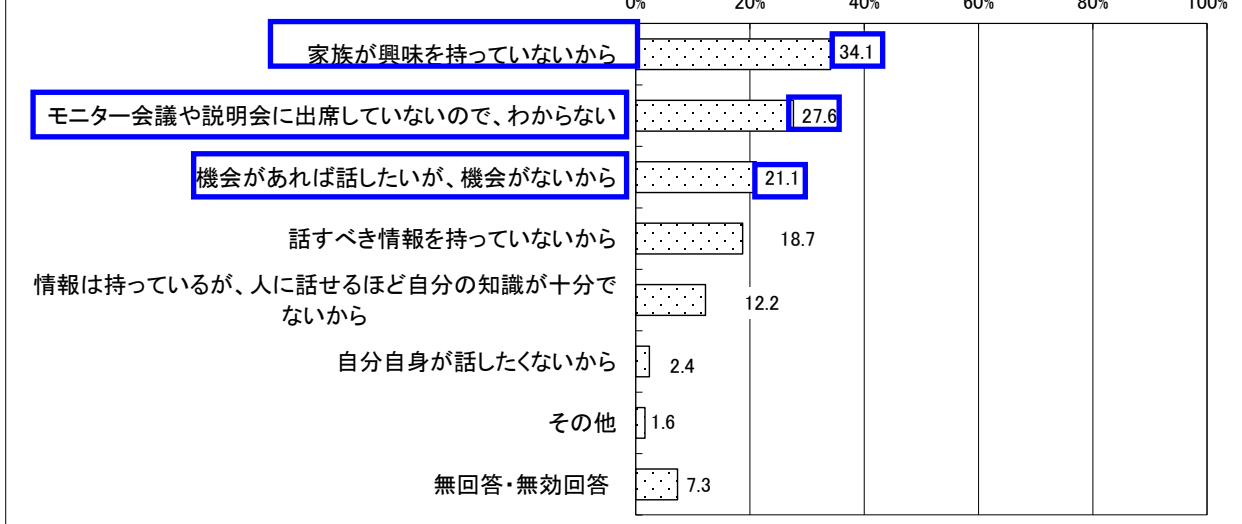
「一般情報」について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由 (n=18)



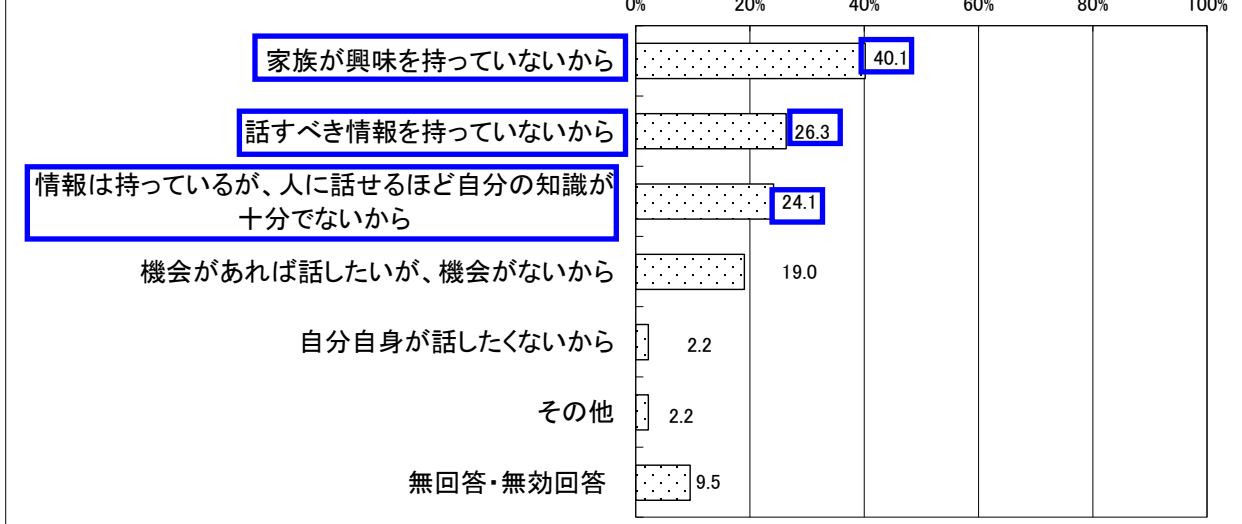
「行政取組情報」について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由 (n=149)



「特定ハザード情報(会議)」について、平成25年4月以降、家族に話したことが  
ない理由 (n=123)



「特定ハザード情報(会議以外)」について、平成25年4月以降、家族に話した  
ことがない理由 (n=137)

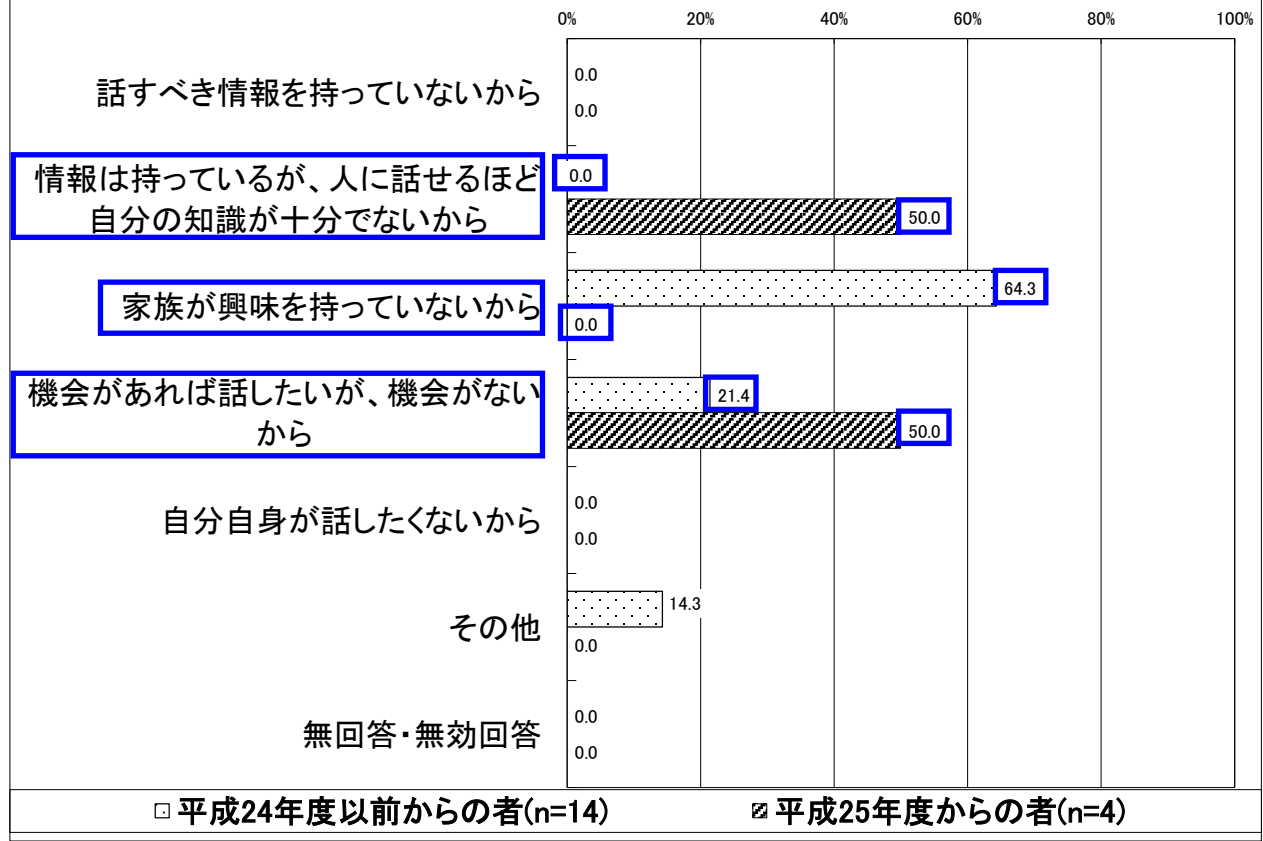


＜4種類の情報について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由について（モニター継続別回答割合）＞

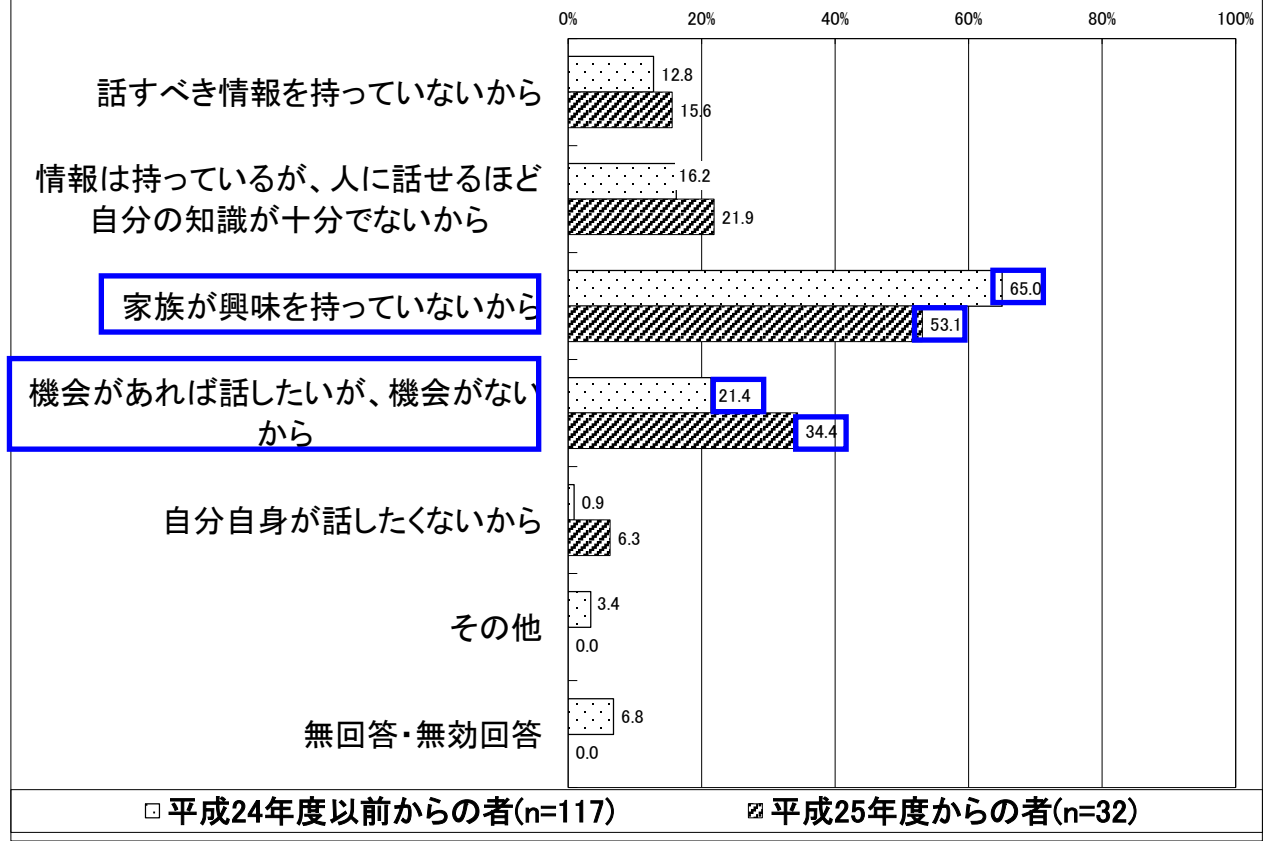
問1で「3（話したことがない）」を選択した情報について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由は、

- ◆ 一般情報について、「情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから」、「機会があれば話したいが、機会がないから」との回答割合は、平成25年度からの者が平成24年度以前からの者に比べ高い傾向が見られる。また、「家族が興味を持っていないから」との回答割合は、平成24年度以前からの者が平成25年度からの者に比べ高い傾向が見られる。
- ◆ 行政取組情報について、「家族が興味を持っていないから」との回答割合は、平成24年度以前からの者が平成25年度からの者に比べ有意に高い。また「機会があれば話したいが、機会がないから」との回答割合は、平成25年度からの者が平成24年度以前からの者に比べ有意に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）について、「家族が興味を持っていないから」との回答割合は、平成24年度以前からの者が平成25年度からの者に比べ有意に高い。また「モニター会議や説明会に出席していないので、わからない」との回答割合は、平成25年度からの者が平成24年度以前からの者に比べ有意に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）について、「家族が興味を持っていないから」との回答割合は、平成24年度以前からの者が平成25年度からの者に比べ高い傾向が見られる。また、「話すべき情報を持っていないから」、「機会があれば話したいが、機会がないから」との回答割合は、平成25年度からの者が平成24年度以前からの者に比べ高い傾向が見られる。

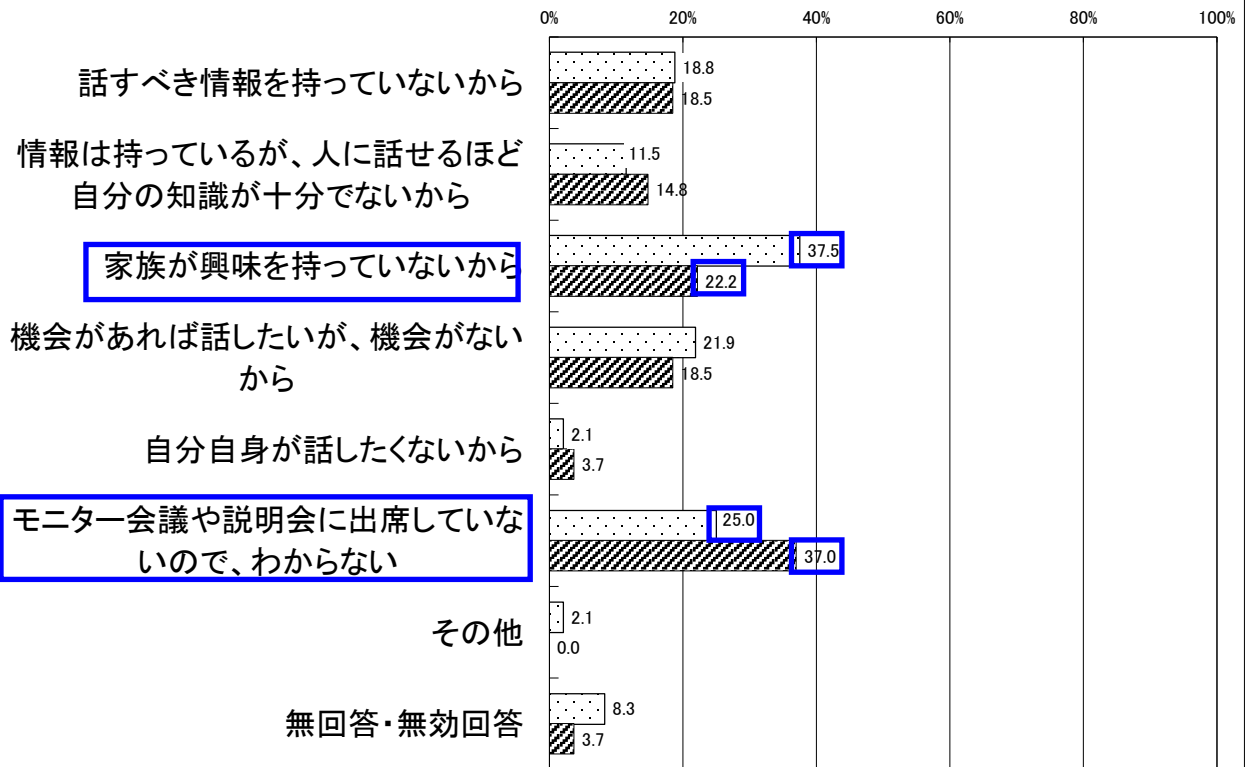
「一般情報」について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由  
 (モニター継続) (n=18)



「行政取組情報」について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由(モニター継続) (n=149)



「特定ハザード情報(会議)」について、平成25年4月以降、家族に話した  
 ことがない理由(モニター継続) (n=123)

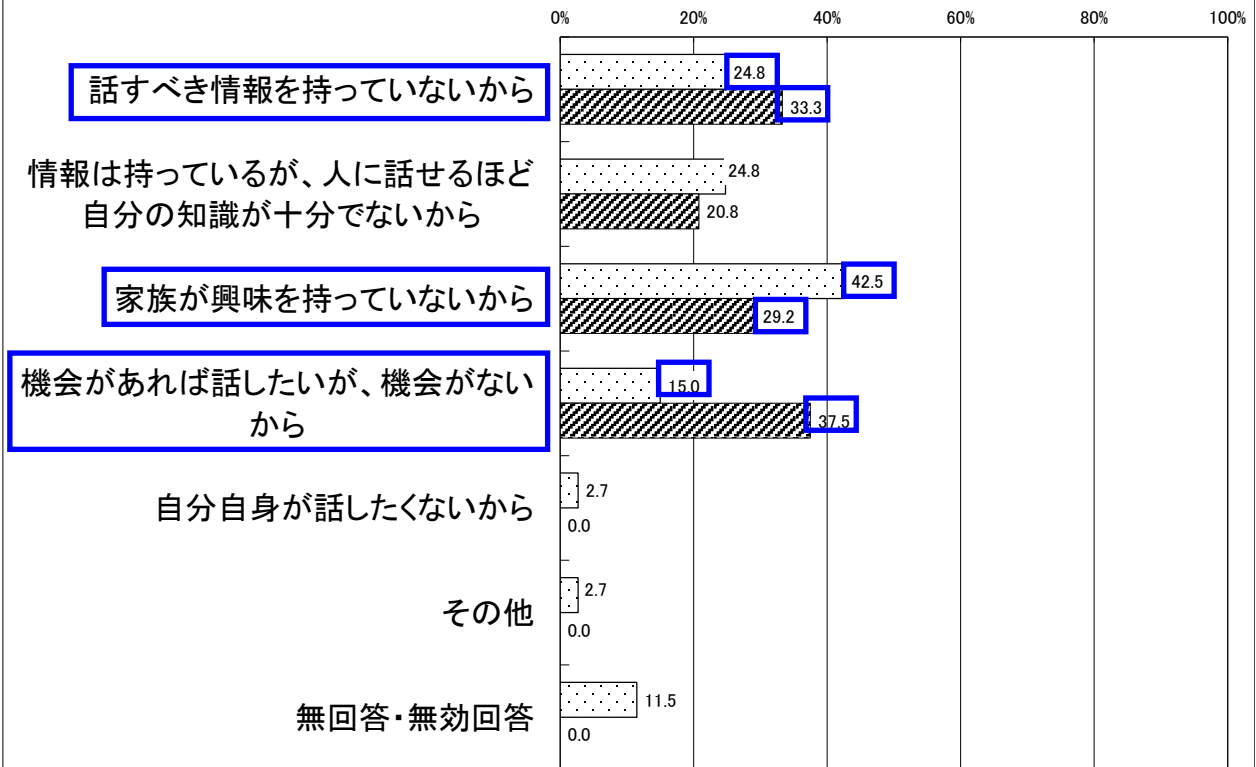


□ 平成24年度以前からの者(n=96)

☑ 平成25年度からの者(n=27)



「特定ハザード情報(会議以外)」について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由(モニター継続)(n=137)

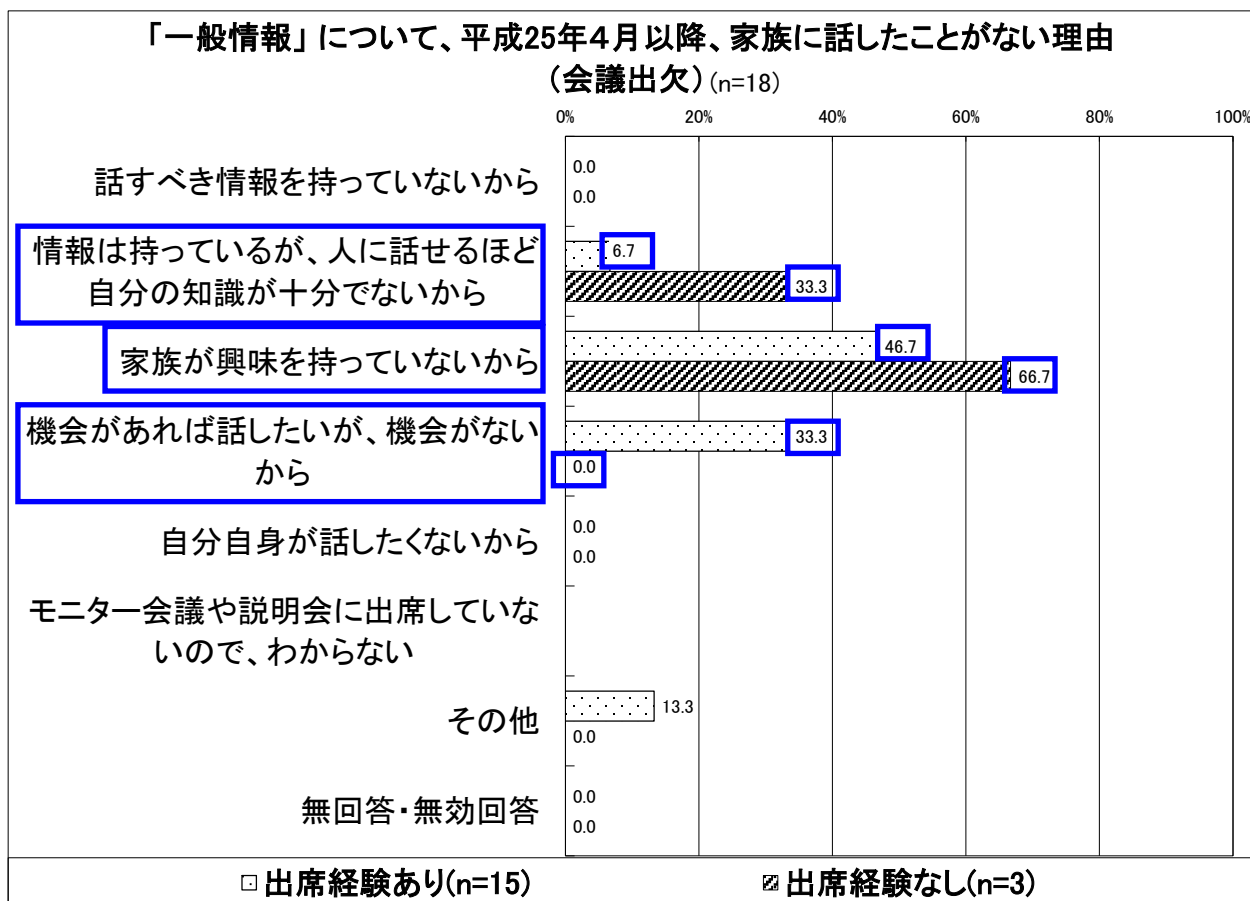


□ 平成24年度以前からの者(n=113)

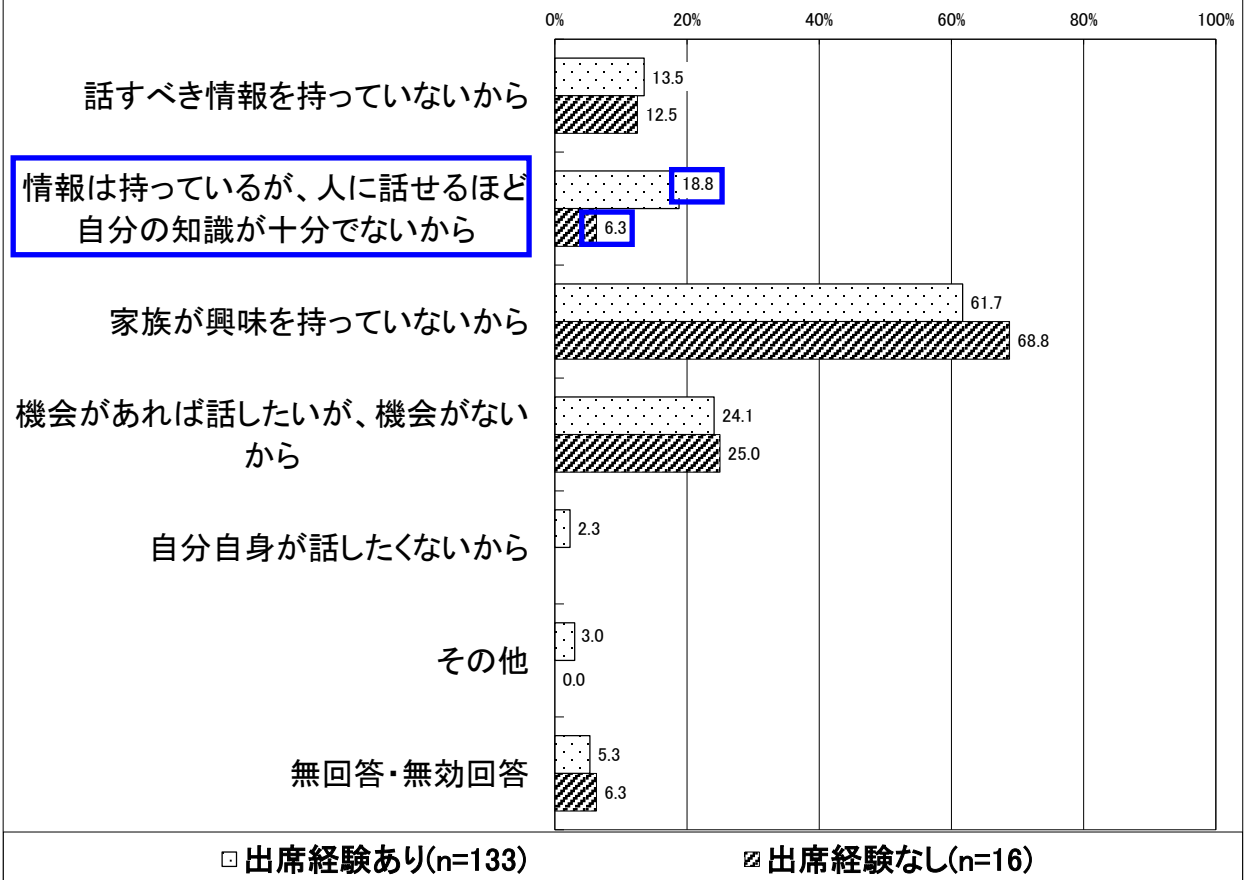
■ 平成25年度からの者(n=24)

< 4種類の情報について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由について（モニター会議出席別回答割合） >

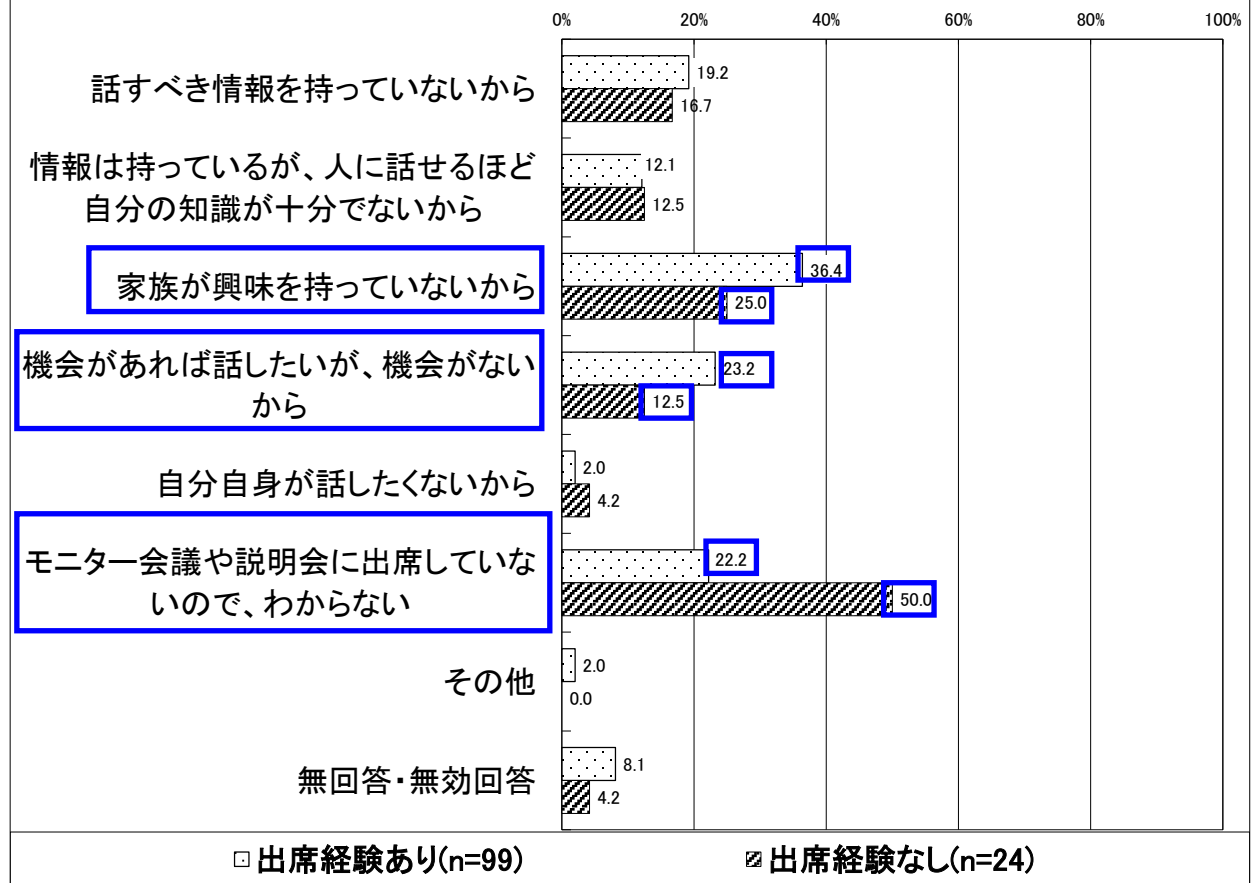
- ◆ 一般情報について、「機会があれば話したいが、機会がないから」との回答割合は、モニター会議への出席経験がある者が会議出席経験がない者に比べ高い傾向が見られる。また、「情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから」、「家族が興味を持っていないから」との回答割合は、会議出席経験がない者が会議出席経験がある者に比べ高い傾向が見られる。
- ◆ 行政取組情報について、「情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから」との回答割合は、会議出席経験がある者が会議出席経験がない者に比べ有意に高い。
- ◆ 「特定ハザード情報（会議）」について、「家族が興味を持っていないから」、「機会があれば話したいが、機会がないから」との回答割合は、会議出席経験がある者が会議出席経験がない者に比べ有意に高い。また「モニター会議や説明会に出席していないので、わからない」との回答割合は、会議出席経験がない者が会議出席経験がある者に比べ有意に高い。
- ◆ 「特定ハザード情報（会議以外）」について、「機会があれば話したいが、機会がないから」との回答割合は、会議出席経験がない者が会議出席経験がある者に比べ高い傾向が見られる。



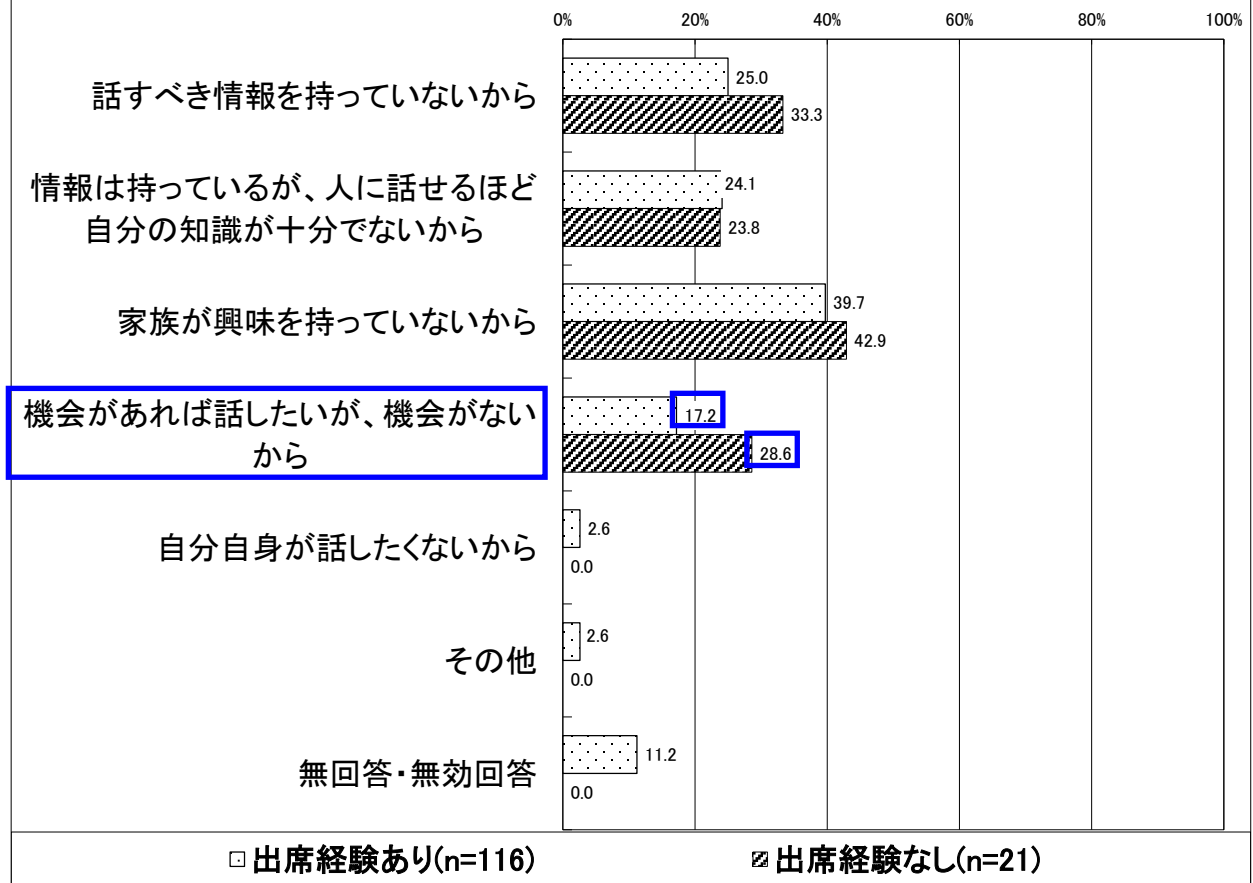
「行政取組情報」について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由(会議出欠) (n=149)



「特定ハザード情報(会議)」について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由(会議出欠) (n=123)



「特定ハザード情報(会議以外)」について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由(会議出欠)(n=137)



問3：7 その他（4種類の情報について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由）

（1）一般情報について（回答者数=2人、うち1人が空欄）

一人暮らしのため、月に1度会うかどうかなので話す機会がないとの回答があった。

（2）行政取組情報について（回答者数=4人）

家族が知る必要性を感じなかったため、専門的な知識の為、家族が理解できないと思ったなどの回答があった。

（3）特定ハザード情報（会議）について（回答者数=2人）

家族が知る必要性を感じなかったため、一人暮らしのため、月に1度会うかどうかなので話す機会がないとの回答があった。

（4）特定ハザード情報（会議以外）について（回答者数=3人）

家族が知る必要性を感じなかったため、専門的な知識の為、家族が理解できないと思ったなどの回答があった。

④食品安全委員会から入手した4種類の情報の、友人・隣人（近所や親戚等、お知り合いの方を含む。以下同じ。）、職場の同僚等への提供の有無（問4）

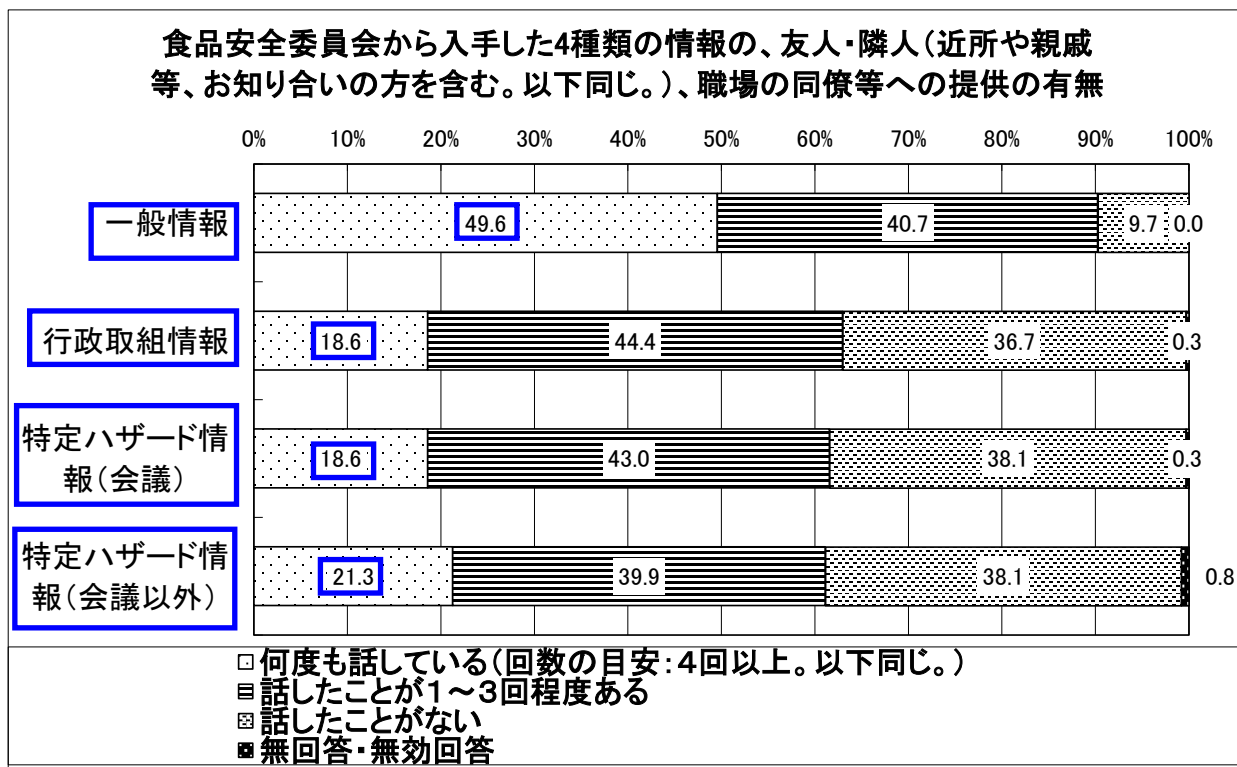
問4は全員お答え下さい。

問4 あなたは平成25年4月以降、4種類の情報について、友人・隣人（近所や親戚等、お知り合いの方を含む。以下同じ。）、職場の同僚等に話したことがありますか。情報ごとに、当てはまるものを選択肢1～3の中から1つずつ選んで下さい。

【選択肢】

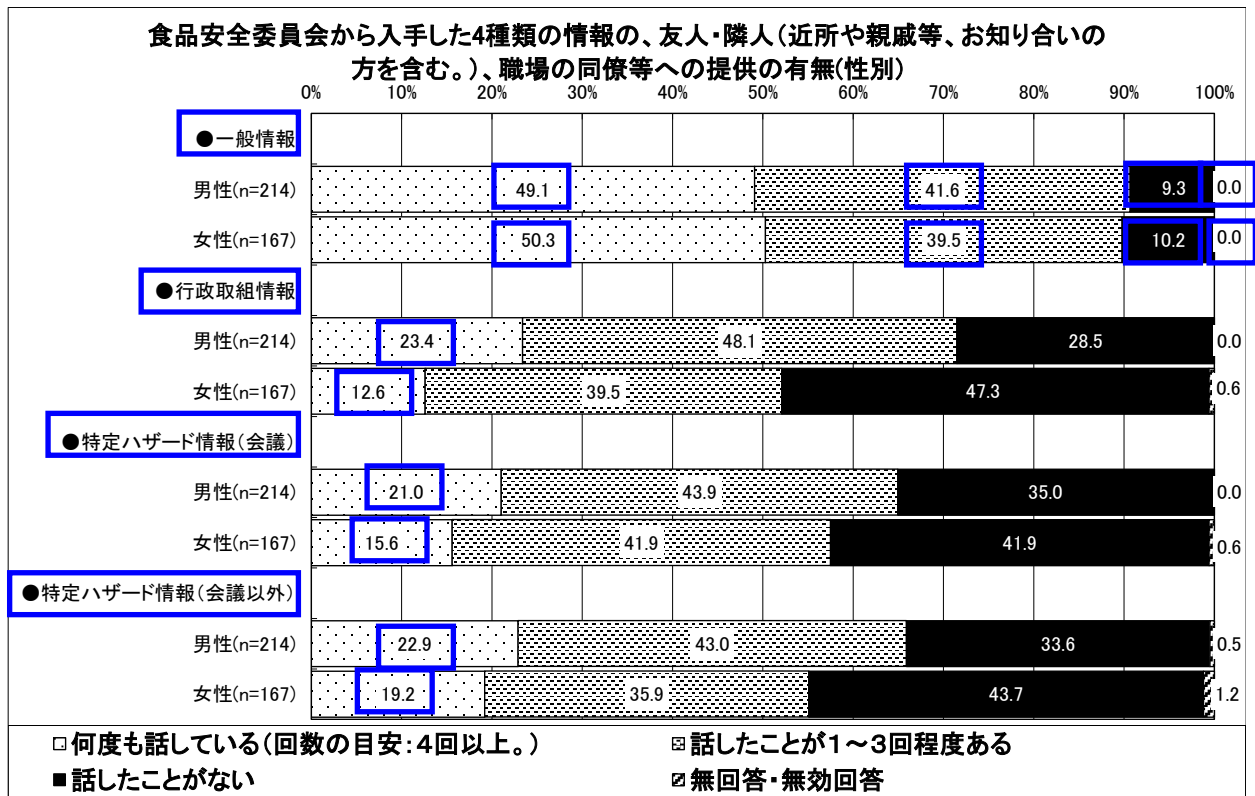
- 1 何度も話している
- 2 話したことが1～3回程度ある
- 3 話したことがない

- ◆ 一般情報について「何度も話している」との回答割合の合計は49.6%であり、行政取組情報（18.6%）、特定ハザード情報（会議）（18.6%）、特定ハザード情報（会議以外）（21.3%）に比べると高い。



＜食品安全委員会から入手した4種類の情報の、友人・隣人（近所や親戚等、お知り合いの方を含む。以下同じ。）、職場の同僚等への提供の有無について（男女別回答割合）＞

- ◆ 一般情報について回答割合は、男性、女性で同等である傾向が見られる。
- ◆ 行政取組情報について、「何度も話している」との回答割合は、男性が女性に比べ有意に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）及び特定ハザード情報（会議以外）について、「何度も話している」との回答割合は、男性が女性に比べ高い傾向が見られる。

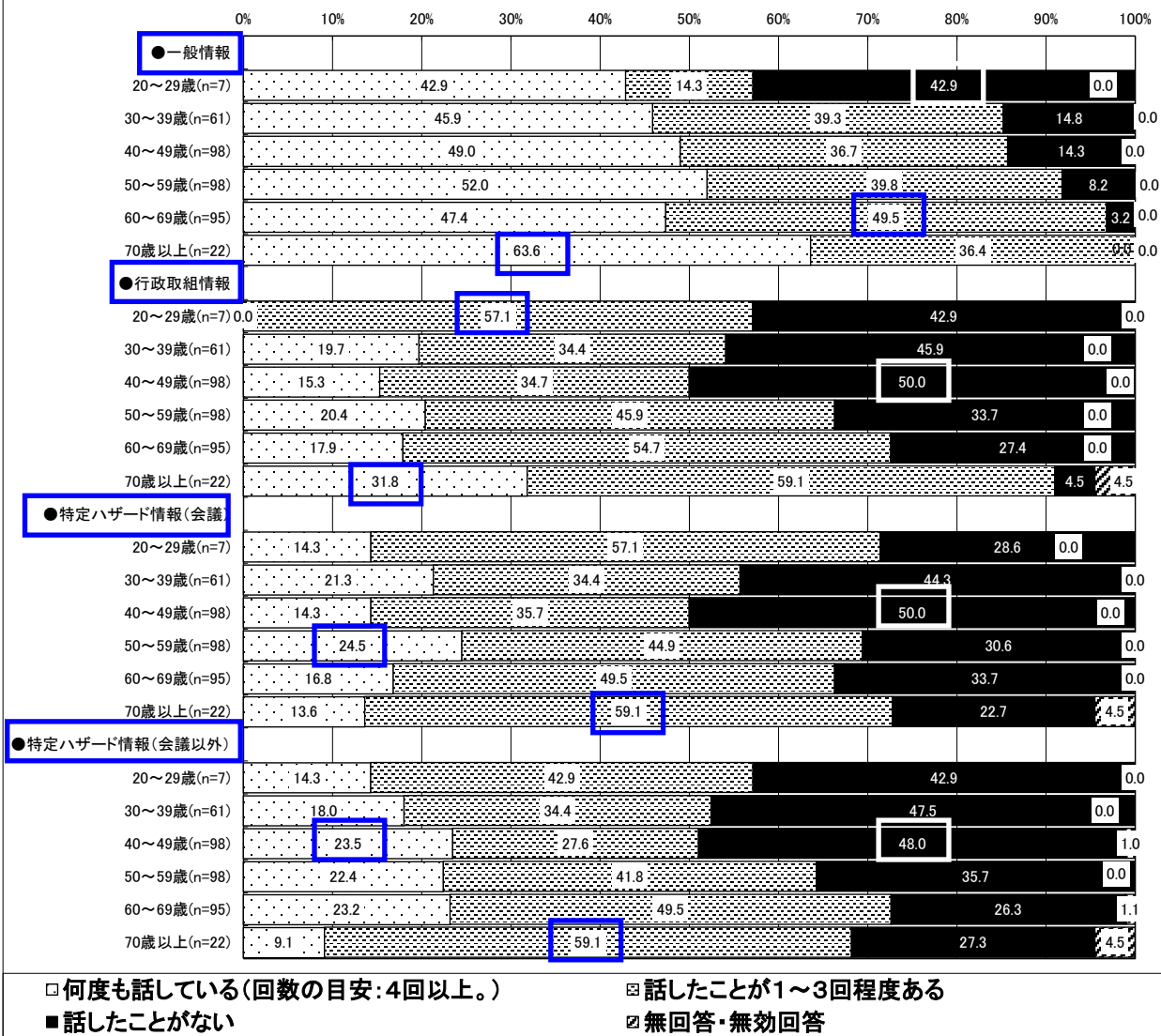




＜食品安全委員会から入手した4種類の情報の、友人・隣人（近所や親戚等、お知り合いの方を含む。以下同じ。）、職場の同僚等への提供の有無について（年代別回答割合）＞

- ◆ 一般情報について「何度も話している」との回答割合は、70歳以上で他の年代に高い傾向が見られる。「話したことが1～3回程度ある」との回答割合は、60～69歳で他の年代に比べ高い傾向が見られる。また、「話したことがない」との回答割合は、20～29歳で他の年代に比べ高い傾向が見られる。
- ◆ 行政取組情報について「何度も話している」との回答割合は、70歳以上で他の年代に比べ有意に高い。「話したことが1～3回程度ある」との回答割合は、20～29歳で他の年代に比べ有意に高い。また、「話したことがない」との回答割合は、40～49歳で他の年代に比べ有意に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）について「何度も話している」との回答割合は、50～59歳で他の年代に比べ有意に高い。「話したことが1～3回程度ある」との回答割合は、70歳以上で他の年代に比べ有意に高い。また、「話したことがない」との回答割合は、40～49歳で他の年代に比べ有意に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）について「何度も話している」及び「話したことがない」との回答割合は、40～49歳で他の年代に比べ高い傾向が見られる。また、「話したことが1～3回程度ある」との回答割合は、70歳以上で他の年代に高い傾向が見られる。

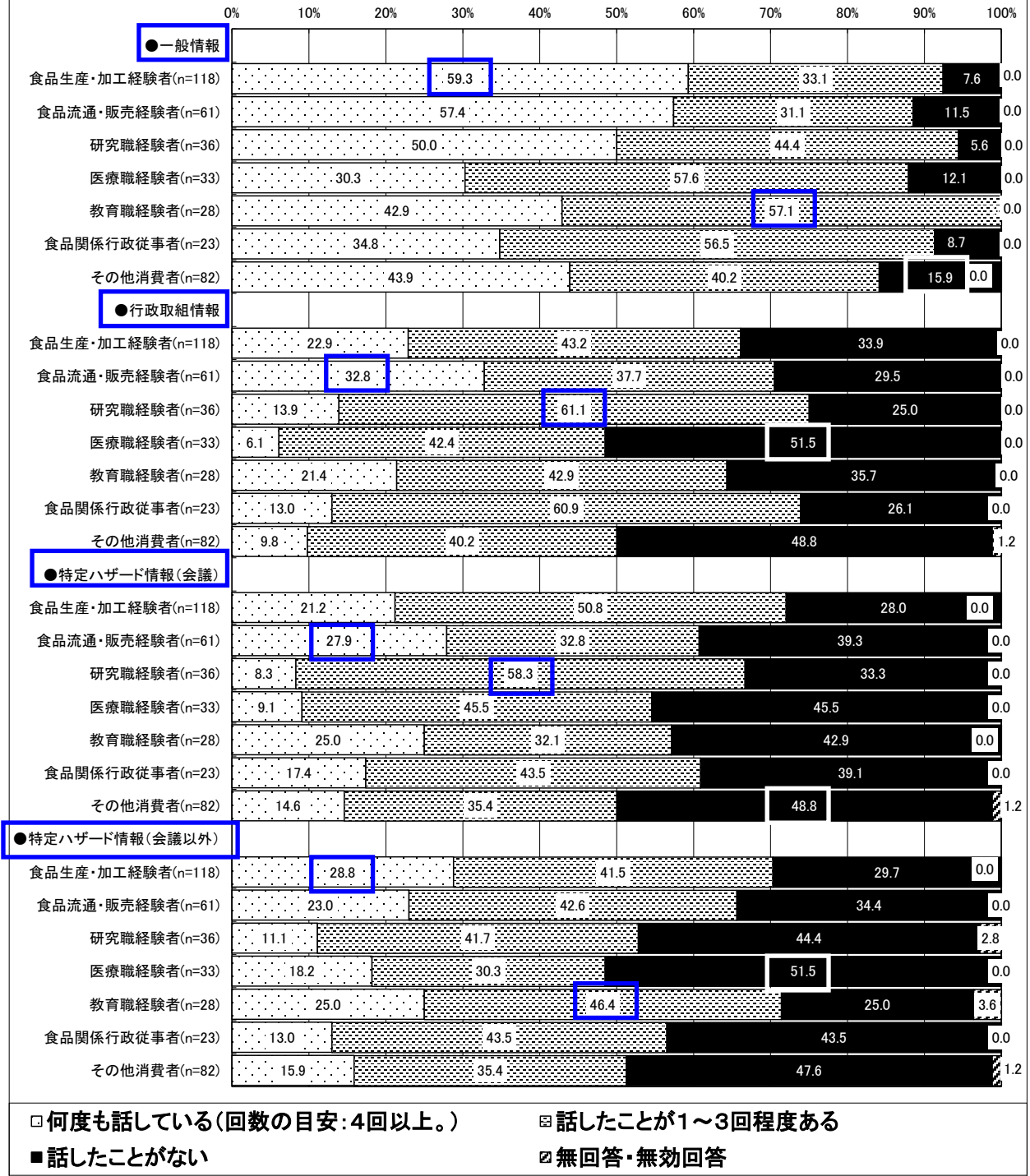
食品安全委員会から入手した4種類の情報の、友人・隣人(近所や親戚等、お知り合いの方を含む。)、職場の同僚等への提供の有無(年代)



＜食品安全委員会から入手した4種類の情報の、友人・隣人、職場の同僚等への提供の有無について（職務経験別回答割合）＞

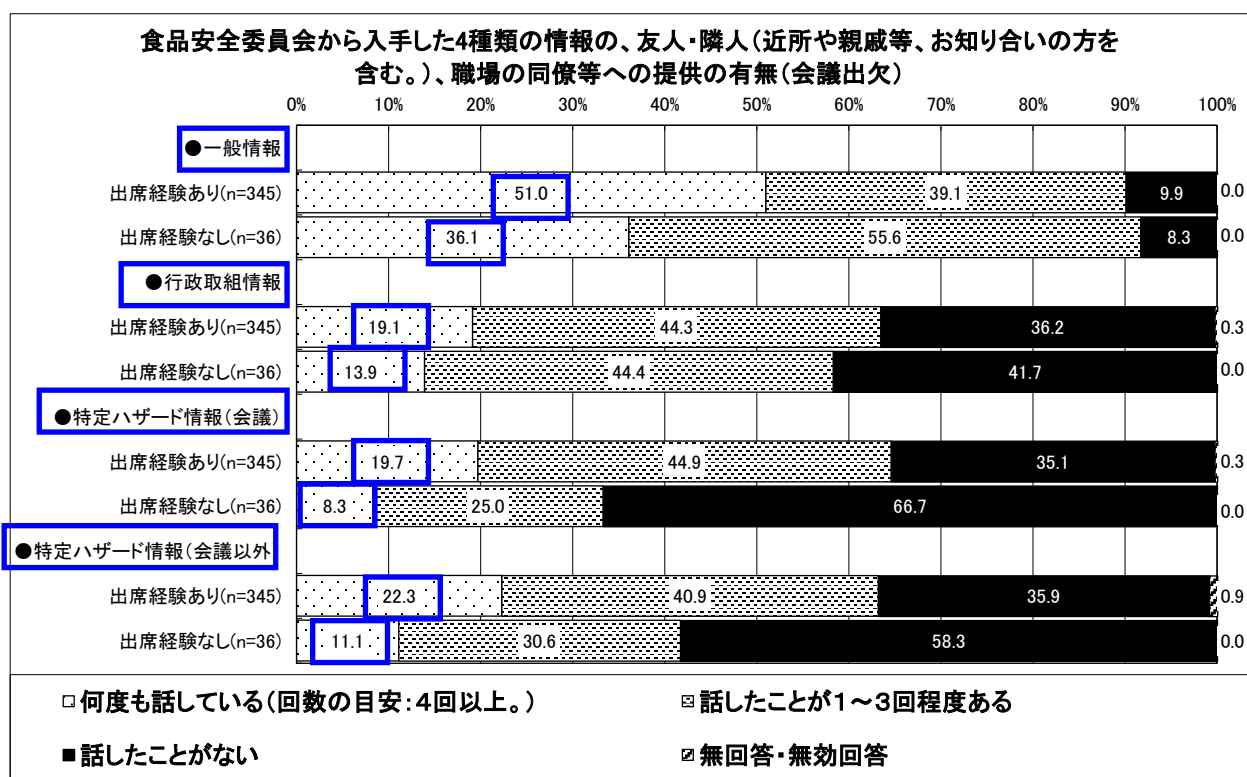
- ◆ 一般情報について「何度も話している」との回答割合は、食品生産・加工経験者で他の職務経験に比べ高い傾向が見られる。「話したことが1～3回程度ある」との回答割合は、教育職経験者で他の職務経験に比べ高い傾向が見られる。また、「話したことがない」との回答割合は、その他消費者で他の職務経験に比べ高い傾向が見られる。
- ◆ 行政取組情報について「何度も話している」との回答割合は、食品流通・販売経験者で他の職務経験に比べ有意に高い。「話したことが1～3回程度ある」との回答割合は、研究職経験者で他の職務経験に比べ有意に高い。また、「話したことがない」との回答割合は、医療職経験者で他の職務経験に比べ有意に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）について「何度も話している」との回答割合は、食品流通・販売経験者で他の職務経験に比べ高い傾向が見られる。「話したことが1～3回程度ある」との回答割合は、研究職経験者で他の職務経験に比べ高い傾向が見られる。また、「話したことがない」との回答割合は、その他消費者で他の職務経験に比べ高い傾向が見られる。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）について「何度も話している」との回答割合は、食品生産・加工経験者で他の職務経験に比べ高い傾向が見られる。「話したことが1～3回程度ある」との回答割合は、教育職経験者で他の職務経験に比べ高い傾向が見られる。また、「話したことがない」との回答割合は、医療職経験者で他の職務経験に比べ高い傾向が見られる。

食品安全委員会から入手した4種類の情報の、友人・隣人(近所や親戚等、お知り合いの方を含む。)、職場の同僚等への提供の有無(職務経験)



＜食品安全委員会から入手した4種類の情報の、友人・隣人、職場の同僚等への提供の有無について（モニター会議出欠別回答割合）＞

- ◆ 一般情報及び行政取組情報について「何度も話している」との回答割合は、モニター会議出席経験がある者が、会議出席経験がない者に比べ高い傾向が見られる。なお、一般情報では、「何度も話している」及び「話したことが1～3回程度ある」者の合計は、モニター会議出席経験がある者、ない者とも、90%を超えている。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）について「何度も話している」との回答割合は、会議出席経験がある者が、会議出席経験がない者に比べ有意に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）について「何度も話している」との回答割合は、会議出席経験がある者が、会議出席経験がない者に比べ高い傾向が見られる。



⑤ 4種類の情報について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える情報（問5）

問5 問4で、4種類の情報のうち、「1（何度も話している）」又は「2（話したことが1～3回程度ある）」を選択した情報についてお伺いします。

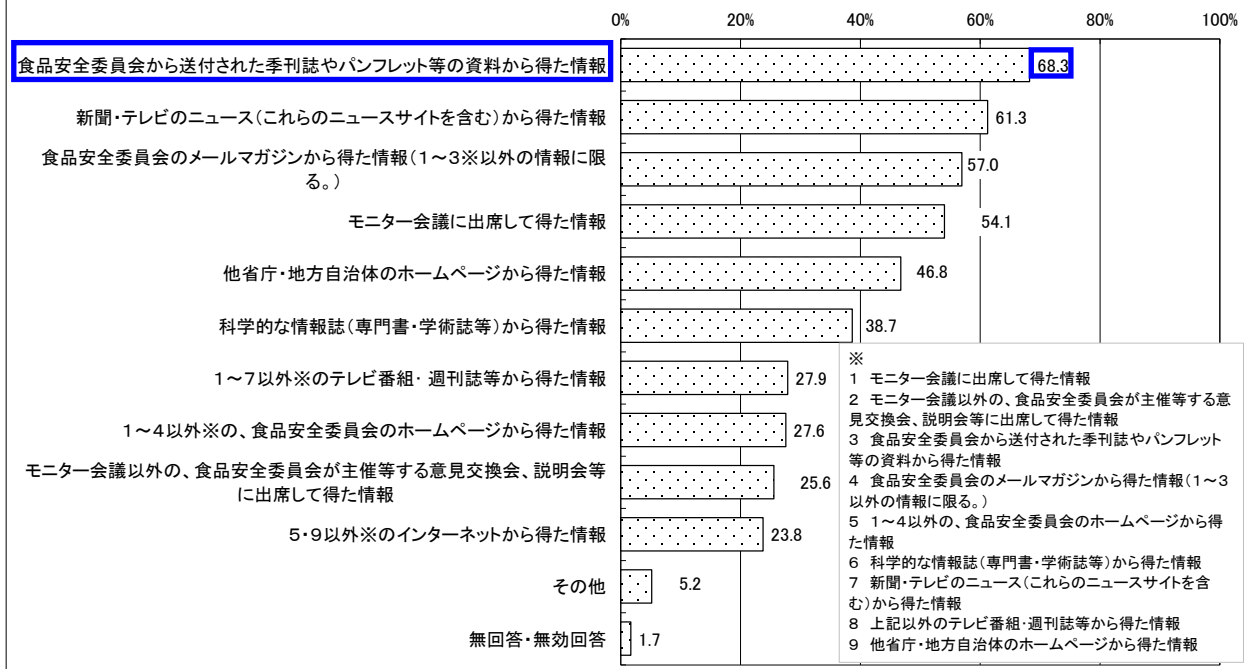
あなたが友人・隣人、職場の同僚等に対し、問4で「1（何度も話している）」又は「2（話したことが1～3回程度ある）」を選択した情報を話した際に、あなたが役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、どのようなものですか。情報ごとに、選択肢1～11の中から当てはまるものを全て選択して下さい。

【選択肢】

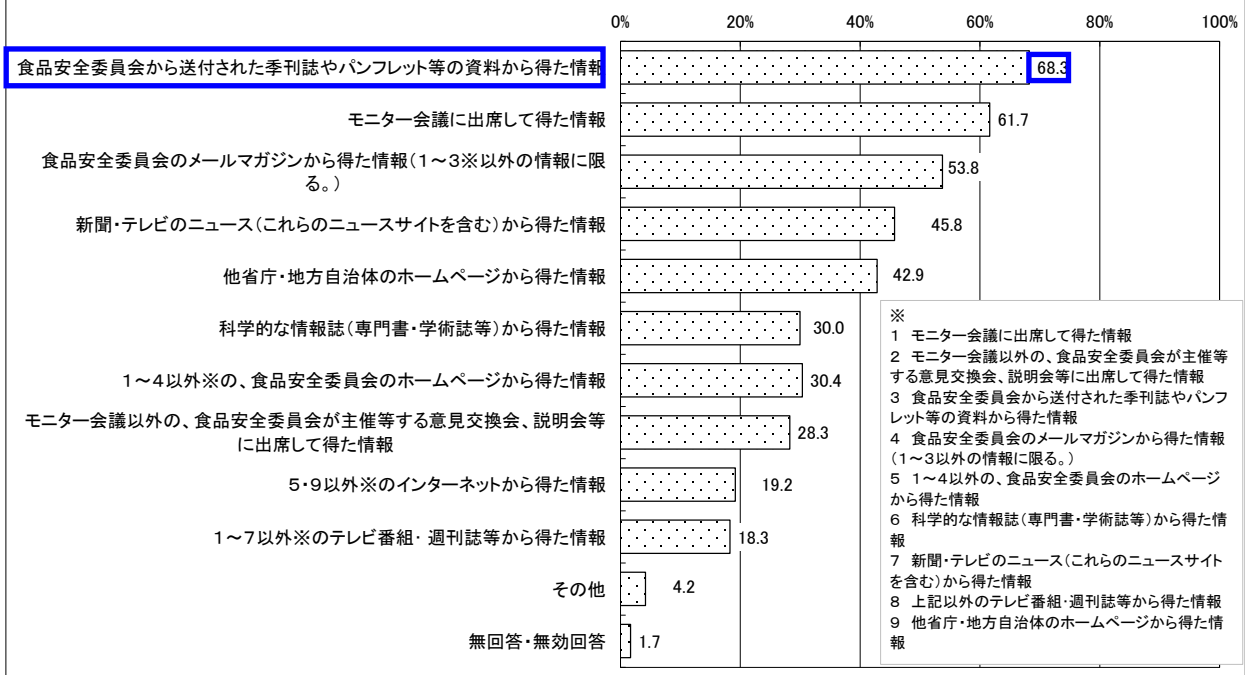
- 1 モニター会議に出席して得た情報
- 2 モニター会議以外の食品安全委員会が主催等する説明会等に出席して得た情報
- 3 食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報
- 4 食品安全委員会のメールマガジンから得た情報（1～3以外の情報に限る。）
- 5 1～4以外の、食品安全委員会のホームページから得た情報
- 6 科学的な情報誌（専門書・学術誌等）から得た情報
- 7 新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た情報
- 8 上記以外のテレビ番組・週刊誌等から得た情報
- 9 他省庁・地方自治体のホームページから得た情報
- 10 5・9以外のインターネットから得た情報
- 11 その他（具体的に）

- ◆ 一般情報、行政取組情報及び特定ハザード情報（会議以外）について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、「食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、「モニター会議に出席して得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。

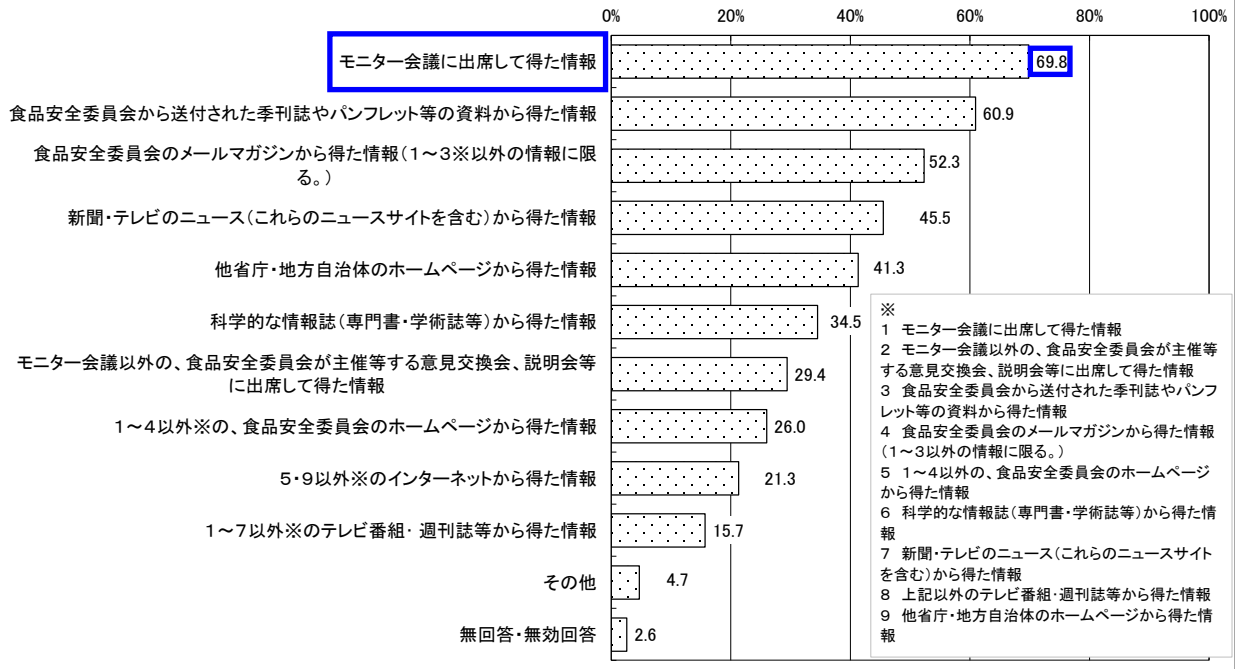
「一般情報」について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える情報 (n=344)



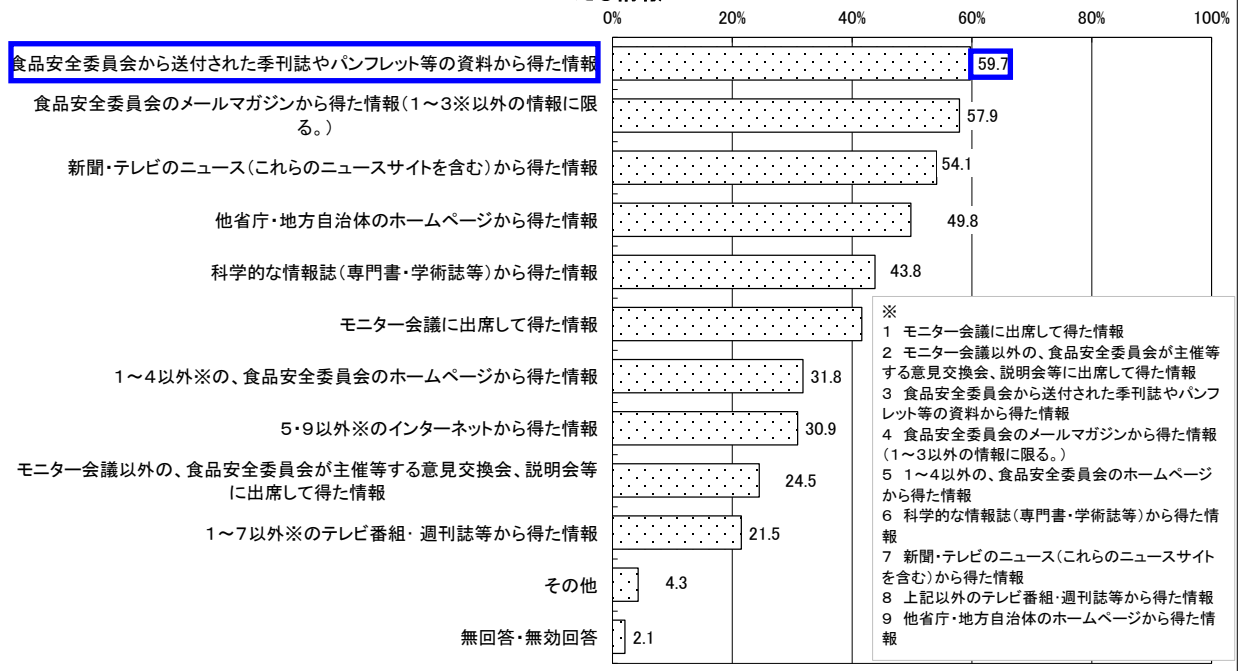
「行政取組情報」について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える情報 (n=240)



「特定ハザード情報(会議)」について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える情報 (n=235)



「特定ハザード情報(会議以外)」について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える情報 (n=233)

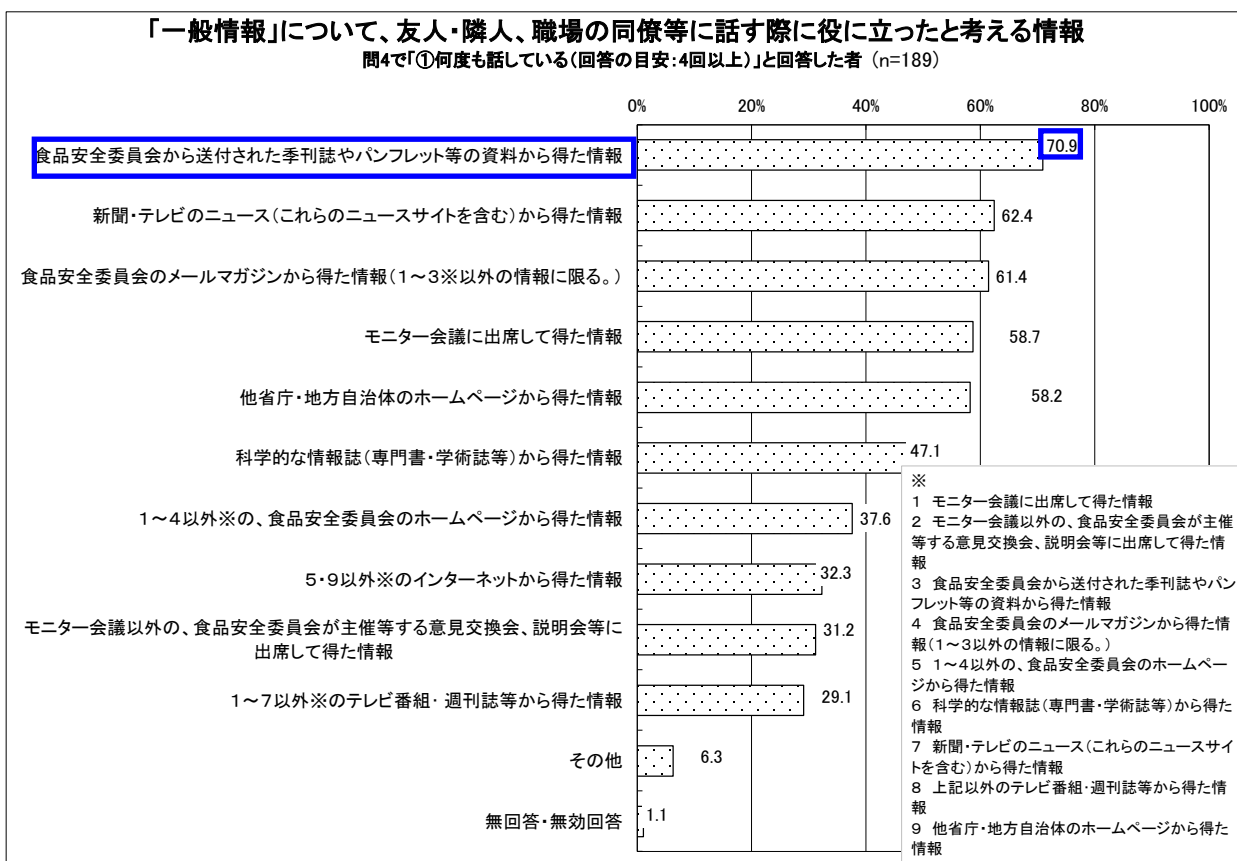




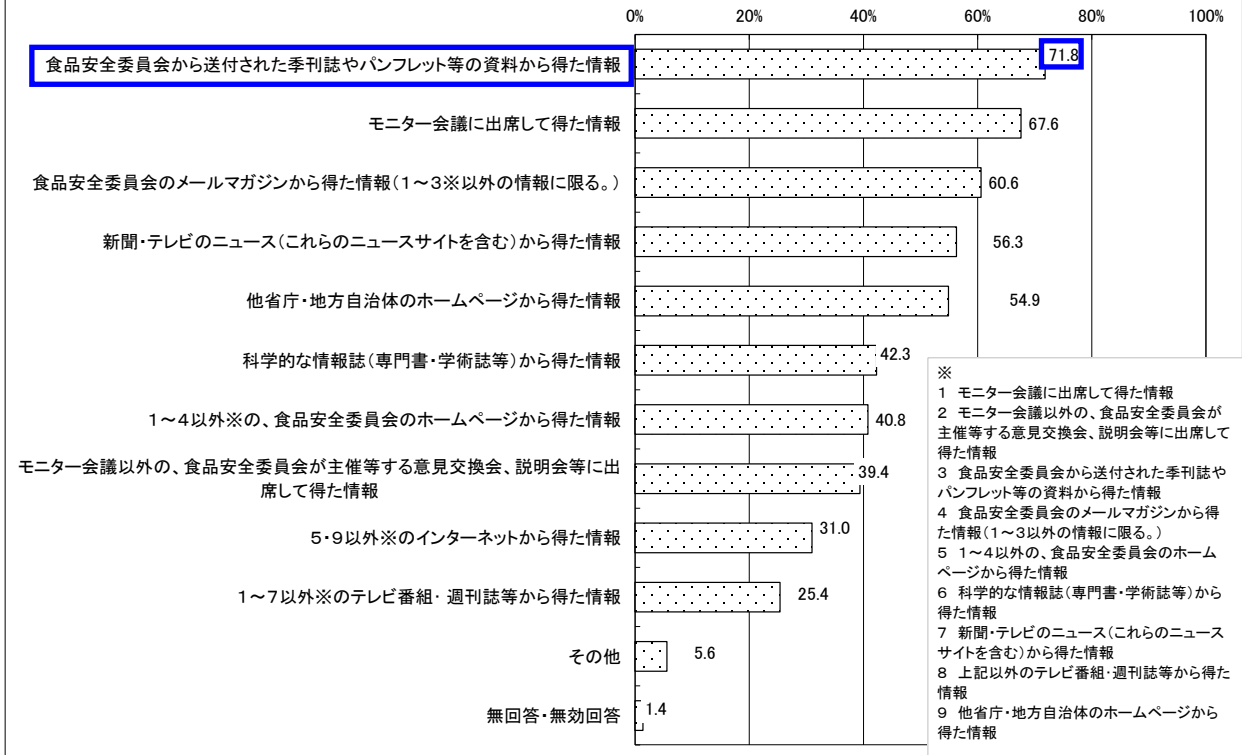
＜4種類の情報について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える情報について（話した回数別回答割合）【①何度も話している】＞

問4で「何度も話している」と回答した者について、

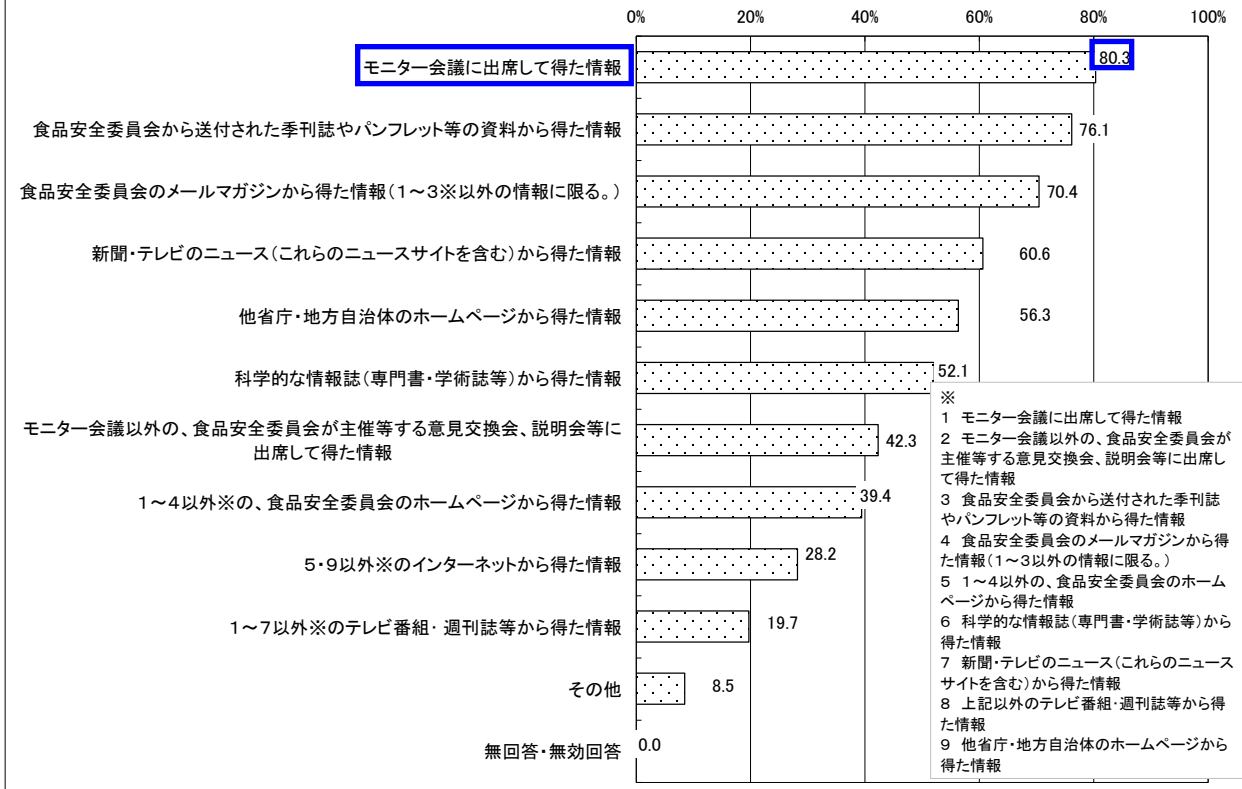
- ◆ 一般情報及び行政取組情報について話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、「食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）について話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、「モニター会議に出席して得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）について話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、「食品安全委員会のメールマガジンから得た情報（1～3以外の情報に限る。）」との回答割合が他の情報に比べ高い。



「行政取組情報」について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える情報  
問4で「①何度も話している(回答の目安:4回以上)」と回答した者 (n=71)

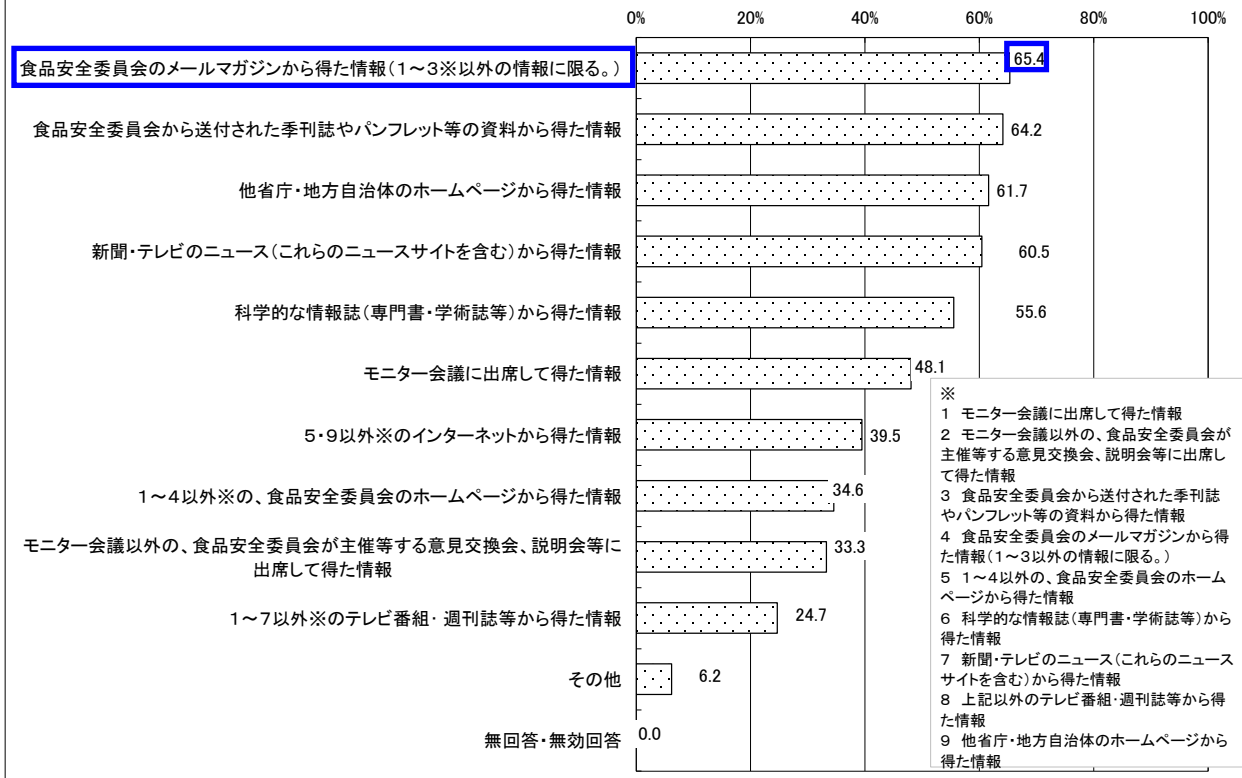


「特定ハザード情報(会議)」について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える情報  
問4で「①何度も話している(回答の目安:4回以上)」と回答した者 (n=71)



「特定ハザード情報(会議以外)」について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に  
 立ったと考える情報

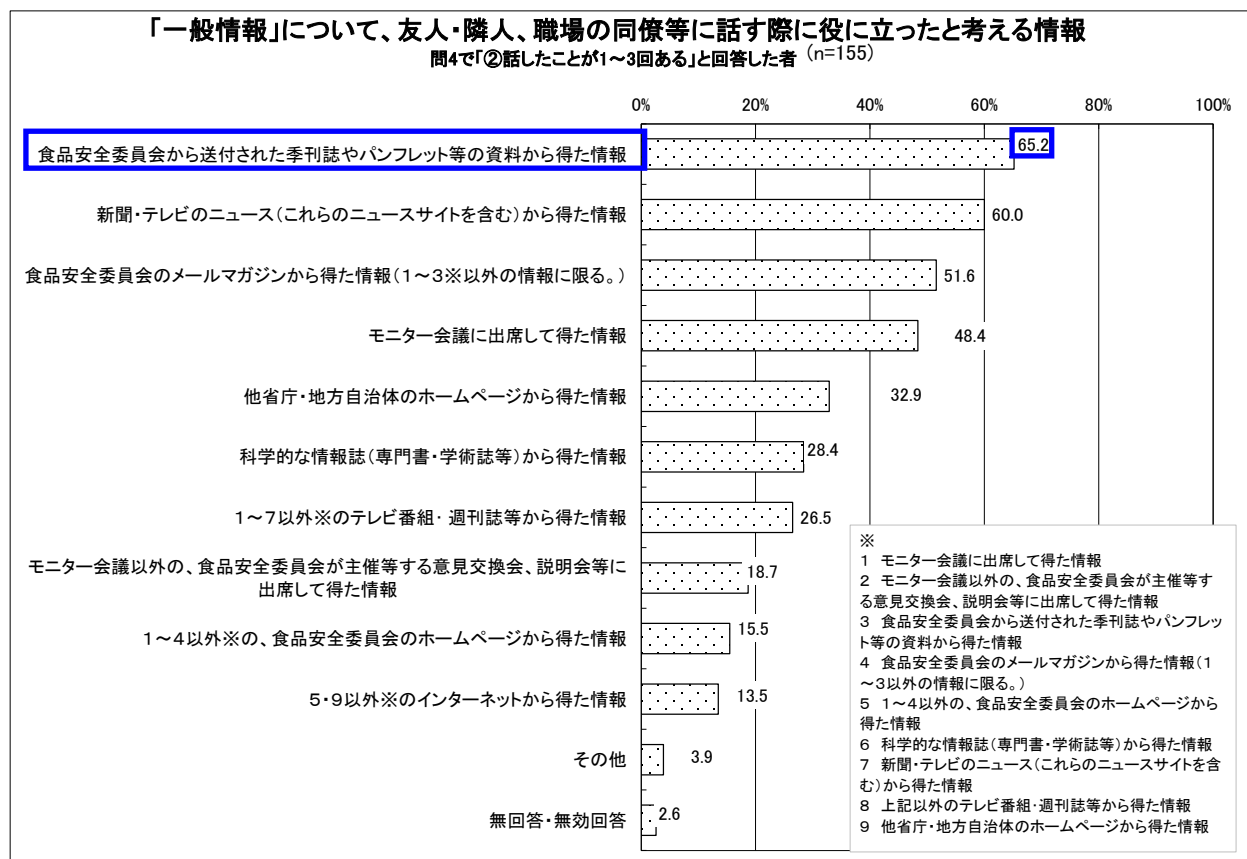
問4で「①何度も話している(回答の目安:4回以上)」と回答した者 (n=81)



< 4種類の情報について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える情報について（話した回数別回答割合）【②話したことが1～3回程度ある】>

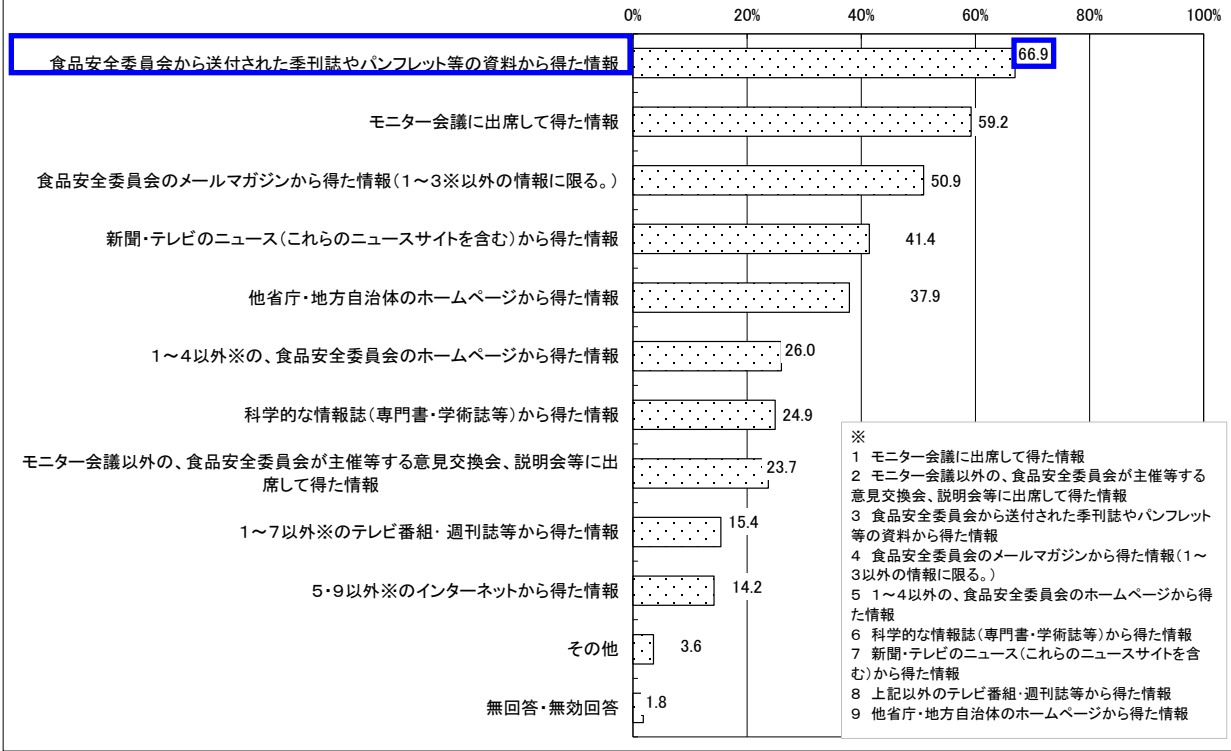
問4で「話したことが1～3回程度ある」と回答した中で、

- ◆ 一般情報、行政取組情報及び特定ハザード情報（会議以外）について話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、「食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）について話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、「モニター会議に出席して得た情報」との回答割合が他の情報に比べ高い。



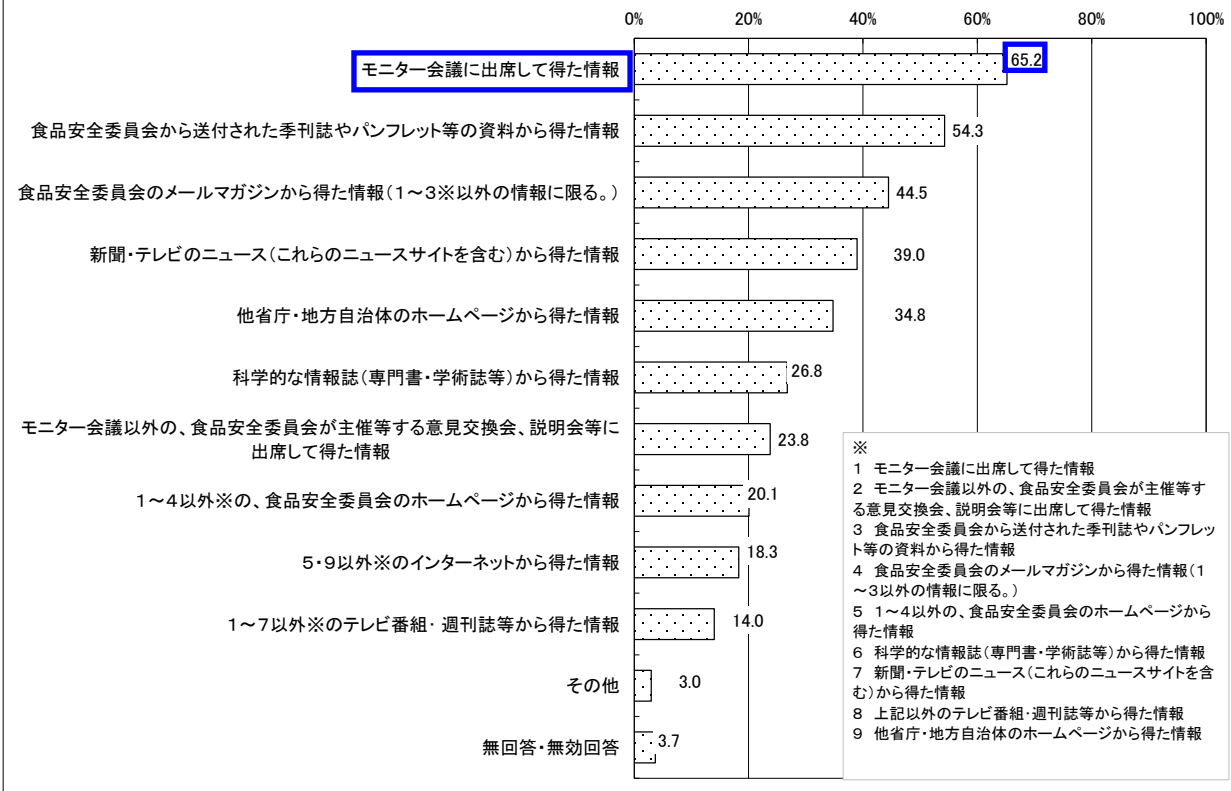
「行政取組情報」について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える情報

問4で「②話したことが1～3回ある」と回答した者 (n=169)



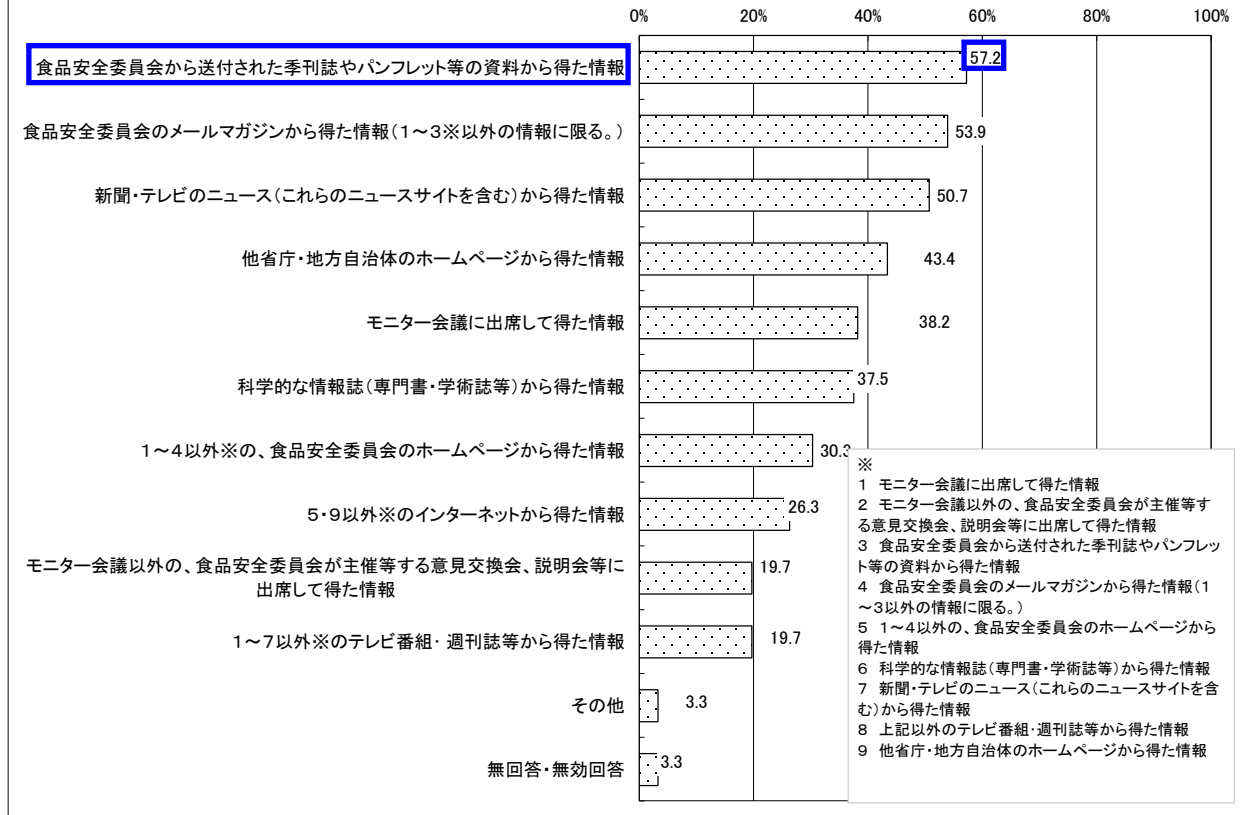
「特定ハザード情報(会議)」について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える情報

問4で「②話したことが1～3回ある」と回答した者 (n=164)



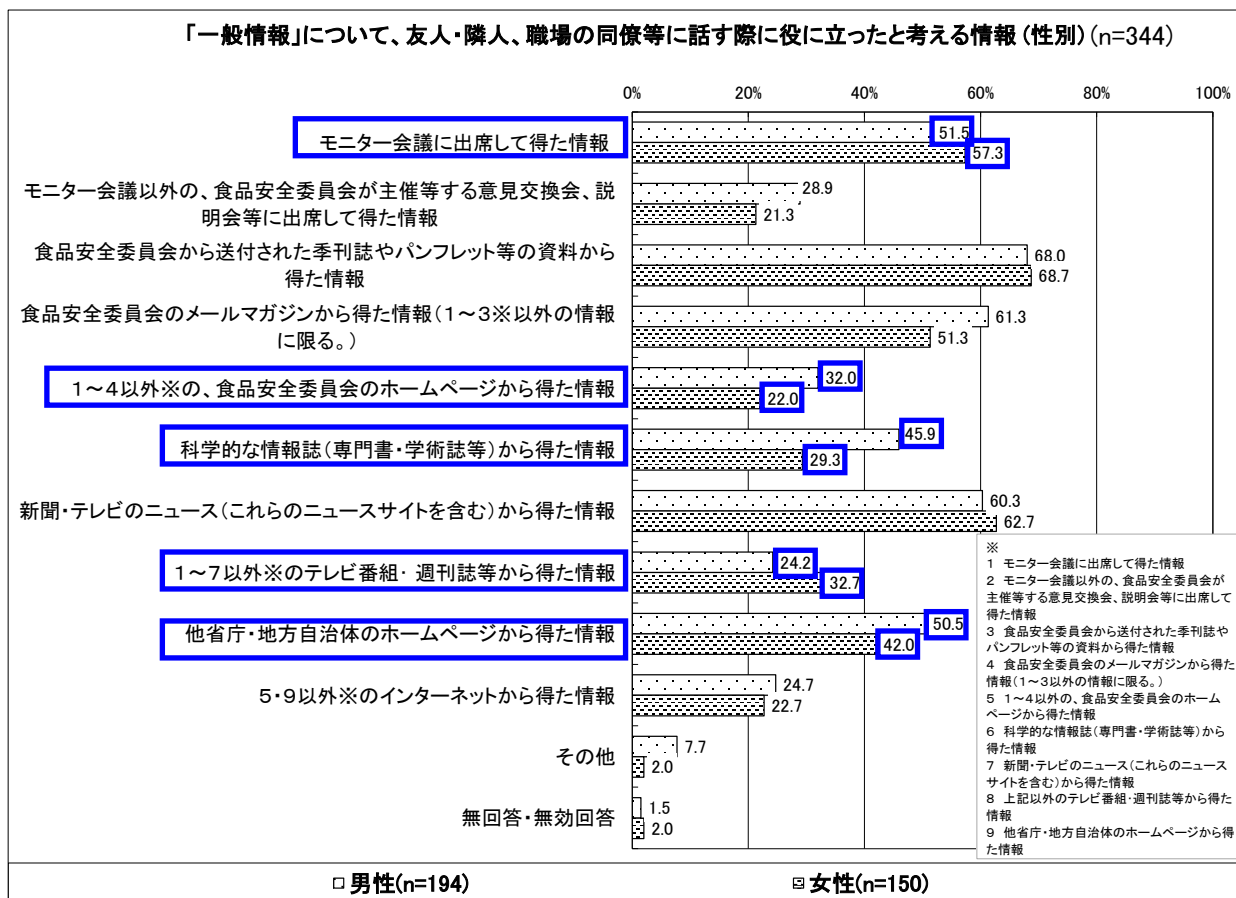
「特定ハザード情報(会議以外)」について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に  
 立ったと考える情報

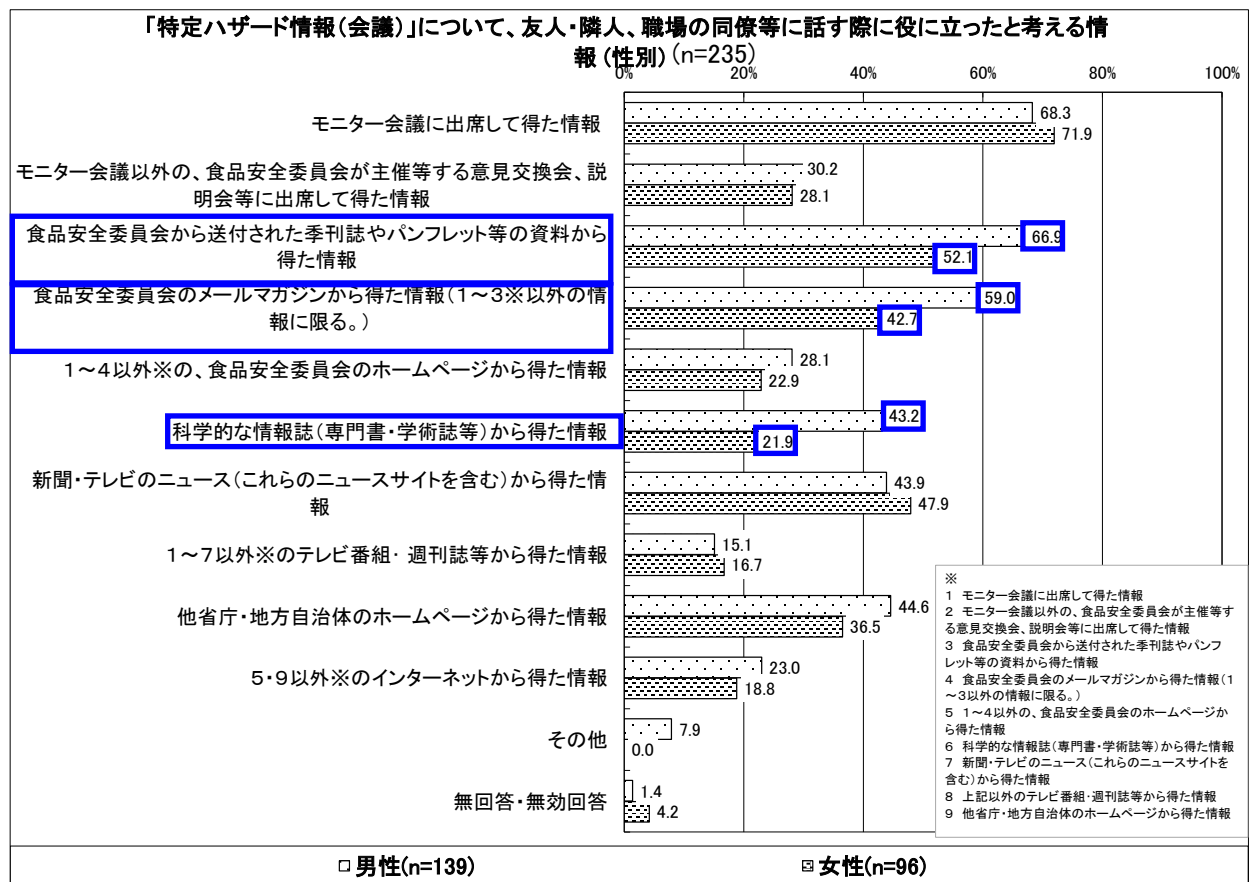
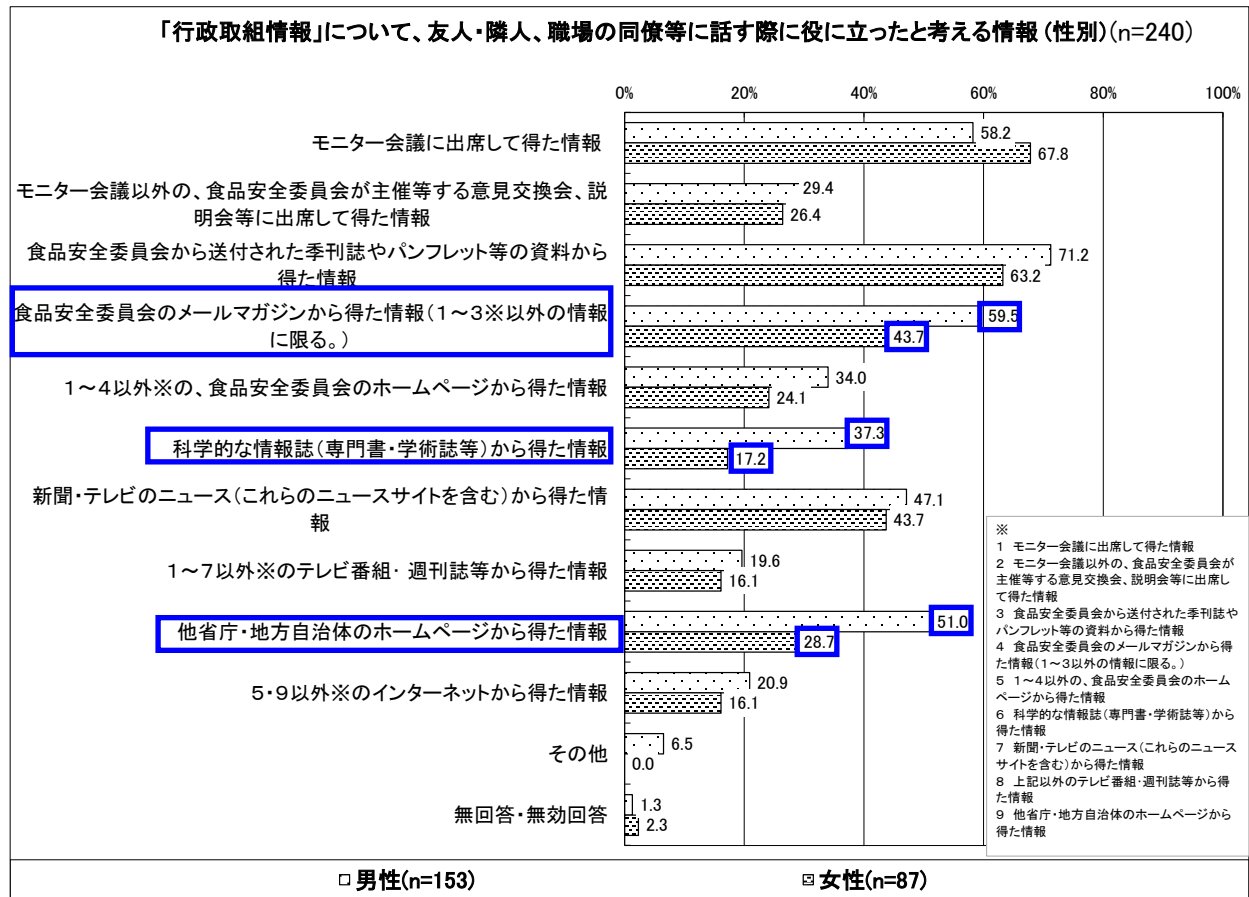
問4で「②話したことが1~3回ある」と回答した者 (n=152)



< 4種類の情報について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える情報について（男女別回答割合）>

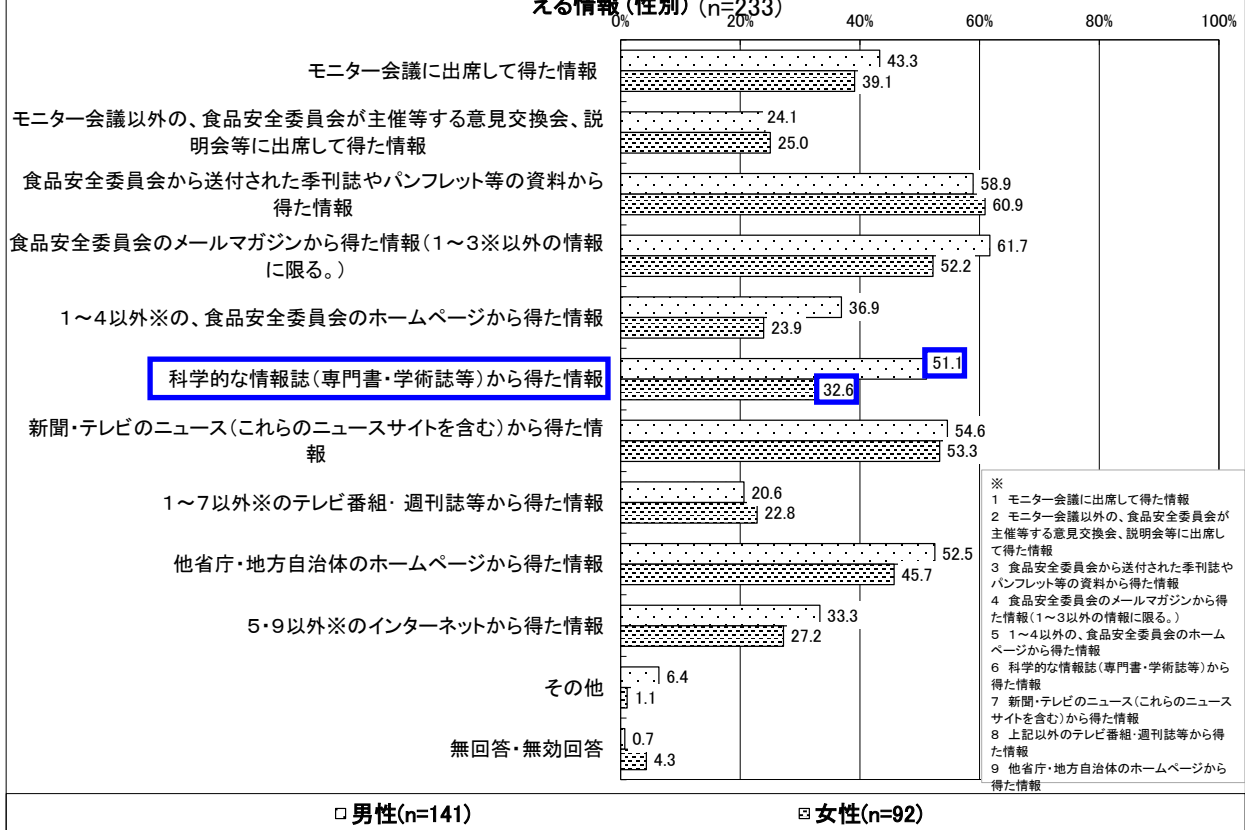
- ◆ 一般情報について、「モニター会議に出席して得た情報」との回答割合は、女性が男性に比べ高い傾向が見られる。また、「1～4以外の、食品安全委員会のホームページから得た情報」、「科学的な情報誌（専門書・学術書等）から得た情報」、「1～7以外のテレビ番組・週刊誌等から得た情報」、「他省庁・地方自治体のホームページから得た情報」との回答割合は、男性が女性に比べ有意に高い。
- ◆ 行政取組情報について、「食品安全委員会のメールマガジンから得た情報（1～3以外の情報に限る。）」、「科学的な情報誌（専門書・学術書等）から得た情報」、「他省庁・地方自治体のホームページから得た情報」との回答割合は、男性が女性に比べ有意に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）について、「食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報」、「食品安全委員会のメールマガジンから得た情報（1～3以外の情報に限る。）」、「科学的な情報誌（専門書・学術書等）から得た情報」との回答割合は、いずれも男性が女性に比べ有意に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）について、「科学的な情報誌（専門書・学術書等）から得た情報」との回答割合は、男性が女性に比べ高い傾向が見られる。







「特定ハザード情報(会議以外)」について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考  
える情報(性別) (n=233)



問5：11 その他（4種類の情報について、友人・隣人、職場の同僚等に話す際に役に立ったと考える情報）

（1）一般情報について（回答者数=18人、うち2人空欄）

大学の研究者から得た情報、専門書ではない一般書籍などの回答があった。

（2）行政取組情報について（回答者数=10人、うち1人が空欄）

食育勉強会、食品調理従事者、食協などの団体などから得た情報などの回答があった。

（3）特定ハザード情報（会議）について（回答者数=11人、うち1名空欄）

専門研究機関による説明会に出席して得た情報、専門家に直接話を聞いて内容についてなどから得た情報などの回答があった。

（4）特定ハザード情報（会議以外）について（回答者数=10人、うち空欄2人）

海外の評価機関（例：EFSA）からの情報、食育勉強会などの回答があった。

⑥ 4種類の情報について、平成25年4月以降、友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない理由（問6）

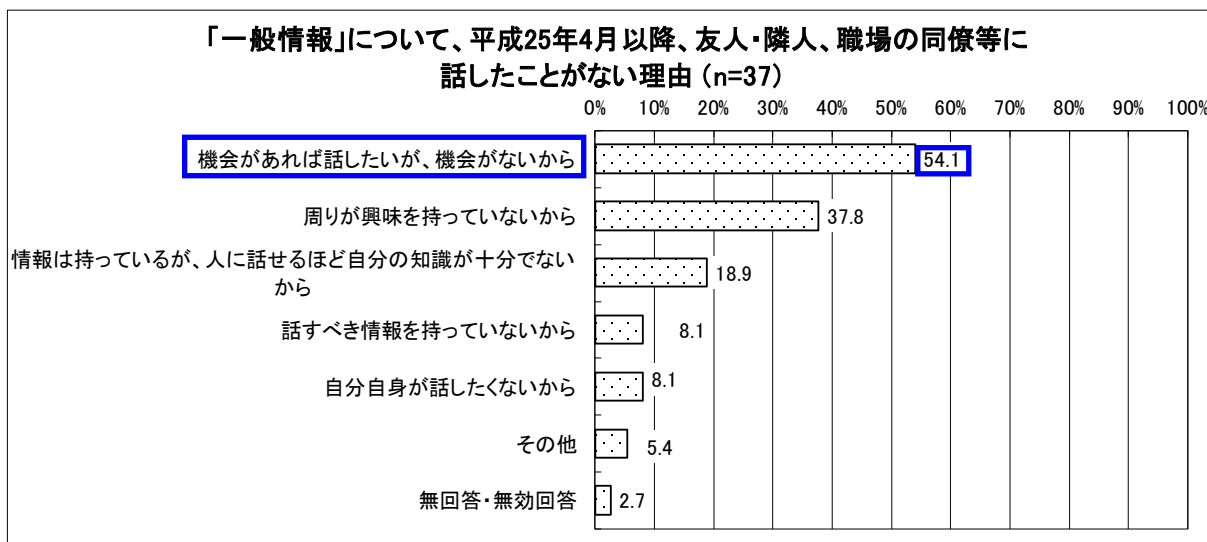
問6 問4で、4種類の情報のうち、「3（話したことがない）」を選択した情報についてお伺いいたします。

あなたが問4で「3（話したことがない）」を選択した情報について、平成25年4月以降、友人、隣人、職場の同僚等に話したことがない理由は何ですか。情報ごとに、最も近いものを選択肢1～7の中からお選び下さい。

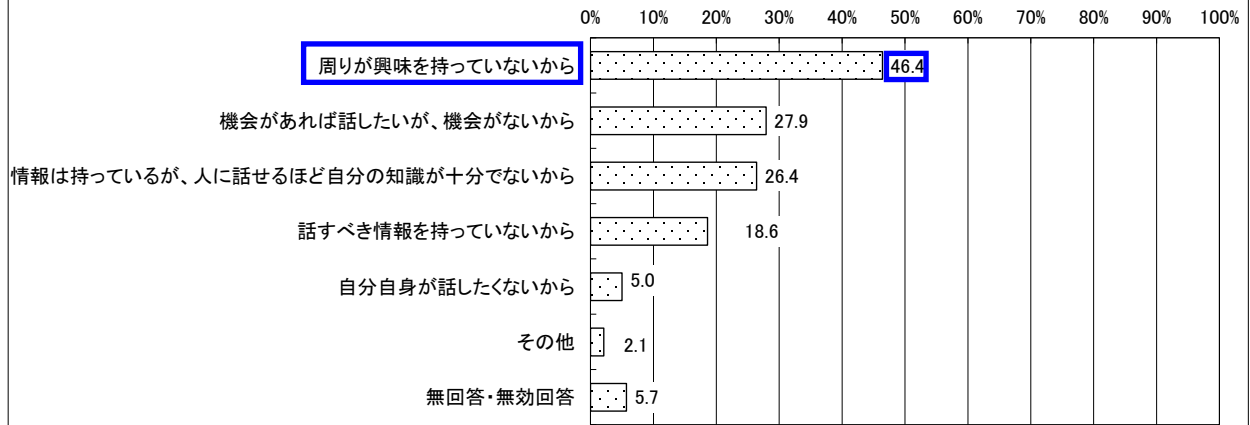
【選択肢】

- 1 話すべき情報を持っていないから
- 2 情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから
- 3 周りが興味を持っていないから
- 4 機会があれば話したいが、機会がないから
- 5 自分自身が話したくないから
- 6 モニター会議や説明会に出席していないので、わからない（情報Cのみの選択肢）
- 7 その他（具体的に記入）

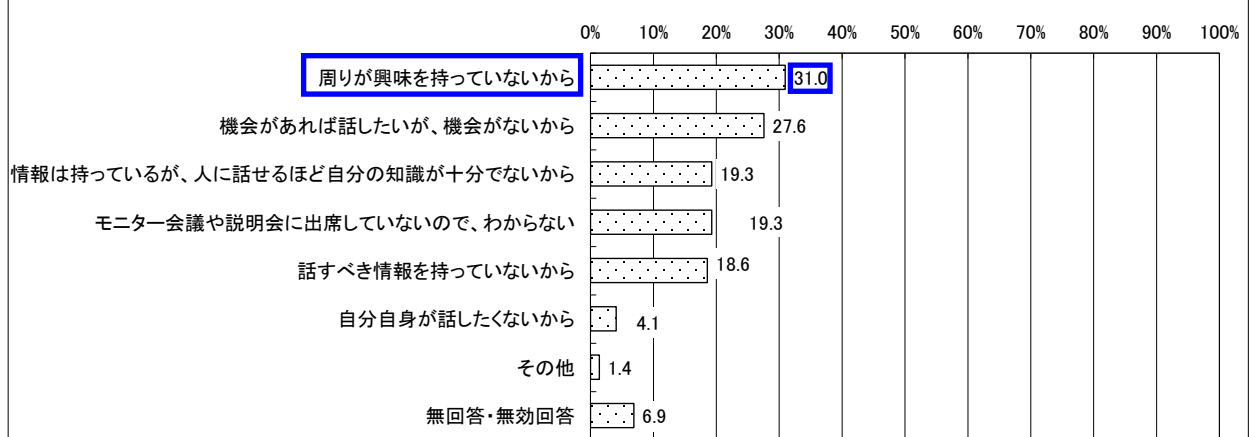
- ◆ 一般情報について、平成25年4月以降、友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない理由の回答割合は「機会があれば話したいが、機会がないから」との回答割合が他の理由に比べ高い。
- ◆ 行政取組情報、特定ハザード情報（会議）、特定ハザード情報（会議以外）について、平成25年4月以降、話したことがない理由の回答割合は「周りが興味を持っていないから」との回答割合が他の理由に比べ高い。



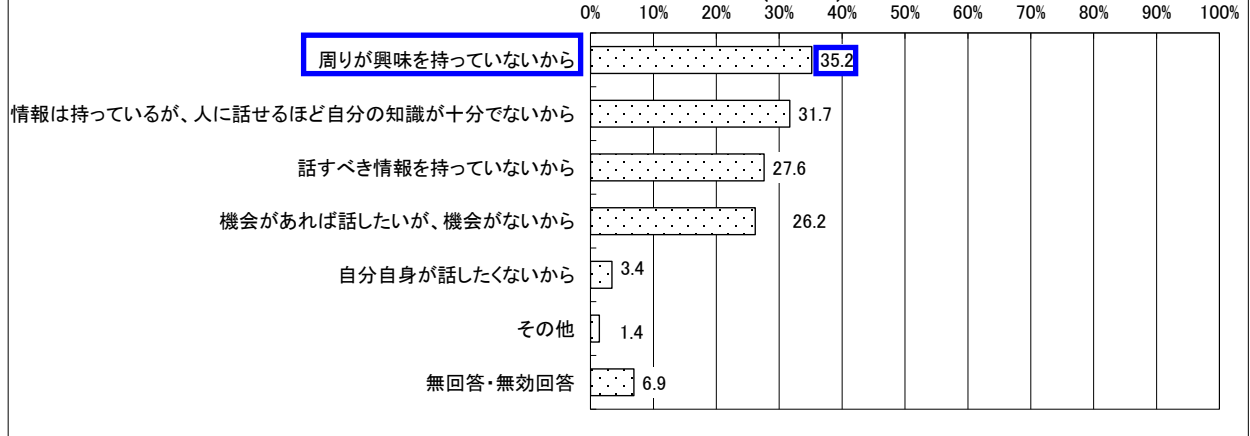
「行政取組情報」について、平成25年4月以降、友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない理由 (n=140)



「特定ハザード情報(会議)」について、平成25年4月以降、友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない理由 (n=145)

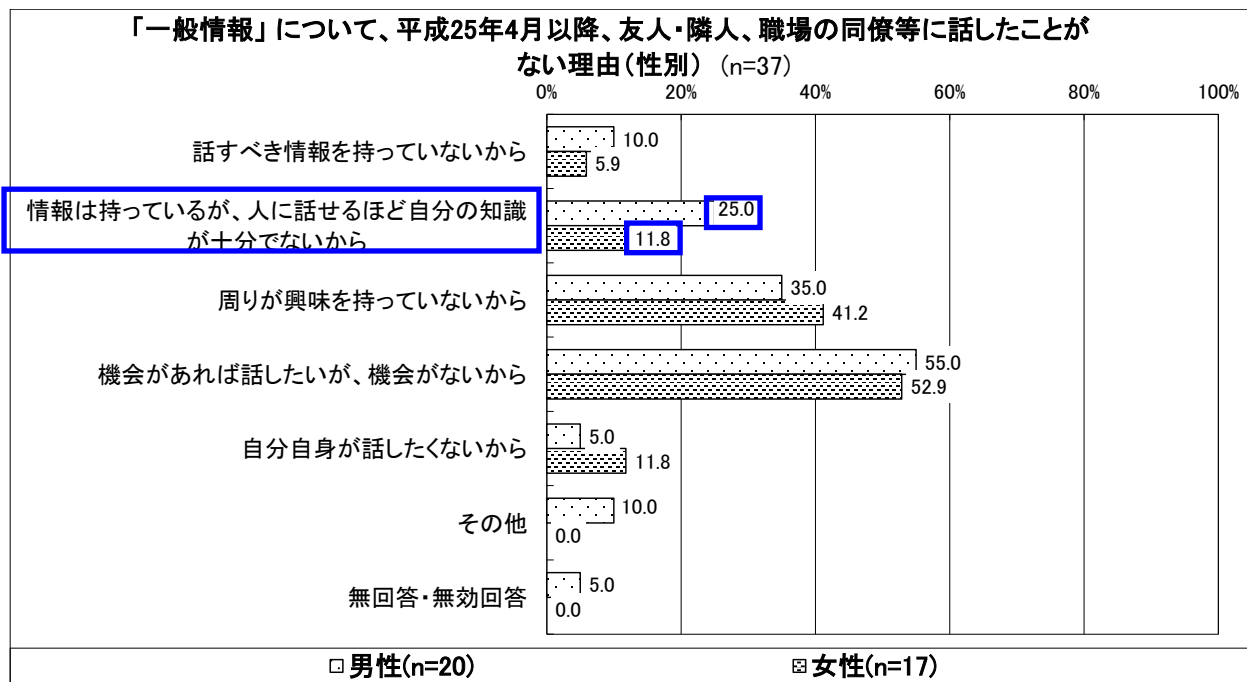


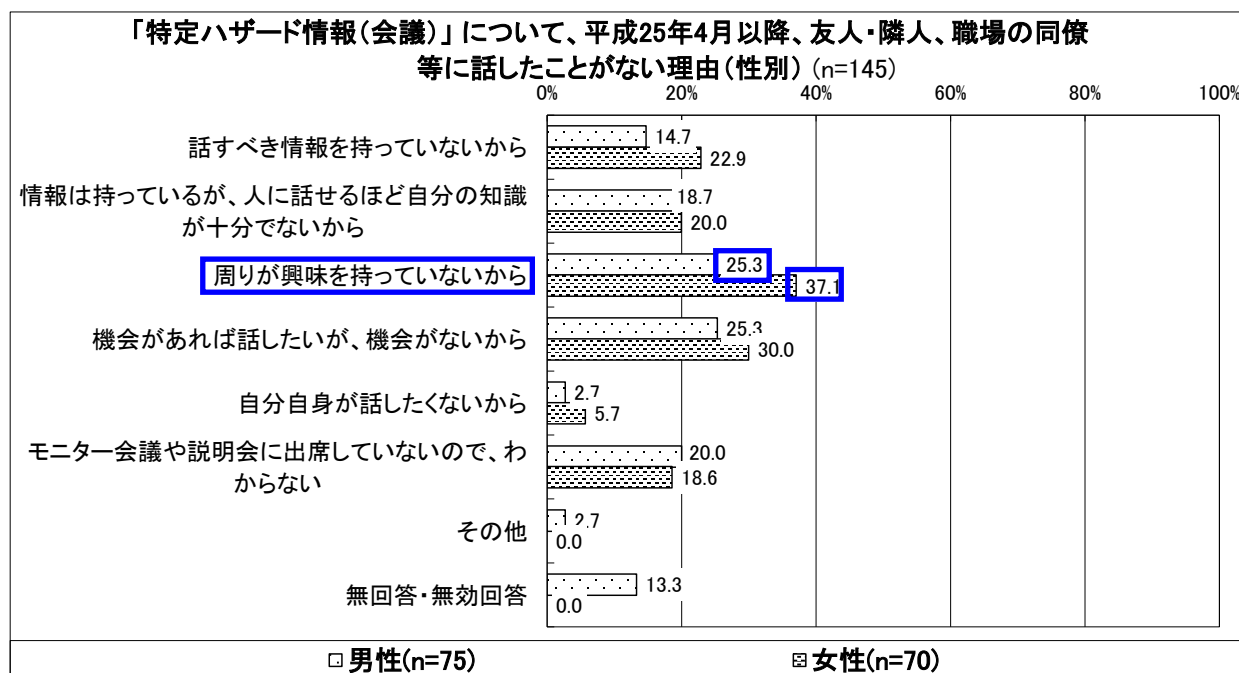
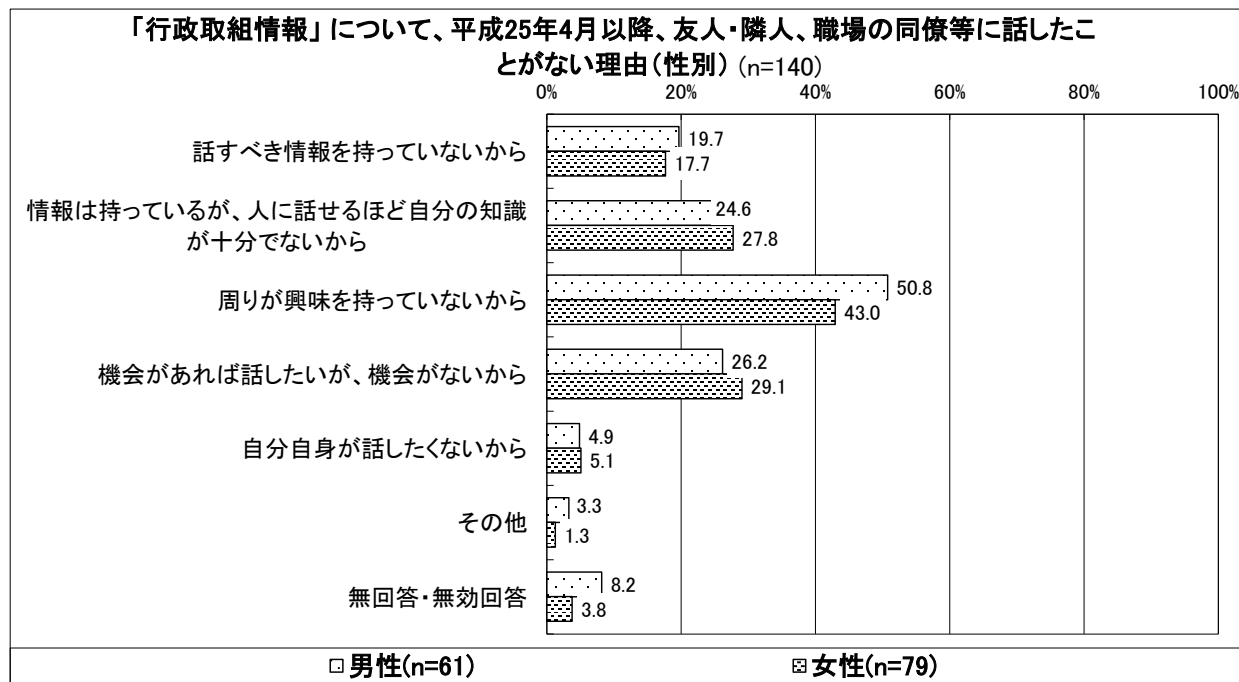
「特定ハザード情報(会議以外)」について、平成25年4月以降、友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない理由 (n=145)



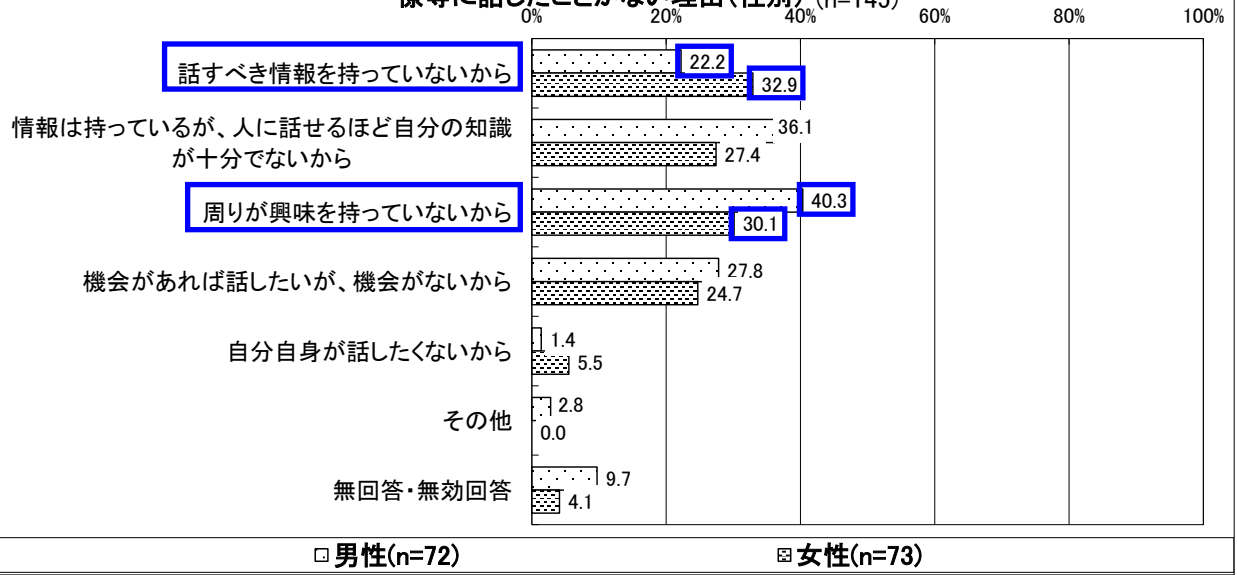
< 4種類の情報について、平成25年4月以降、友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない理由について（男女別回答割合）>

- ◆ 一般情報について、「情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから」との回答割合は、男性が女性に比べ高い傾向が見られる。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）について、「周りが興味を持っていないから」との回答割合は、女性が男性に比べ有意に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）について、「周りが興味を持っていないから」との回答割合は、男性が女性に比べ高い傾向が見られる。また、「話すべき情報を持っていないから」との回答割合は、女性が男性に比べ高い傾向が見られる。





「特定ハザード情報(会議以外)」について、平成25年4月以降、友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない理由(性別) (n=145)



問6：7 その他（4種類の情報について、平成25年4月以降、友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない理由）

（1）一般情報について（回答者数=2人）

職場の人は理解している。友人・隣人とは話す機会がない、学生や社会人教育の場面以外での伝達の必要性を感じなかったためとの回答があった。

（2）行政取組情報について（回答者数=3人、うち1人空欄）

職場の人は理解している。友人・隣人とは話す機会がない、学生や社会人教育の場面以外での伝達の必要性を感じなかったためとの回答があった。

（3）特定ハザード情報（会議）について（回答者数=2人）

職場の人は理解している。友人・隣人とは話す機会がない、学生や社会人教育の場面以外での伝達の必要性を感じなかったためとの回答があった。

（4）特定ハザード情報（会議以外）について（回答者数=2人）

職場の人は理解している。友人・隣人とは話す機会がない、学生や社会人教育の場面以外での伝達の必要性を感じなかったためとの回答があった。



⑦ 4種類の情報について、回答者が食品安全モニターになって以降の、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等での説明・講演経験の有無（問7）

問7は全員お答え下さい。

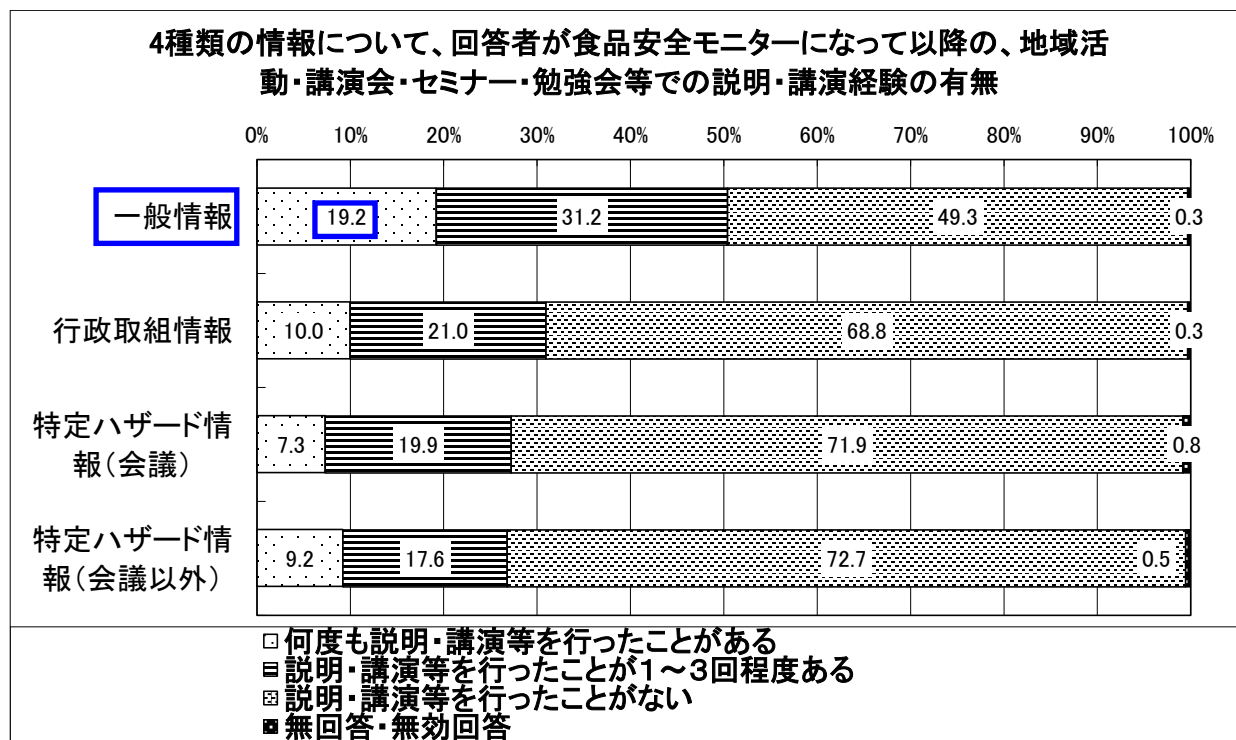
問7 あなたは、食品安全モニターになってから、4種類の情報について、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で説明・講演を行った（\*）ことがありますか。情報ごとに、選択肢1～3の中から1つずつお選び下さい。

\* 「地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で説明・講演」は、あなたが主な話し手となって、3人以上の方に対してあなたの知識等を伝えるような場を想定しています。（問8以降においても同じ）

【選択肢】

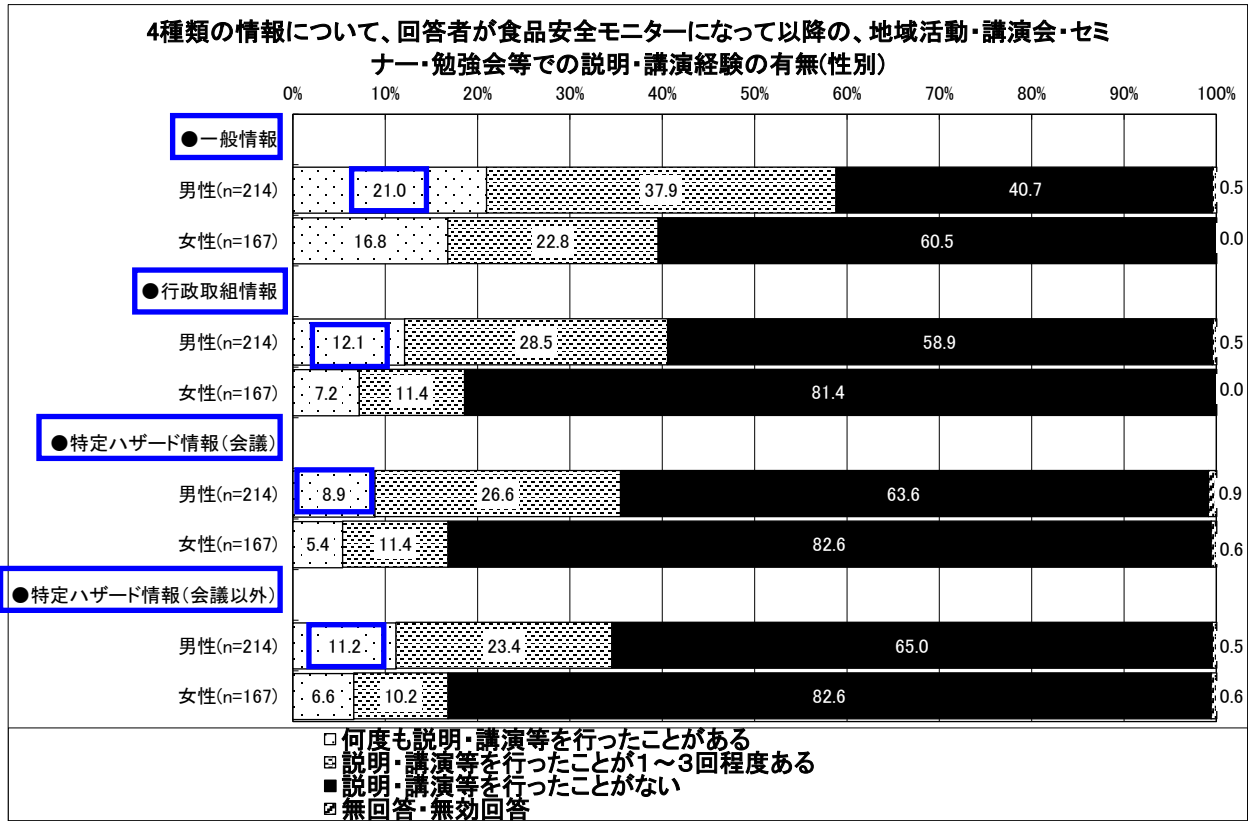
- 1 何度も説明・講演等を行ったことがある
- 2 説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある
- 3 説明・講演等を行ったことがない

◆ 一般情報について「何度も話している」との回答割合の合計は 19.2%であり、行政取組情報（10.0%）、特定ハザード情報（会議）（7.3%）、特定ハザード情報（会議以外）（9.2%）に比べると高い。また、「何度も話している」、「説明、講演等を行ったことがある」の合計をみると、一般情報については、約半数が「行ったことがある」との回答であった。



< 4種類の情報について、回答者が食品安全モニターになって以降の、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等での説明・講演経験の有無について（男女別回答割合） >

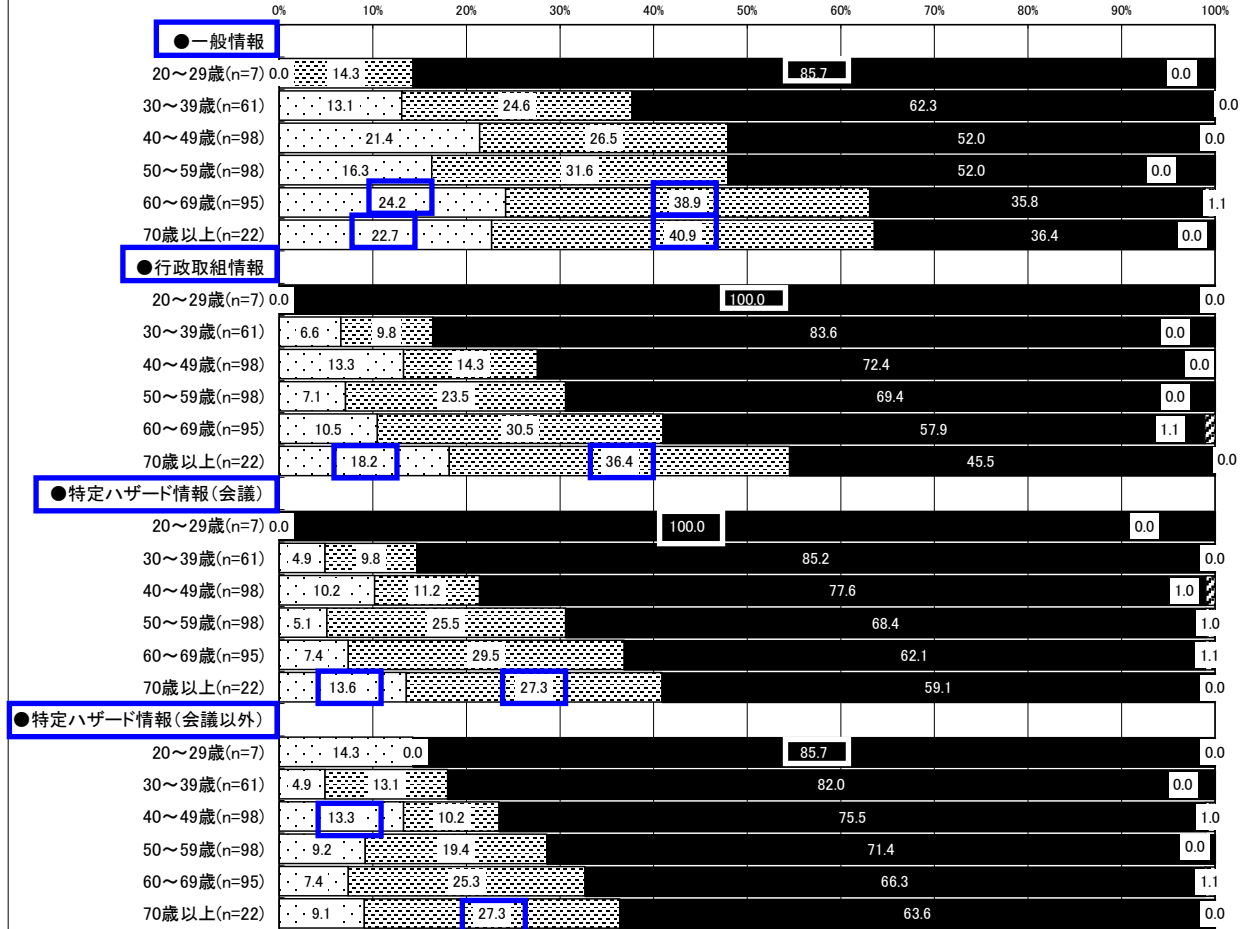
◆ 4種類の情報について、「何度も話している」との回答割合は、男性が女性に比べ有意に高い。



＜4種類の情報について、回答者が食品安全モニターになって以降の、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等での説明・講演経験の有無について（年代別回答割合）＞

- ◆ 一般情報について、「何度も説明・講演等を行ったことがある」及び「説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある」との回答割合は、60～69歳及び70歳以上が他の年代に比べ高い傾向がみられる。「説明・講演等を行ったことがない」との回答割合は、20～29歳が他の年代に比べ高い傾向が見られる。
  - ◆ 行政取組情報について、「何度も説明・講演等を行ったことがある」及び「説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある」との回答割合は、40～49歳及び70歳以上が他の年代に比べ有意に高い。「説明・講演等を行ったことがない」との回答割合は、20～29歳が他の年代に比べ有意に高い。
  - ◆ 特定ハザード情報（会議）について、「何度も説明・講演等を行ったことがある」及び「説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある」との回答割合は、70歳以上が高い傾向がみられる。「説明・講演等を行ったことがない」との回答割合は、20～29歳が他の年代に比べ高い傾向が見られる。
  - ◆ 特定ハザード情報（会議以外）について、「何度も説明・講演等を行ったことがある」との回答割合は、40～49歳が他の年代に比べ高い傾向が見られる。「説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある」との回答割合は、70歳以上が高い傾向が見られる。「説明・講演等を行ったことがない」との回答割合は、20～29歳が他の年代に比べ高い傾向が見られる。
- また、すべての情報において、「何度も話している」、「説明、講演等を行ったことがある」の合計は、年代が上がるにつれてその割合が高くなる傾向がみられる。

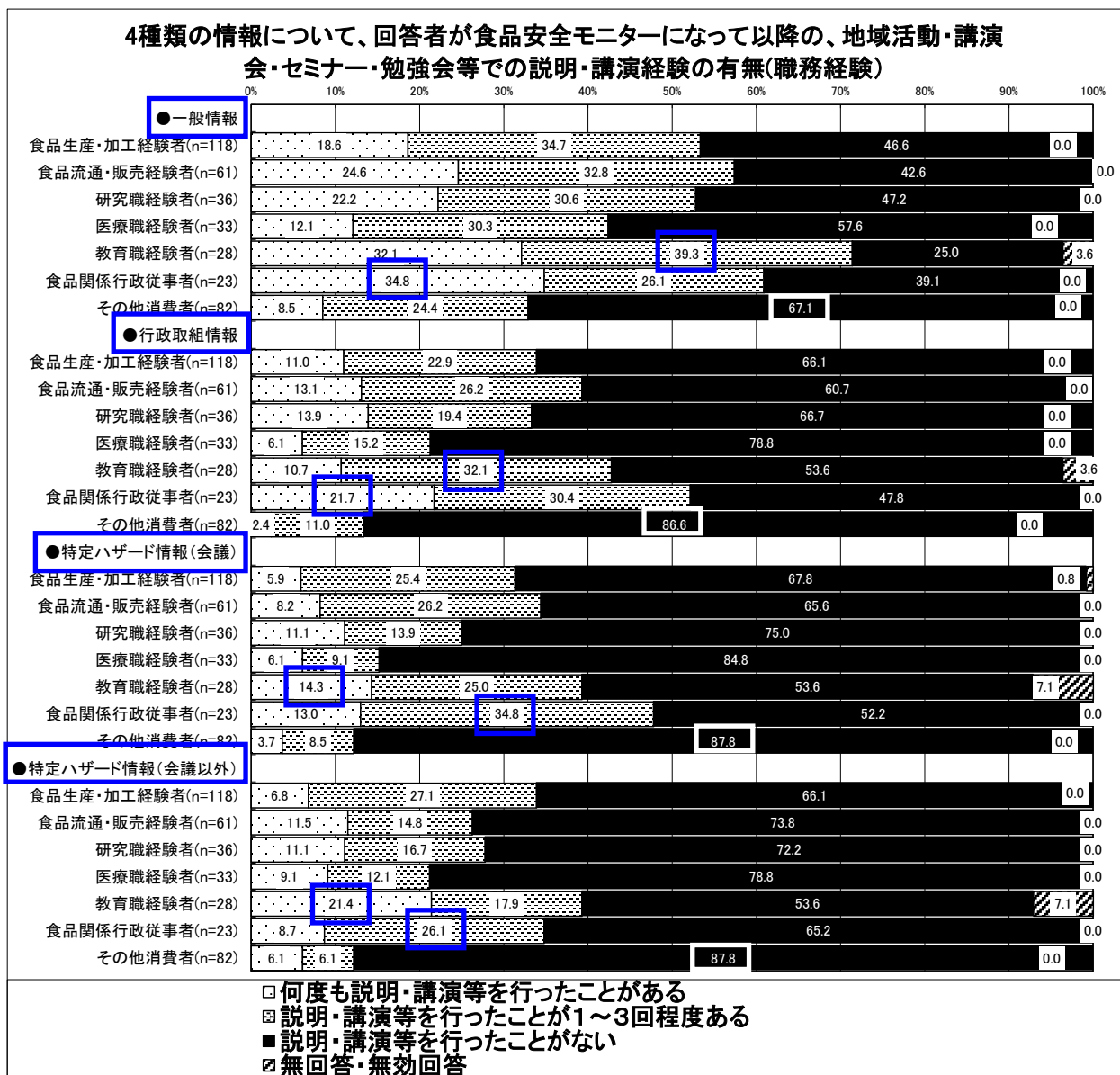
4種類の情報について、回答者が食品安全モニターになって以降の、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等での説明・講演経験の有無(年代)



何度も説明・講演等を行ったことがある  
 説明・講演等を行ったことが1~3回程度ある  
 説明・講演等を行ったことがない  
 無回答・無効回答

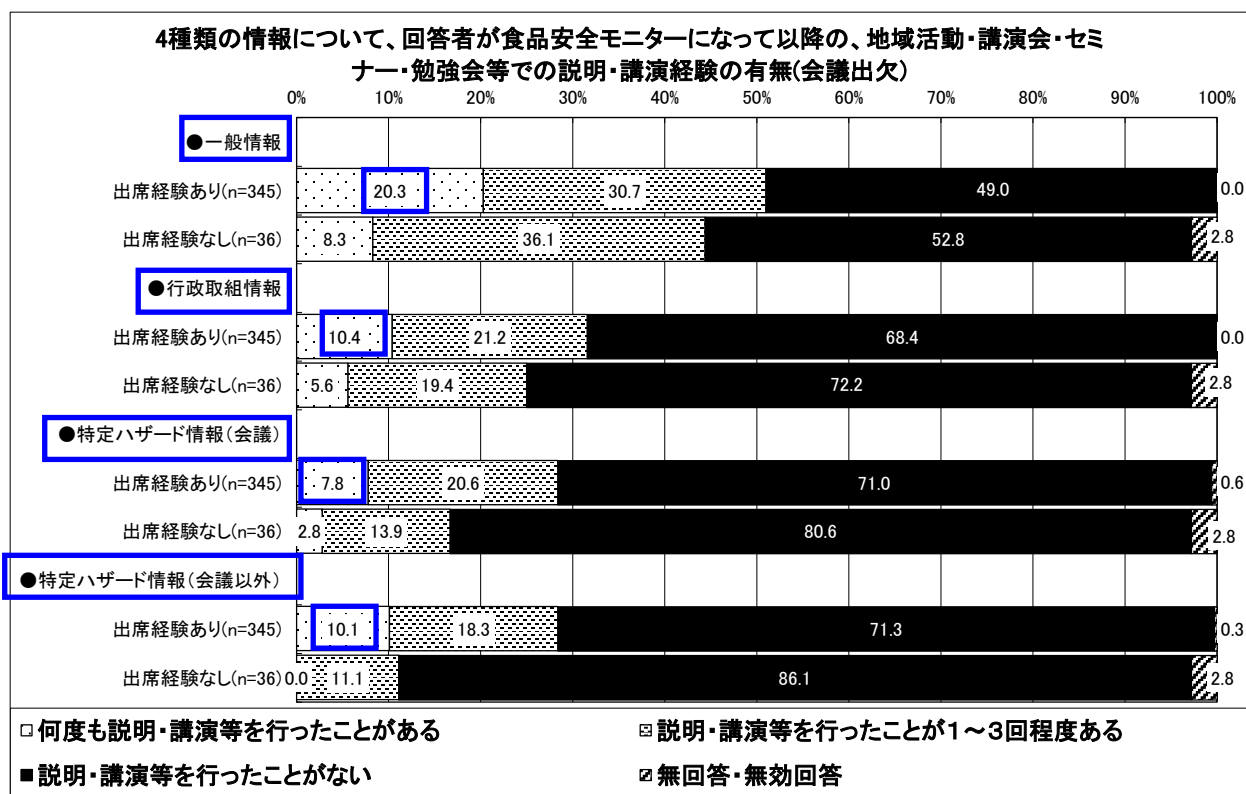
< 4種類の情報について、回答者が食品安全モニターになって以降の、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等での説明・講演経験の有無について（職務経験別回答割合） >

- ◆ 一般情報及び行政取組情報について、「何度も説明・講演等を行ったことがある」との回答割合は、食品関係行政従事者が他の職務経験に比べ有意に高い。「説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある」との回答割合は、教育職経験者が他の職務経験に比べ有意に高い。「説明・講演等を行ったことがない」との回答割合は、その他消費者が他の年代に比べ有意に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）及び及び特定ハザード情報（会議以外）について、「何度も説明・講演等を行ったことがある」との回答割合は、教育職経験者が他の職務経験に比べ有意に高い。「説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある」との回答割合は、食品関係行政従事者が他の職務経験に比べ有意に高い。「説明・講演等を行ったことがない」との回答割合は、その他消費者が他の年代に比べ有意に高い。



＜4種類の情報について、回答者が食品安全モニターになって以降の、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等での説明・講演経験の有無について（モニター会議出欠別回答割合）＞

- ◆ 一般情報及び及び行政取組情報について、「何度も説明・講演等を行ったことがある」との回答割合は、モニター会議出席経験がある者が会議出席経験がない者に比べ有意に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）について、「何度も説明・講演等を行ったことがある」との回答割合は、会議出席経験がある者が会議出席経験がない者に比べ高い傾向が見られる。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）について、「何度も説明・講演等を行ったことがある」との回答割合は、会議出席経験がある者が会議出席経験がない者に比べ有意に高い。



⑧ 4種類の情報について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料（問8）

問8 問7で、4種類の情報のうち、「1（何度も説明・講演等を行ったことがある）又は「2（説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある）」を選択した情報についてお伺いします。

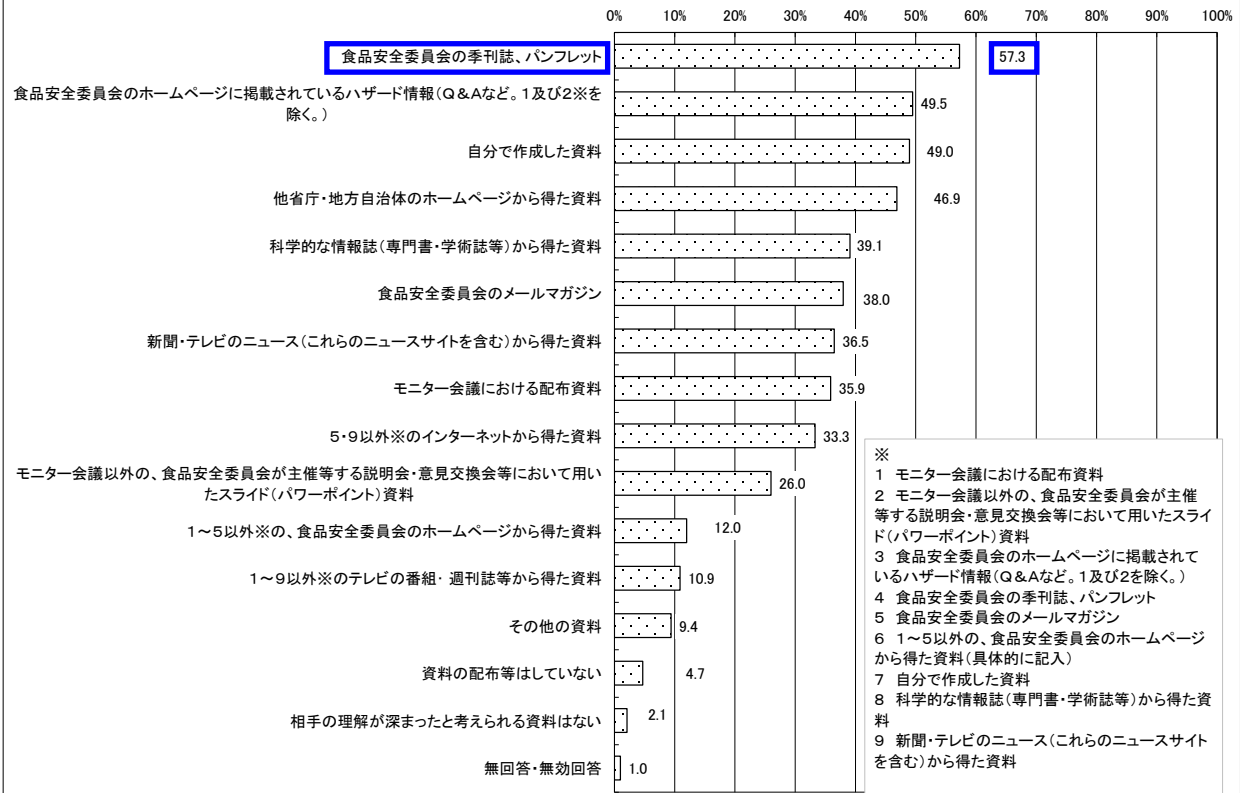
あなたが選択した4種類の情報について、問7のような複数の人に対しての説明・講演等を行った際、配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料はどのようなものですか。情報ごとに、選択肢1～15の中から、当てはまるものを全て選択して下さい。（配布等したが、相手の理解を深めるのに有用でなかったと考える資料は選択しないでください。）

【選択肢】

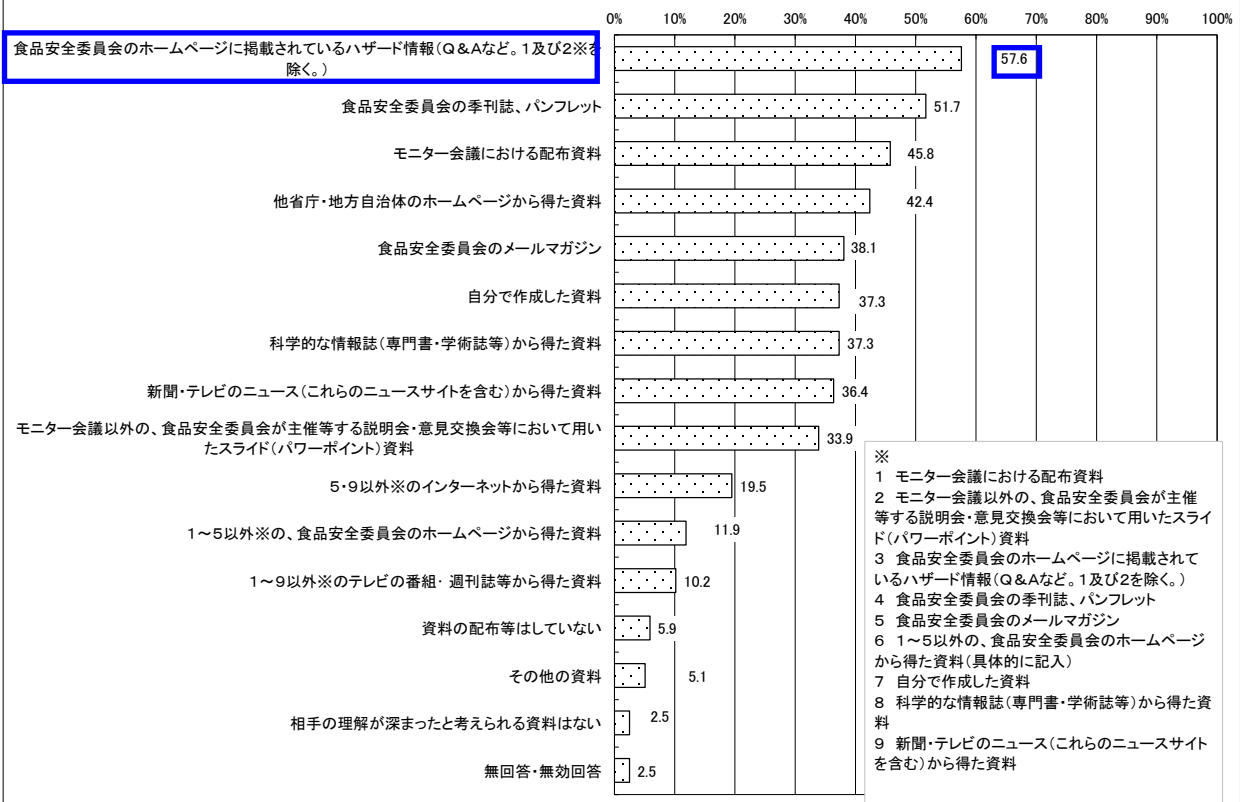
- 1 モニター会議における配布資料
- 2 モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する説明会・意見交換会等において用いたスライド（パワーポイント）資料
- 3 食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報（Q&Aなど。1及び2を除く。）
- 4 食品安全委員会の季刊誌、パンフレット
- 5 食品安全委員会のメールマガジン
- 6 1～5以外の、食品安全委員会のホームページから得た資料（具体的に記入）
- 7 自分で作成した資料
- 8 科学的な情報誌（専門書・学術誌等）から得た資料
- 9 新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た資料
- 10 上記以外のテレビの番組・週刊誌等から得た資料
- 11 他省庁・地方自治体のホームページから得た資料
- 12 5・9以外のインターネットから得た資料
- 13 その他の資料（具体的に記入）
- 14 相手の理解が深まったと考えられる資料はない
- 15 資料の配布等はしていない

- ◆ 一般情報について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料についての回答割合は、「食品安全委員会の季刊誌、パンフレット」が他の資料に比べ高い。
- ◆ 行政取組情報、特定ハザード情報（会議）、特定ハザード情報（会議以外）については、「食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報（Q&Aなど。1（モニター会議における配布資料）及び2（モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する説明会・意見交換会等において用いたスライド（パワーポイント）資料）を除く。以下同じ）」が他の資料に比べ高い。

「一般情報」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料 (n=192)

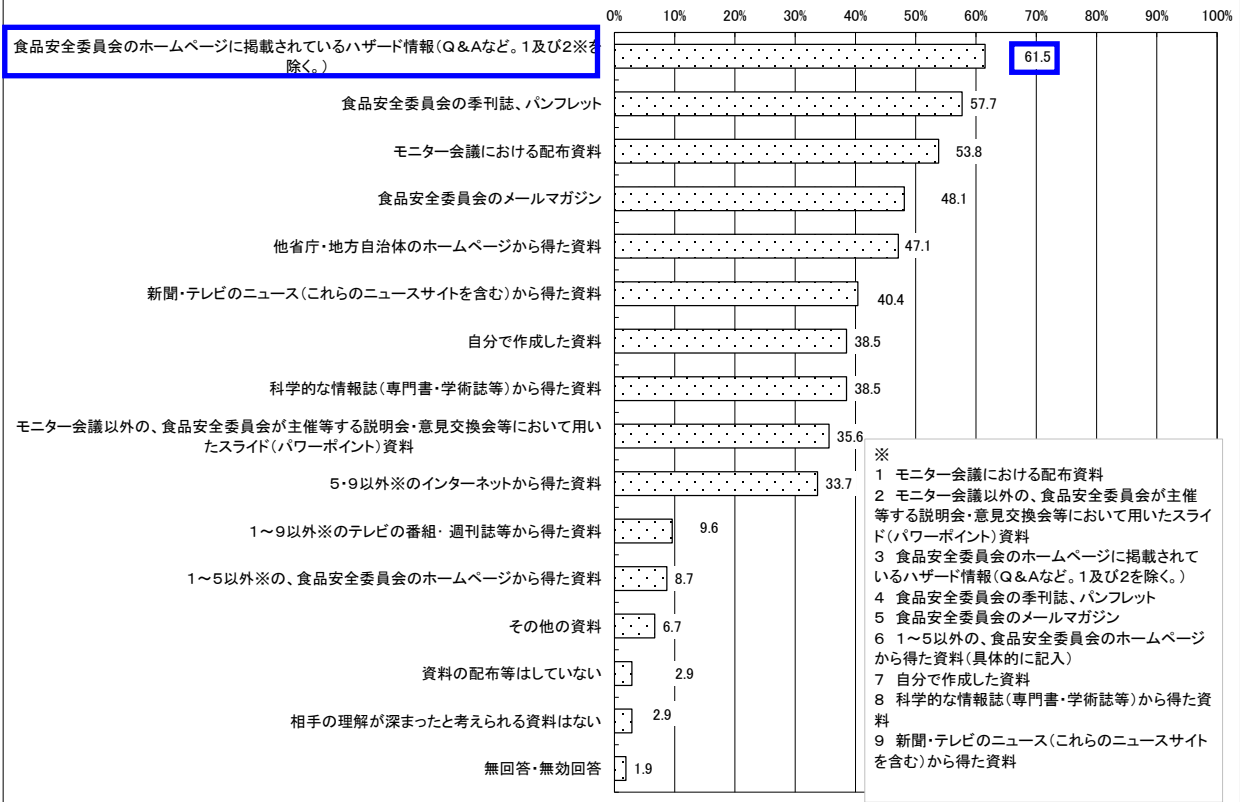


「行政取組情報」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料 (n=118)

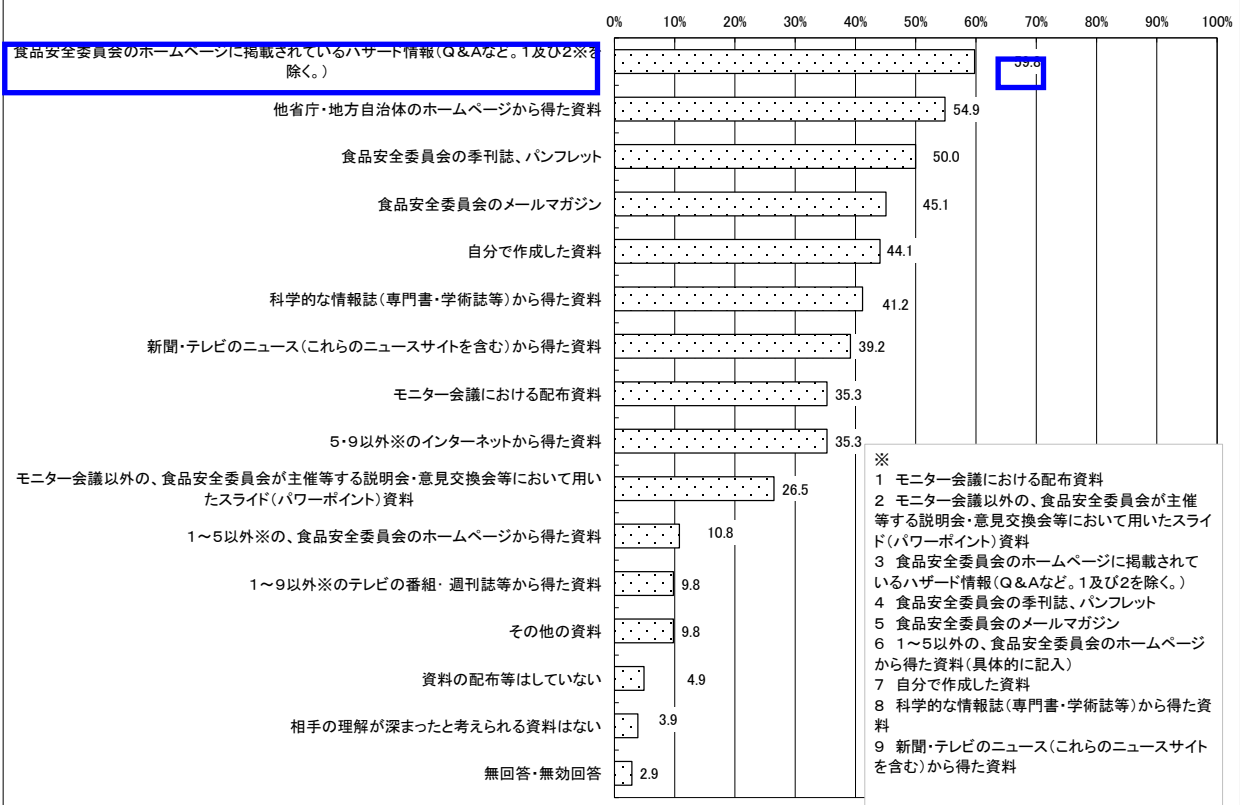




「特定ハザード情報(会議)」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料 (n=104)



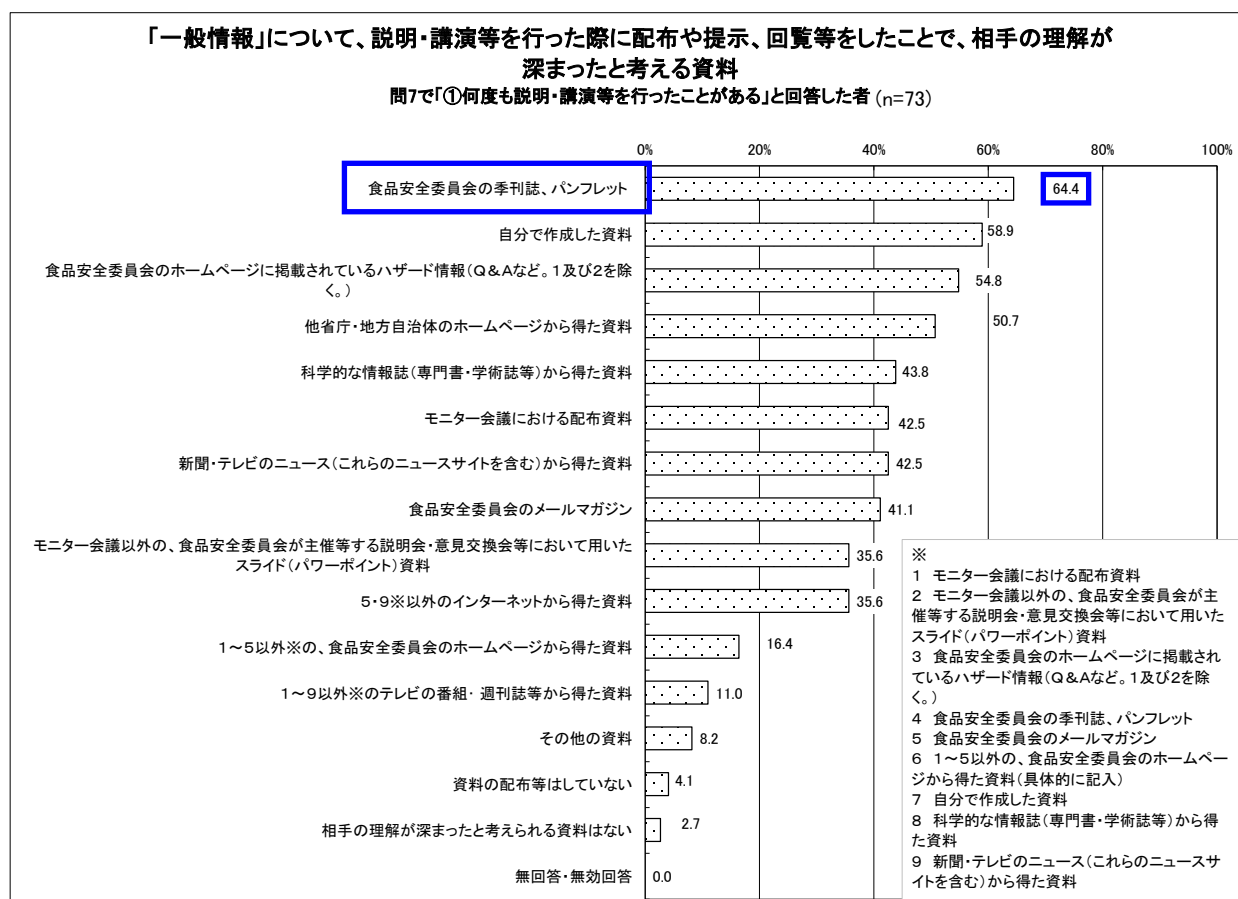
「特定ハザード情報(会議以外)」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料 (n=102)



く4種類の情報について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料について（説明・講演等を行った回数別回答割合）【①何度も説明・講演等を行ったことがある】>

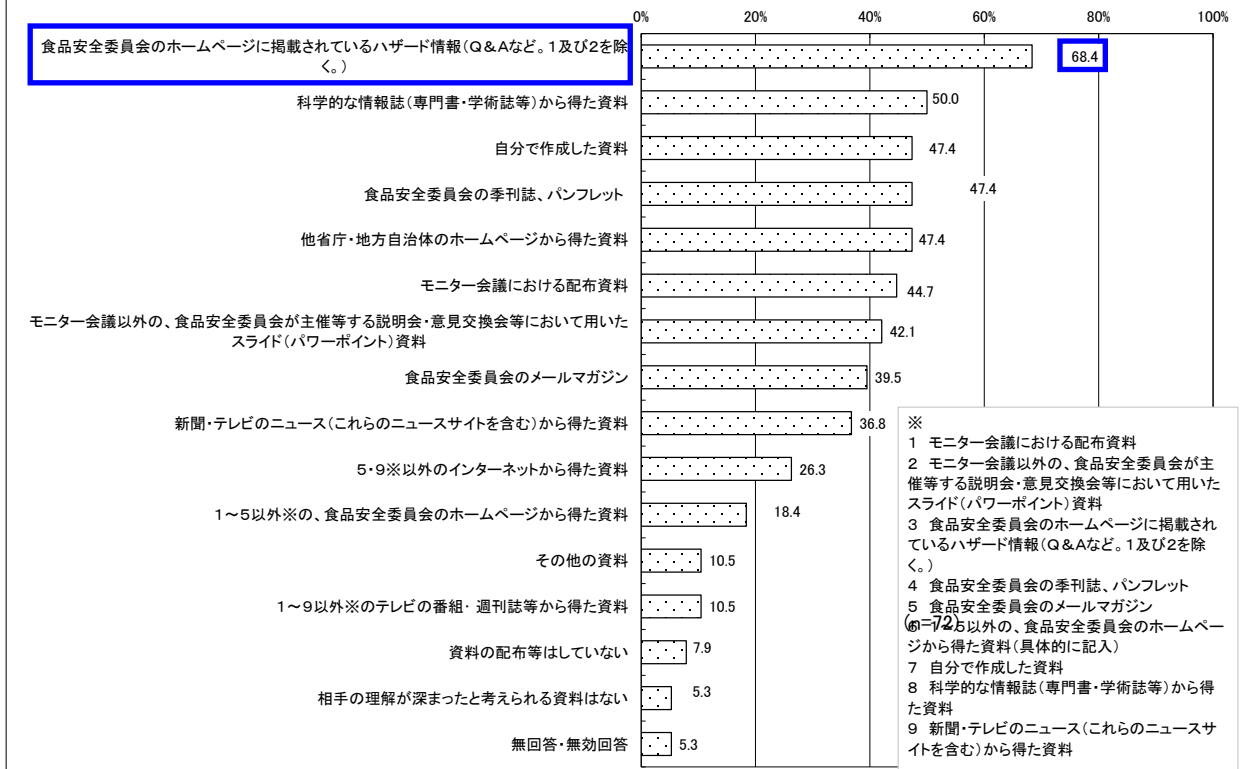
問7で「何度も説明・講演等を行ったことがある」と回答している中で、

- ◆ 一般情報について講演等の際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料は、「食品安全委員会の季刊誌、パンフレット」との回答割合が他の資料に比べ高い。
- ◆ 行政取組情報については、「食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報（Q&Aなど。1及び2を除く。）」との回答割合が他の資料に比べ高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）については、「モニター会議における配布資料」との回答割合が他の資料に比べ高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）については、「自分で作成した資料」との回答割合が他の資料に比べ高い。



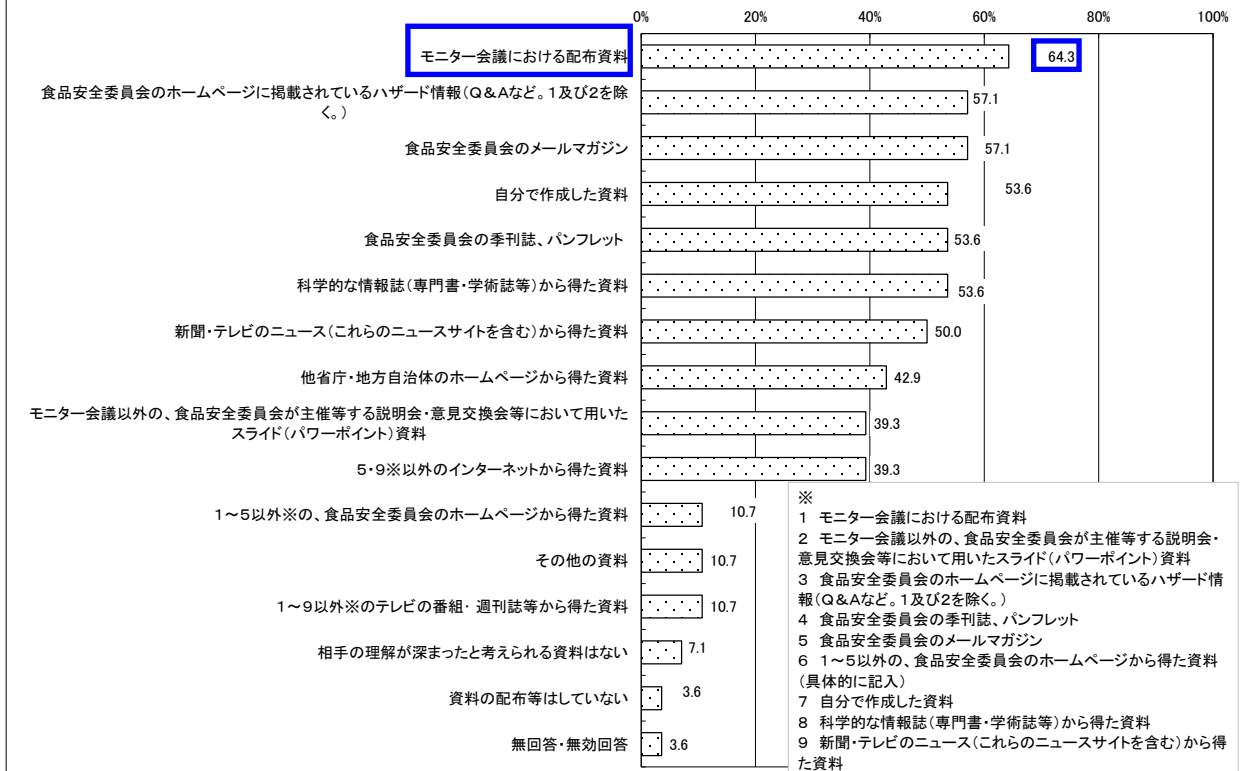
「行政取組情報」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料

問7で「①何度も説明・講演等を行ったことがある」と回答した者 (n=38)

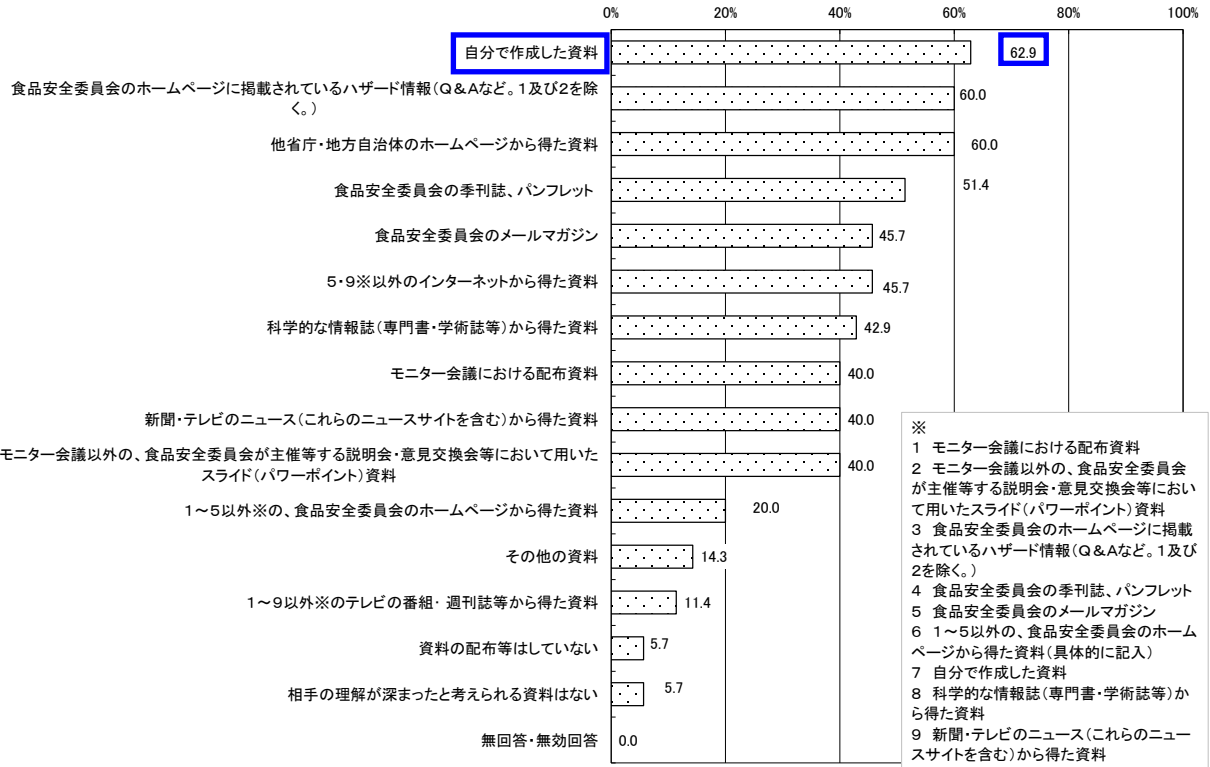


「特定ハザード情報(会議)」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料

問7で「①何度も説明・講演等を行ったことがある」と回答した者 (n=28)

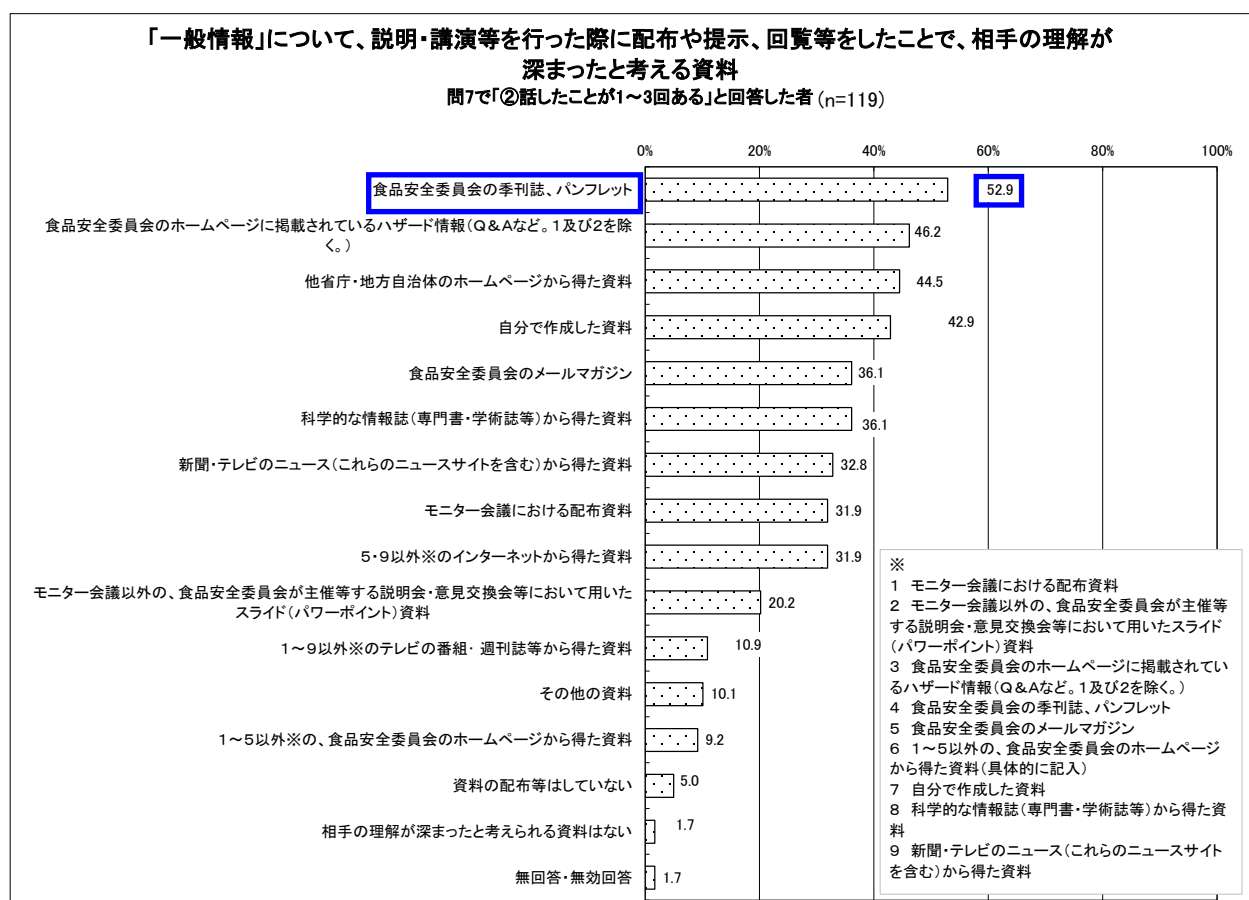


「特定ハザード情報(会議以外)」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたこと  
 とで、相手の理解が深まったと考える資料  
 問7で「①何度も説明・講演等を行ったことがある」と回答した者 (n=35)



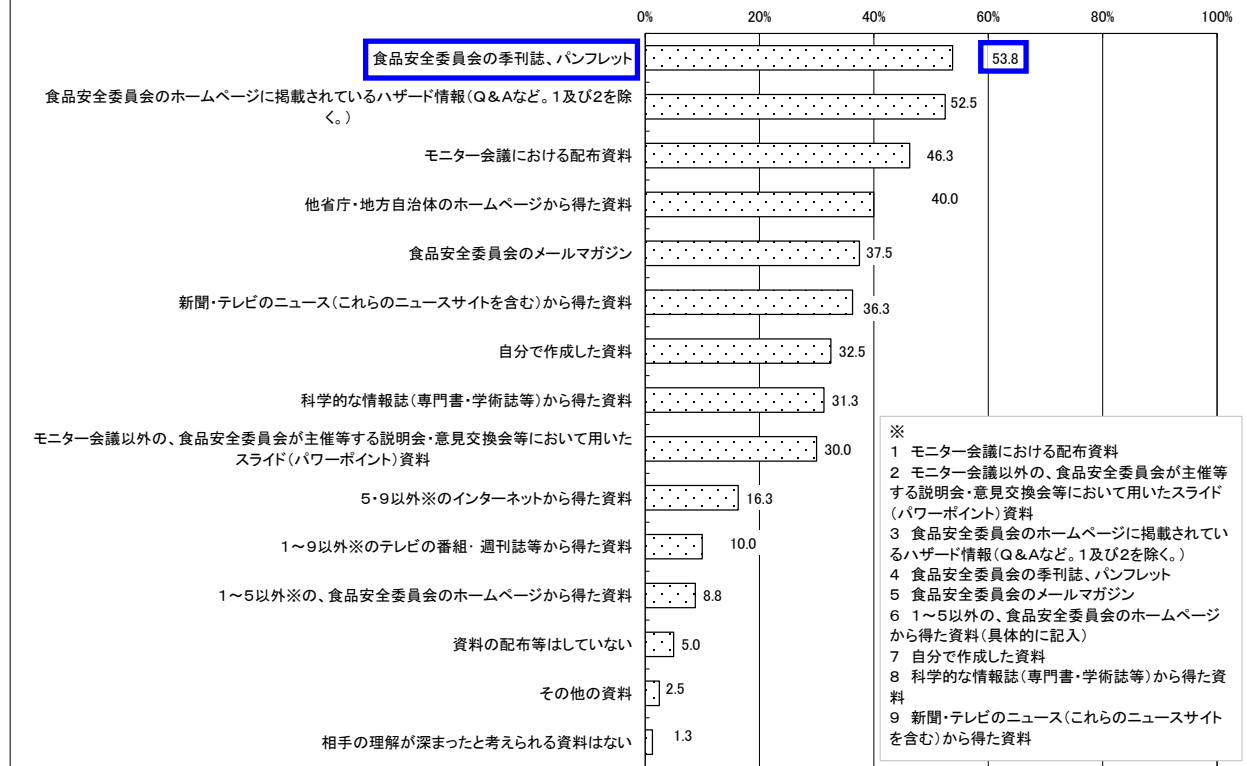
＜4種類の情報について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料について（説明・講演等を行った回数別回答割合）【②話したことが1～3回程度ある】＞

- ◆ 問7で「説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある」と回答している中で、一般情報及び行政取組情報について講演等の際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料についての回答割合は、「食品安全委員会の季刊誌、パンフレット」が他の資料に比べ高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）、特定ハザード情報（会議以外）については、「食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報（Q&Aなど。1及び2を除く。）」が他の資料に比べ高い。

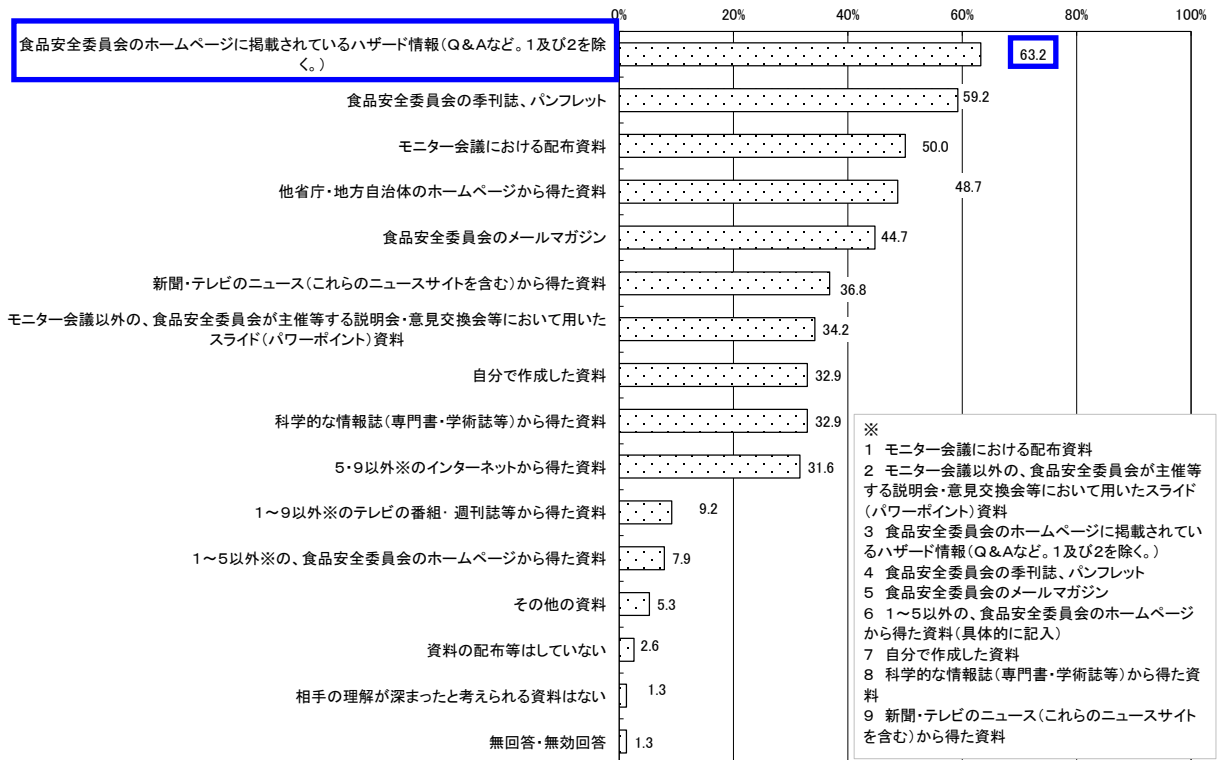


「行政取組情報」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料

問7で「②話したことが1～3回ある」と回答した者 (n=80)

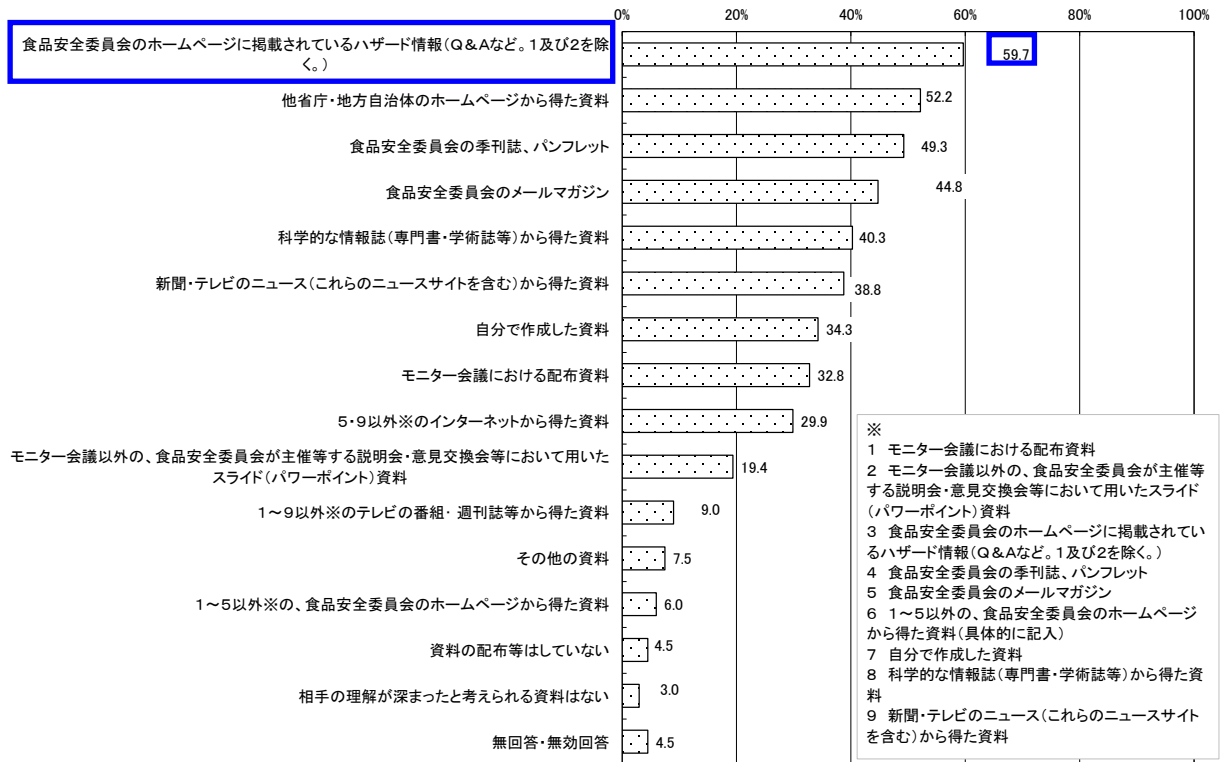


「特定ハザード情報(会議)」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料  
問7で「②話したことが1～3回ある」と回答した者 (n=76)





「特定ハザード情報(会議以外)」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたこと  
 とで、相手の理解が深まったと考える資料  
 問7で「②話したことが1〜3回ある」と回答した者 (n=67)



＜4種類の情報について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料について（男女別回答割合）＞

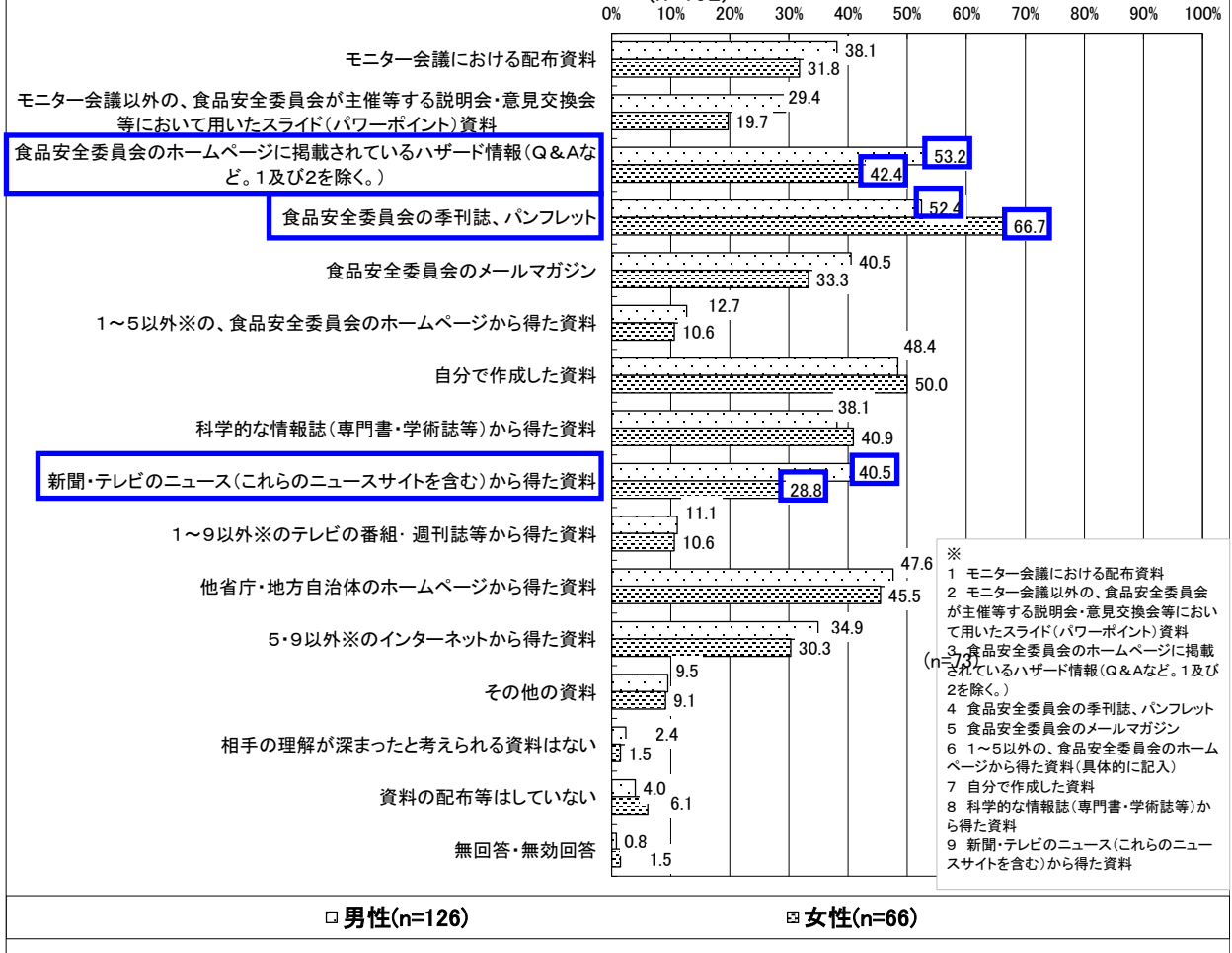
- ◆ 一般情報について、「食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報（Q&A など。1及び2（下記※印参照。以下同じ）を除く。）」、「新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た情報」との回答割合は、男性が女性に比べ高い傾向が見られる。  
また、「食品安全委員会の季刊誌、パンフレット」との回答割合は、女性が男性に比べ高い傾向が見られる。
- ◆ 行政取組情報について、「食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報（Q&A など。1及び2を除く。）」、「他省庁・地方自治体のホームページから得た資料」、「自分で作成した資料」、「科学的な情報誌（専門書・学術誌等）から得た資料」、「新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た資料」、「モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する説明会・意見交換会等において用いたスライド（パワーポイント）資料」、「5・9以外のインターネットから得た資料」との回答割合は、男性が女性に比べ有意に高い。
- ◆ 特定ハザード情報（会議）について、「モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する説明会・意見交換会等において用いたスライド（パワーポイント）資料」、「食品安全委員会のメールマガジン」、「科学的な情報誌（専門書・学術誌等）から得た資料」、「新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た資料」、「1～9以外のテレビの番組・週刊誌等から得た資料」、「5・9以外のインターネットから得た資料」との回答割合は、男性が女性に比べ高い傾向が見られる。
- ◆ 特定ハザード情報（会議以外）について、「モニター会議における配布資料」、「食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報（Q&A など。1及び2を除く。）」、「食品安全委員会のメールマガジン」、「自分で作成した資料」、「科学的な情報誌（専門書・学術誌等）から得た資料」、「新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た資料」、「1～9以外のテレビの番組・週刊誌等から得た資料」、「5・9以外のインターネットから得た資料」との回答割合は、男性が女性に比べ高い傾向が見られる。

※

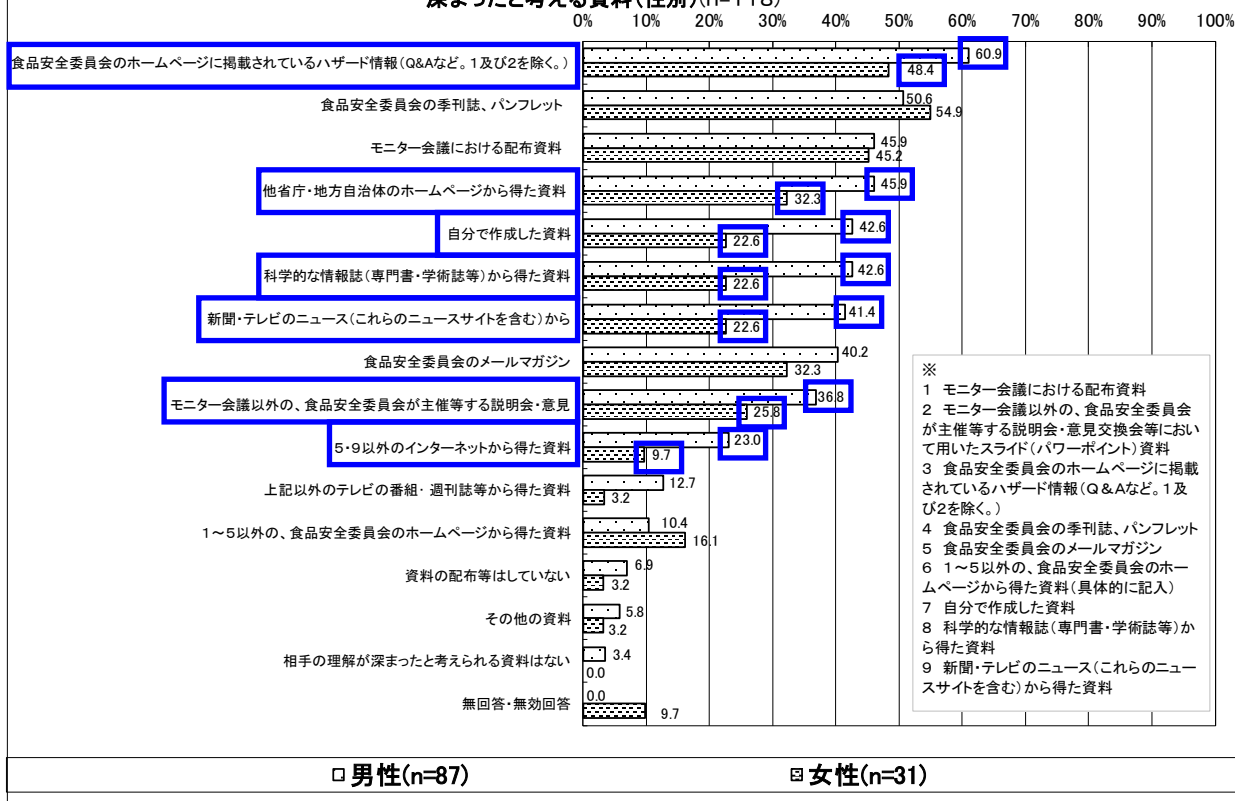
- 1 モニター会議における配布資料
- 2 モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する説明会・意見交換会等において用いたスライド（パワーポイント）資料
- 3 食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報（Q&Aなど。1及び2を除く。）
- 4 食品安全委員会の季刊誌、パンフレット
- 5 食品安全委員会のメールマガジン
- 6 1～5以外の、食品安全委員会のホームページから得た資料（具体的に記入）
- 7 自分で作成した資料
- 8 科学的な情報誌（専門書・学術誌等）から得た資料
- 9 新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た資料

「一般情報」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料

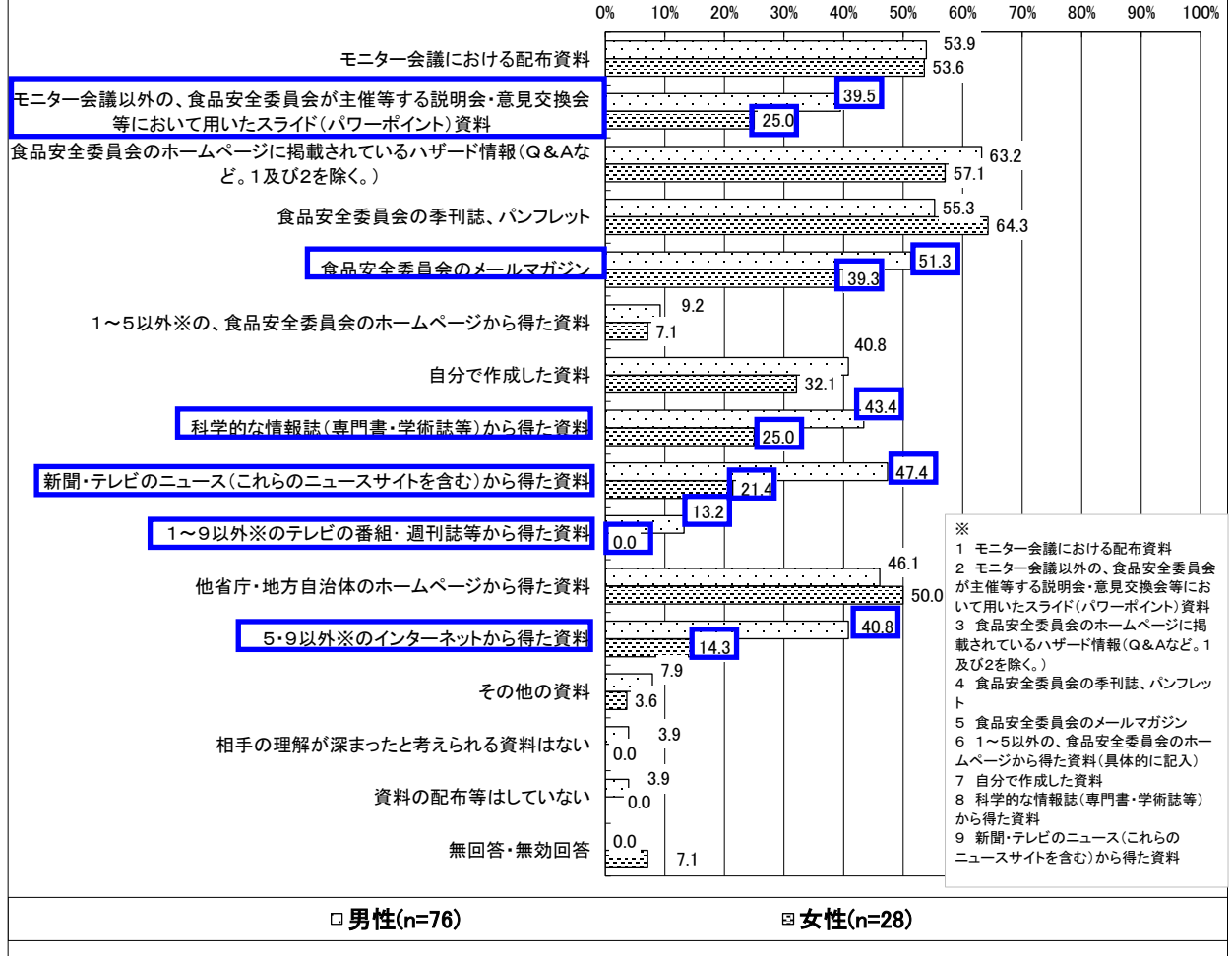
(性別) (n=192)



「行政取組情報」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料(性別)(n=118)

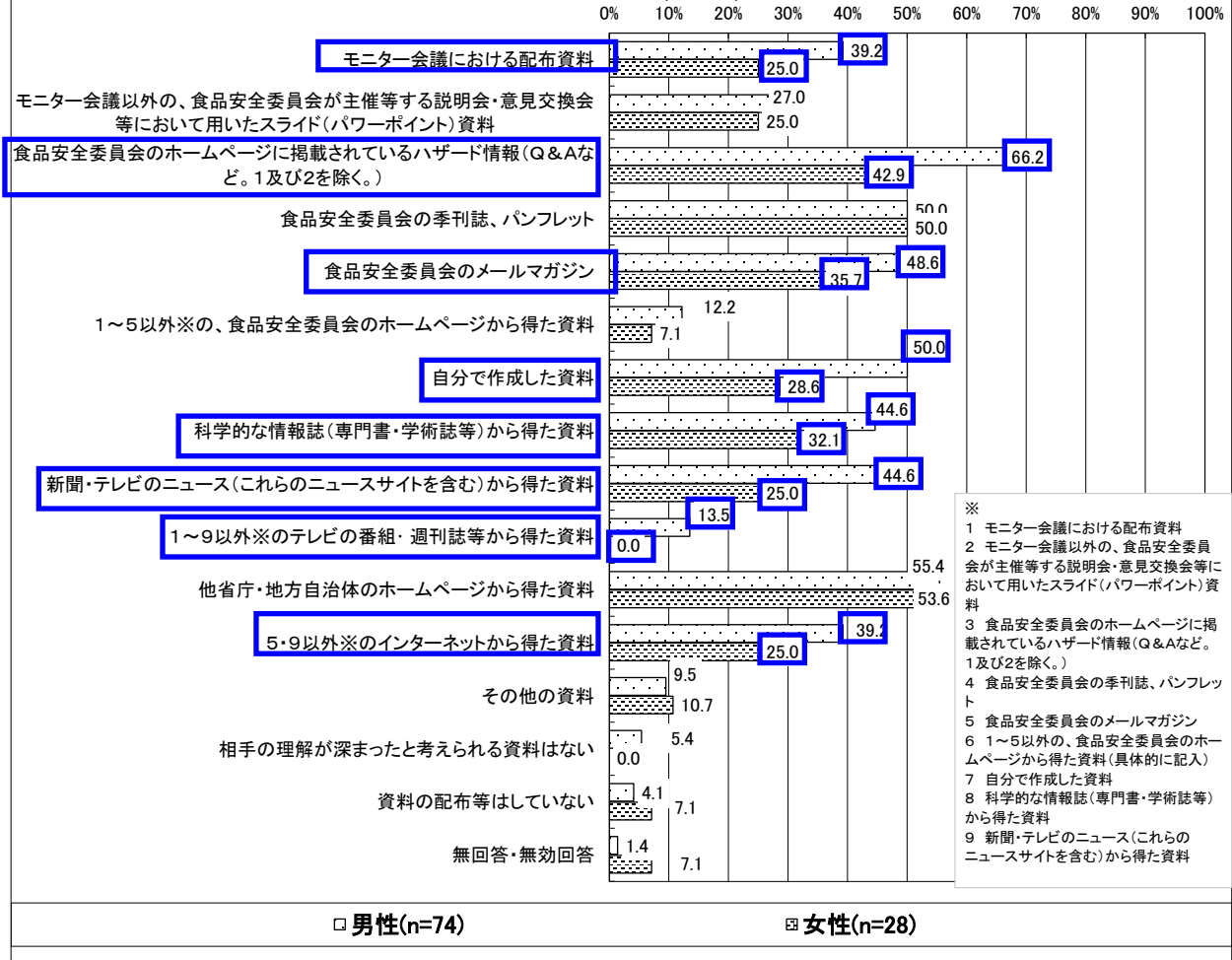


「特定ハザード情報(会議)」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をした  
 ことで、相手の理解が深まったと考える資料  
 (性別) (n=104)



「特定ハザード情報(会議以外)」について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料

(性別) (n=102)



問8：6 ①～⑤以外の食品安全委員会のホームページから得た資料、13 その他（4種類の情報について、説明・講演等を行った際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料）

(1) 一般情報について

i) ①～⑤以外の、食品安全委員会のホームページから得た資料（回答者数=24人、うち12人が空欄）  
配信の動画、ホームページの「重要なお知らせ」の中に入っている資料などの回答があった。

i i) その他の資料（回答者数=18人、うち1人空欄）

消費者庁の方から頂いた講習会の資料、別の講演会等資料などの回答があった。

(2) 行政取組情報について

i) ①～⑤以外の、食品安全委員会のホームページから得た資料（回答者数=14人、うち9人が空欄）  
実際の事例、食品中の放射性物質などの回答があった。

i i) その他の資料（回答者数=6人、1人が空欄）

食品衛生協会のテキスト、実際の事例で使用した資料、写真、データなどの回答があった。

(3) 特定ハザード情報（会議）について

i) ①～⑤以外の、食品安全委員会のホームページから得た資料（回答者数=9人、うち6人が空欄）  
ファクトシート、実際の事例などの回答があった。

i i) その他の資料（回答者数=18人、うち1人空欄）

専門研究機関による説明会に出席して得た情報及び資料、食品衛生協会のテキストなどの回答があった。

(4) 特定ハザード情報（会議以外）について

i) ①～⑤以外の、食品安全委員会のホームページから得た資料（回答者数=11人、うち7人空欄）  
ファクトシート等、資料作成に役立った、食品衛生の講義で、「魚介類におけるメチル水銀」の評価書などの回答があった。

i i) その他の資料（回答者数=10人、うち1人空欄）

消費者庁の講習会の資料、社外の講演会などで使われた資料などの回答があった。

⑨食品安全委員会から情報の提供があった場合、家族や友人・隣人、職場の同僚等にもっと話したいと思うテーマ（問9）

問9～11は全員お答え下さい。

問9 食品安全委員会から情報の提供があれば、家族や友人・隣人、職場の同僚等に、あなたがもっと話したいと思うテーマはありますか。選択肢1～16の中から当てはまるものを全て選択して下さい。

【選択肢】

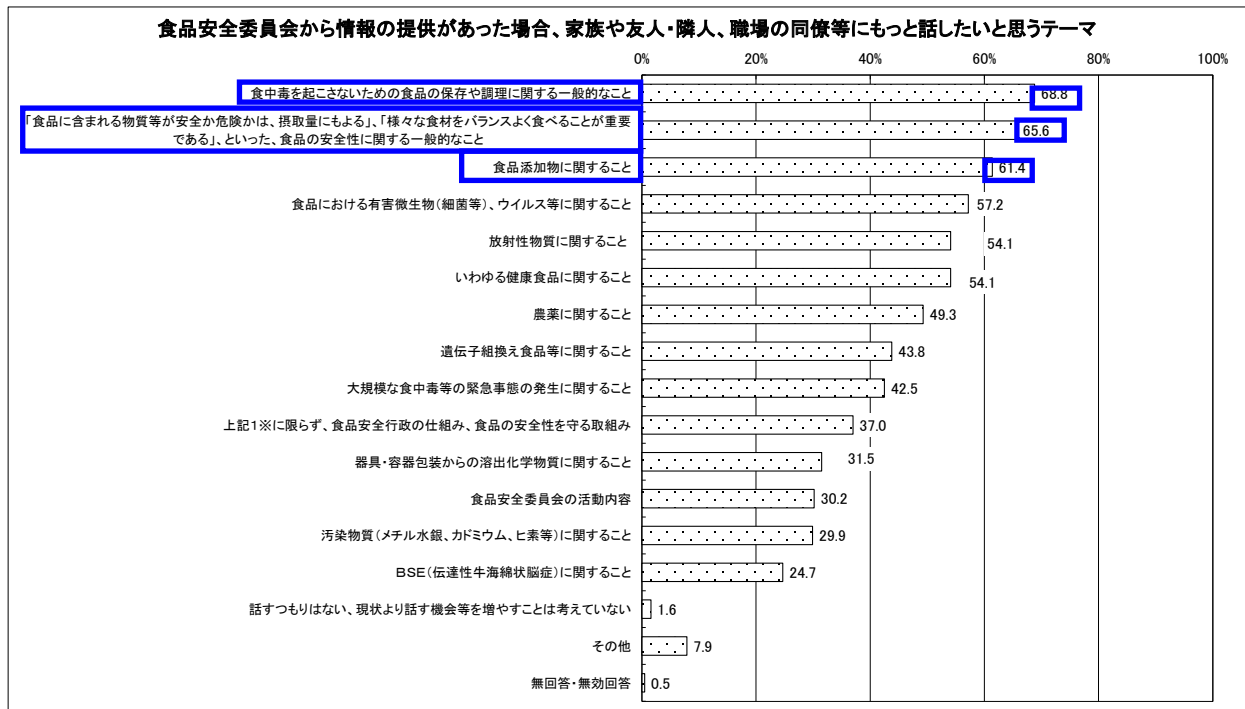
- 1 食品安全委員会の活動内容
- 2 上記1に限らず、食品安全行政の仕組み、食品の安全性を守る取組み
- 3 「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、といった、食品の安全性に関する一般的なこと
- 4 食中毒を起こさないための食品の保存や調理に関する一般的なこと
- 5 食品における有害微生物（細菌等）、ウイルス等に関すること
- 6 BSE（伝達性牛海綿状脳症）に関すること
- 7 食品添加物に関すること
- 8 放射性物質に関すること
- 9 農薬に関すること
- 10 汚染物質（メチル水銀、カドミウム、ヒ素等）に関すること
- 11 器具・容器包装からの溶出化学物質に関すること
- 12 遺伝子組換え食品等に関すること
- 13 いわゆる健康食品※に関すること
- 14 大規模な食中毒等の緊急事態の発生に関すること
- 15 その他（具体的に記入）
- 16 話すつもりはない、現状より話す機会等を増やすことは考えていない

※ 「いわゆる健康食品」とは、健康増進法（平成14年法律第103号）に基づく特定保健用食品及び栄養機能食品以外のもので、健康の保持又は増進に係る効果、機能等を表示して販売・利用されている食品を広く指しています。（問10も同じ）

例：「○○サプリ」「スーパースリムダイエット○○○」など

- ◆ 食品安全委員会から情報の提供があった場合、家族や友人・隣人、職場の同僚等にもっと話したいと思うテーマについての回答割合は、「食中毒を起こさないための食品の保存や調理に関する一般的なこと」が他のテーマに比べ高い。次いで、『「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、『「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」』、といった、食品の安全性に関する一般的なこと」、「食品添加物に関すること」の順に高い。





問9：15 その他（食品安全委員会から情報の提供があった場合、家族や友人・隣人、職場の同僚等にもっと話したいと思うテーマ）（回答者数=30人、うち5人が空欄）

食品成分、成分規格に関すること、アレルギーに関すること、国際的な食品衛生の取り組み等の回答があった。

⑩食品安全委員会から情報の提供があった場合、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で説明・講演等を行いたいと考えるテーマ（問10）

問9～11は全員お答え下さい。

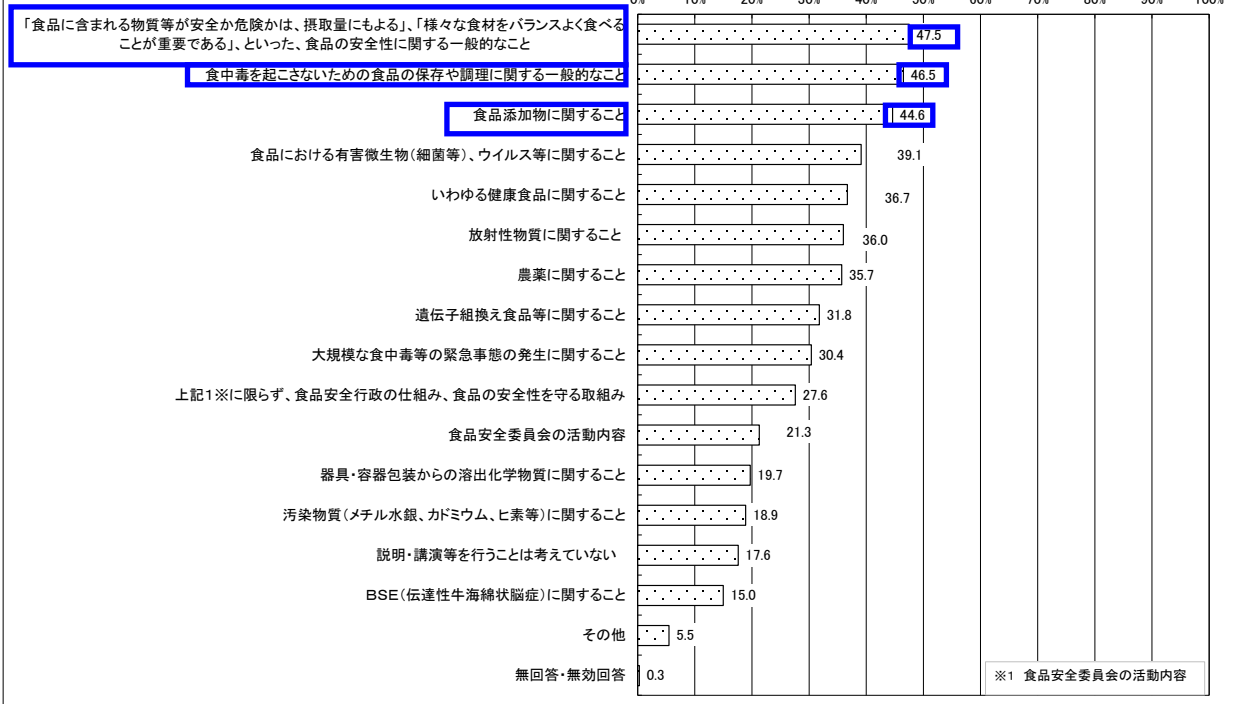
問10 食品安全委員会から情報の提供があれば、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で3人以上の方に対して説明・講演等を行いたいと考えるテーマはありますか。選択肢1～16の中から当てはまるものを全て選択して下さい。

【選択肢】

- 1 食品安全委員会の活動内容
- 2 上記1に限らず、食品安全行政の仕組み、食品の安全性を守る取組み
- 3 「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、といった、食品の安全性に関する一般的なこと
- 4 食中毒を起こさないための食品の保存や調理に関する一般的なこと
- 5 食品における有害微生物（細菌等）、ウイルス等に関すること
- 6 BSE（伝達性牛海綿状脳症）に関すること
- 7 食品添加物に関すること
- 8 放射性物質に関すること
- 9 農薬に関すること
- 10 汚染物質（メチル水銀、カドミウム、ヒ素等）に関すること
- 11 器具・容器包装からの溶出化学物質に関すること
- 12 遺伝子組換え食品等に関すること
- 13 いわゆる健康食品に関すること
- 14 大規模な食中毒等の緊急事態の発生に関すること
- 15 その他（具体的に記入）
- 16 説明・講演等を行うことは考えていない

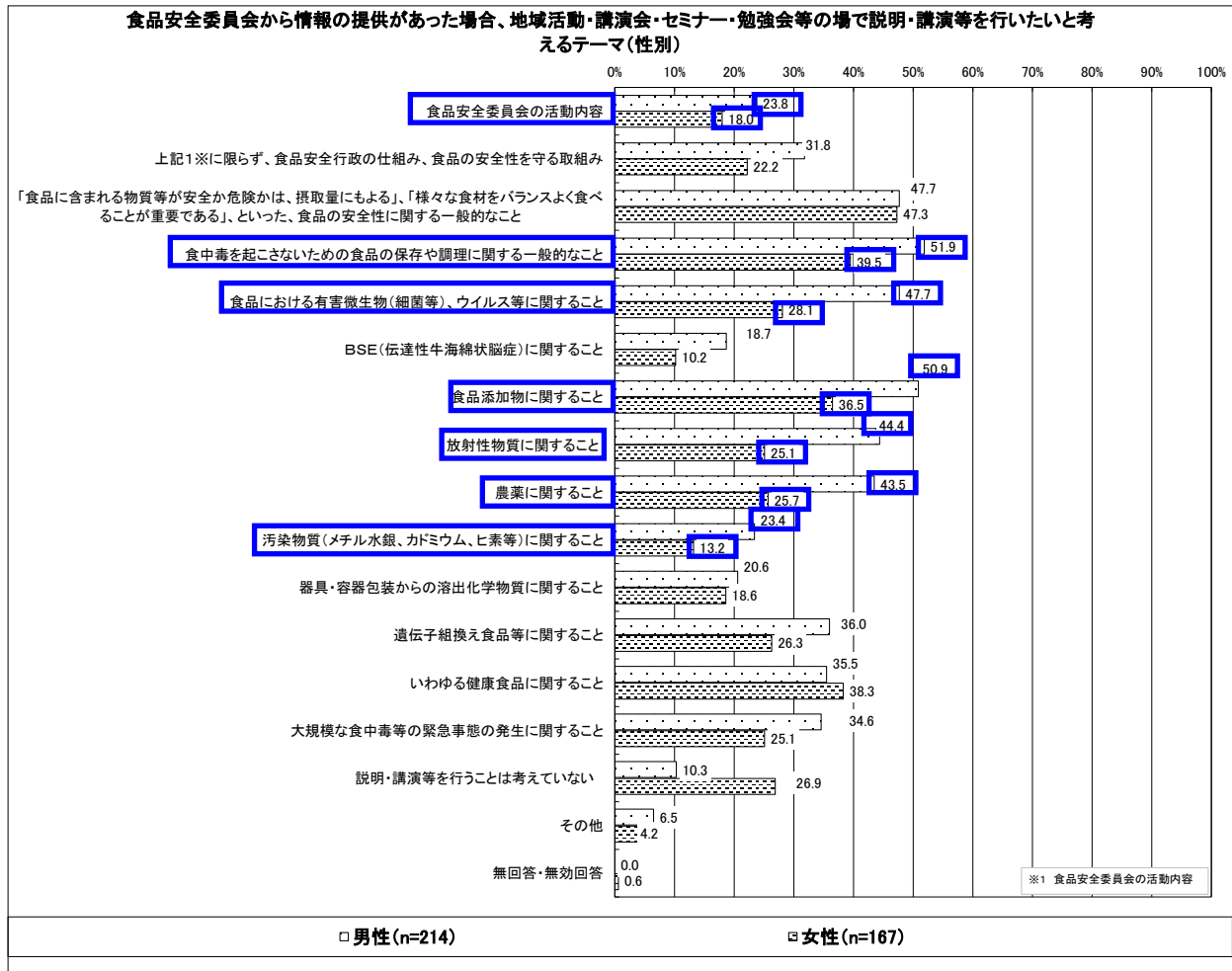
- ◆ 食品安全委員会から情報の提供があった場合、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で説明・講演等を行いたいと考えるテーマについての回答割合は、「『食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる』、『様々な食材をバランスよく食べることが重要である』、といった、食品の安全性に関する一般的なこと」が他のテーマに比べ高い。次いで、「食中毒を起こさないための食品の保存や調理に関する一般的なこと」、「食品添加物に関すること」の順に高い。

食品安全委員会から情報の提供があった場合、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で説明・講演等を行いたいと考えるテーマ



＜食品安全委員会から情報の提供があった場合、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で説明・講演等を行いたいと考えるテーマについて（男女別回答割合）＞

- ◆ 「食品安全委員会の活動内容」、「食中毒を起こさないための食品の保存や調理に関する一般的なこと」、「食品における有害微生物（細菌等）、ウイルス等に関すること」、「食品添加物に関すること」、「放射性物質に関すること」、「農薬に関すること」、「汚染物質（メチル水銀、カドミウム、ヒ素等）に関すること」との回答割合は、男性が女性に比べ有意に高い。



問10：15 その他（食品安全委員会から情報の提供があった場合、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で説明・講演等を行いたいと考えるテーマ）（回答者数=21人）

具体的な食中毒事例などに対する改正・考察など、消費者ができる食品衛生について、食品と薬の相互作用等の回答があった。

2) モニター会議におけるグループ討議について

①平成 25 年度のモニター会議のグループ討議で、もっと話し合いたいと思ったテーマ (問 11)

問 9～11 は全員お答え下さい。

問 11 あなたが、平成 25 年度のモニター会議のグループ討議において、グループでもっと話し合いたいと思ったテーマはありますか。出欠について選択肢 1 又は 2 の中から当てはまるものを選び、自由記入欄に、出席された方は、そのテーマを記述して下さい。欠席された方は、出席していたら話し合ってみたかったテーマがあれば記述して下さい。

【選択肢】

- 1 平成 25 年度モニター会議に出席した
- 2 平成 25 年度モニター会議を欠席した

※選択肢 1 又は 2 を選んでから、自由記載欄に記入して下さい。

問 11 : 平成 25 年度のモニター会議のグループ討議で、もっと話し合いたいと思ったテーマ

(1) 出席者が、もっと話し合いたいと思ったテーマ (回答者数=260 人、うち 104 人空欄)

平成 25 年度のモニター会議に出席したモニターが、会議においてもっと話し合いたいと思った内容は、「食の安全について」、「食中毒について」(防止対策など)、「放射性物質について」(食品への影響など)といった内容が多くみられた。これに次いで、「モニターの情報提供・活動のあり方」についての回答がみられた。

(1) モニター会議の出席者がもっと話し合いたいと思ったテーマ

回答内容	回答数	回答内容	回答数
食品安全について	20	BSEについて	4
食中毒について	17	リスク分析・リスク管理について	4
放射性物質について	17	リスクコミュニケーションについて	4
情報提供のあり方について	12	食物アレルギーについて	3
モニターの情報提供・活動のあり方について	11	フードディフェンスについて	3
食品表示について	10	食品添加物について	2
モニター会議のあり方について	9	その他ハザード(農薬等)について	4
遺伝子組換えについて	6	その他	19
健康食品について	6	特になし・無回答	108

(2) 欠席者が、出席していた場合話し合いたかったテーマ（回答者数=121人、うち83人空欄）

平成25年度のモニター会議を欠席したモニターが、仮に当該会議に出席していた場合に会議において話し合ってみたかったとする内容は、「情報提供のあり方について」が最も多く、次いで「放射性物質について」、「モニターの情報提供・活動のあり方」であった。

(2) モニター会議の欠席者が、出席していた場合話し合いたかったテーマ

回答内容	回答数
情報提供のあり方について	8
放射性物質について	4
モニターの情報提供・活動のあり方について	4
食品安全について	3
健康食品について	3
食中毒について	2
その他ハザードについて	6
その他	7
特になし・無回答	84

## 分類整理表

### 1) 食品安全委員会から入手した情報の利用について

- ①「家族に話したことがある」4種類の情報について、話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報（問2）

問2 問1で、4種類の情報のうち、「1(何度も話している)」又は「2(話したことが1～3回程度ある)」を選択した情報についてお伺いします。

あなたが家族に対し、問1で「1(何度も話している)」又は「2(話したことが1～3回程度ある)」を選択した情報を話した際に、役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、どのようなものですか。情報ごとに、選択肢1～11の中から当てはまるものを全て選択して下さい。

- (1)「家族に話したことがある」情報Aについて、話す際に役立ったと考える食品安全委員会等からの情報

**情報A** 「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べるのが重要である」、「食中毒予防のためには十分な加熱や手洗い、適切な保存が重要である」等、食品の安全性・食生活に関する一般的な情報

(回答者数=24人、うち6人が空欄)

回答	話した回数(問1での選択肢)	職務経験	性別	年代
消費生活に関する会議で出された内容	①何度も話している	その他消費者	女性	60～69歳
愛知県食品衛生協会からの食中毒等の情報	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	70歳以上
食品衛生協会、食育勉強会	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食品安全委員会で開催したリスクアナリシス講座	②話したことが1～3回程度ある	その他消費者	男性	50～59歳
業界団体の会合等	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
冷凍食品協会等	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
県・市の栄養士の研修会や講演会	①何度も話している	その他消費者	女性	40～49歳
食品調理従事者、食協などの団体などから得た情報	①何度も話している	研究職経験者	男性	40～49歳
NPO「食のコミュニケーション円卓会議」勉強会	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
消費者センター主催の食品の安全セミナーで得た情報	①何度も話している	その他消費者	女性	40～49歳
大学の研究者から得た情報	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
専門家に直接話を聞いて内容について	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
海外のサプライヤーとの意見交換から得た情報	①何度も話している	食品流通・販売経験者	男性	40～49歳
学業で習得	①何度も話している	食品生産・加工経験者	女性	50～59歳
各業界団体の情報誌など	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
FOOCOM(Food Commnication Compus)メールマガジンより得た情報	①何度も話している	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
その他消費者庁、農水省のメールマガジン等	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳

回答	話した回数(問1での選択肢)	職務経験	性別	年代
工作上、感染症流行や食中毒発生情報をキャッチしたとき、対策も含め家族にも注意喚起する	①何度も話している	食品生産・加工経験者	女性	30～39歳
	①何度も話している	食品生産・加工経験者	女性	30～39歳
	①何度も話している	研究職経験者	男性	40～49歳
	①何度も話している	医療職経験者	女性	50～59歳
	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	①何度も話している	食品流通・販売経験者	女性	50～59歳

(2)「家族に話したことがある」情報Bについて、話す際に役立ったと考える食品安全委員会等からの情報

**情報B** リスク分析（アナリシス）の仕組み、食品安全委員会と各リスク管理機関の役割等、食品の安全性を確保する行政の取組に関する情報

(回答者数=12人、うち2人が空欄)

回答	話した回数(問1での選択肢)	職務経験	性別	年代
愛知県食品衛生協会からの食中毒等の情報	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	70歳以上
食品衛生協会、食育勉強会	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食の安全安心を科学する会シンポジウム	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
食品安全委員会で開催したリスクアナリシス講座	②話したことが1～3回程度ある	その他消費者	男性	50～59歳
ハンバーグハンバーガー協会等	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食に関する講演会やセミナーに参加したときの情報	②話したことが1～3回程度ある	その他消費者	女性	50～59歳
専門家に直接話を聞いて内容について	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
各業界団体の情報誌など	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
FOOCOM(Food Communication Compus)メールマガジンより得た情報	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
その他消費者庁、農水省のメールマガジン等	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	①何度も話している	食品流通・販売経験者	男性	40～49歳



(3)「家族に話したことがある」情報Cについて、話す際に役立ったと考える食品安全委員会等からの情報

**情報C** モニター会議や、それ以外に食品安全委員会が行った説明会等（ご自身が出席したものに限る）において取り上げられた、特定のハザードや個別の食品健康影響評価に関する情報

(回答者数=11人、うち3人が空欄)

回答	話した回数(問1での選択肢)	職務経験	性別	年代
専門研究機関による説明会に出席して得た情報	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食品衛生協会、食育勉強会、栄養学会、アレルギー大学	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食品衛生学会シンポジウム	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
食品安全委員会で開催したリスクアナリシス講座	①何度も話している	その他消費者	男性	50～59歳
ハンバーグハンバーガー協会等	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
専門家に直接話を聞いて内容について	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
各業界団体の情報誌など	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
その他消費者庁、農水省のメールマガジン等	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	女性	50～59歳
	①何度も話している	食品関係行政従事者	男性	50～59歳

(4)「家族に話したことがある」情報Dについて、話す際に役立ったと考える食品安全委員会等からの情報

**情報D** 情報C以外の、特定のハザードや個別の食品健康影響評価に関する情報

(回答者数=10人、うち2人が空欄)

回答	話した回数(問1での選択肢)	職務経験	性別	年代
食品衛生協会、食育勉強会	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
NPO「食のコミュニケーション円卓会議」勉強会	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
食品安全委員会で開催したリスクアナリシス講座	①何度も話している	その他消費者	男性	50～59歳
ハンバーグハンバーガー協会等	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
消費者センター主催の食品の安全セミナーで得た情報	②話したことが1～3回程度ある	その他消費者	女性	40～49歳
海外の評価機関(exEFSA)からの情報	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
各業界団体の情報誌など	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
FOOCOM(Food Communication Compus)メールマガジンより得た情報	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	女性	50～59歳

②「家族に話したことがない」4種類の情報について、平成25年4月以降、話したことがない理由  
(問3)

問3 問1で、4種類の情報のうち、「3(話したことがない)」を選択した情報についてお伺いします。  
あなたが問1で「3(話したことがない)」を選択した情報について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由は何ですか。情報ごとに、最も近いものを選択肢1～7の中からお選び下さい。

(1)「家族に話したことがない」情報Aについて、平成25年4月以降、話したことがない理由

**情報A** 「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、「食中毒予防のためには十分な加熱や手洗い、適切な保存が重要である」等、食品の安全性・食生活に関する一般的な情報

(回答者数=2人、うち1人が空欄)

回答	話した回数(問1での選択肢)	職務経験	性別	年代
一人暮らしのため、月に1度会うかどうかなので話す機会がない	③話したことがない	教育職経験者	女性	40～49歳
	③話したことがない	医療職経験者	女性	30～39歳

(2)「家族に話したことがない」情報Bについて、平成25年4月以降、話したことがない理由

**情報B** リスク分析(アナリシス)の仕組み、食品安全委員会と各リスク管理機関の役割等、食品の安全性を確保する行政の取組に関する情報

(回答者数=4人)

回答	話した回数(問1での選択肢)	職務経験	性別	年代
H25以前に言ったことがあるので	③話したことがない	医療職経験者	女性	30～39歳
家族が知る必要性を感じなかったため。	③話したことがない	研究職経験者	男性	40～49歳
専門的な知識の為、家族が理解できないと思った	③話したことがない	食品流通・販売経験者	男性	30～39歳
一人暮らしのため、月に7度会うかどうかなので話す機会がない	③話したことがない	教育職経験者	女性	40～49歳

(3)「家族に話したことがない」情報Cについて、平成25年4月以降、話したことがない理由

**情報C** モニター会議や、それ以外に食品安全委員会が行った説明会等(ご自身が出席したものに限り)において取り上げられた、特定のハザードや個別の食品健康影響評価に関する情報

(回答者数=2人)

回答	話した回数(問1での選択肢)	職務経験	性別	年代
家族が知る必要性を感じなかったため。	③話したことがない	研究職経験者	男性	40～49歳
一人暮らしのため、月に1度会うかどうかなので話す機会がない	③話したことがない	教育職経験者	女性	40～49歳

(4) 「家族に話したことがない」情報Dについて、平成25年4月以降、話したことがない理由

**情報D** 情報C以外の、特定のハザードや個別の食品健康影響評価に関する情報

(回答者数=3人)

回答	話した回数(問1での選択肢)	職務経験	性別	年代
家族が知る必要性を感じなかったため。	③話したことがない	研究職経験者	男性	40～49歳
専門的な知識の為、家族が理解できないと思った	③話したことがない	食品流通・販売経験者	男性	30～39歳
一人暮らしのため、月に1度会うかどうかなので話す機会がない	③話したことがない	教育職経験者	女性	40～49歳

③「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがある」4種類の情報について、話す際に役に立ったと考える情報（問5）

問5 問4で、4種類の情報のうち、「1(何度も話している)」又は「2(話したことが1～3回程度ある)」を選択した情報についてお伺いします。

あなたが友人・隣人、職場の同僚等に対し、問4で「1(何度も話している)」又は「2(話したことが1～3回程度ある)」を選択した情報を話した際に、役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、どのようなものですか。情報ごとに、選択肢1～11の中から当てはまるものを全て選択して下さい。

(1)「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがある」情報Aについて、話す際に役に立ったと考える情報

**情報A** 「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、「食中毒予防のためには十分な加熱や手洗い、適切な保存が重要である」等、食品の安全性・食生活に関する一般的な情報

(回答者数=18人、うち2人空欄)

回答	話した回数(問4での選択肢)	職務経験	性別	年代
食品衛生協会、食育勉強会	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食品調理従事者、食協などの団体などから得た情報	①何度も話している	研究職経験者	男性	40～49歳
NPO「食のコミュニケーション円卓会議」勉強会	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
食品安全委員会で開催したリスクアナリシス講座	①何度も話している	その他消費者	男性	50～59歳
ハンバーグハンバーガー協会等	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
愛知県食品衛生協会からの食中毒等の情報	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	70歳以上
栄養士会より	②話したことが1～3回程度ある	その他消費者	女性	40～49歳
大学の研究者から得た情報	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
専門家に直接話を聞いて内容について	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
専門書ではない一般書籍	①何度も話している	食品流通・販売経験者	女性	50～59歳
食品衛生の教科書	①何度も話している	教育職経験者	男性	40～49歳
FOOCOM(Food Communication Compus)メールマガジンより得た情報	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
その他消費者庁、農水省のメールマガジン等	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
各業界団体の情報誌など	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
COOPからの情報	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
	①何度も話している	研究職経験者	男性	40～49歳
	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	女性	50～59歳

(2)「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがある」情報Bについて、話す際に役に立ったと考える情報

**情報B** リスク分析（アナリシス）の仕組み、食品安全委員会と各リスク管理機関の役割等、食品の安全性を確保する行政の取組に関する情報

(回答者数=10人、うち1人が空欄)

回答	話した回数(問4での選択肢)	職務経験	性別	年代
食育勉強会	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食品調理従事者、食協などの団体などから得た情報	①何度も話している	研究職経験者	男性	40～49歳
NPO「食のコミュニケーション円卓会議」勉強会	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
ハンバーグハンバーガー協会等	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
愛知県食品衛生協会からの食中毒等の情報	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	70歳以上
各業界団体の情報誌など	①何度も話している	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
FOOCOM(Food Communication Compus)メールマガジンより得た情報	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
その他消費者庁、農水省のメールマガジン等	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
COOPからの情報	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳

(3)「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがある」情報Cについて、話す際に役に立ったと考える情報

**情報C** モニター会議や、それ以外に食品安全委員会が行った説明会等（ご自身が出席したものに限り）において取り上げられた、特定のハザードや個別の食品健康影響評価に関する情報

(回答者数=11人、うち1名空欄)

回答	話した回数(問4での選択肢)	職務経験	性別	年代
専門研究機関による説明会に出席して得た情報	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食育勉強会	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食品調理従事者、食協などの団体などから得た情報	①何度も話している	研究職経験者	男性	40～49歳
食の安全安心を科学する会シンポジウム	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
食品安全委員会で開催したリスクアナリシス講座	①何度も話している	その他消費者	男性	50～59歳
ハンバーグハンバーガー協会等	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
愛知県食品衛生協会からの食中毒等の情報	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	70歳以上
専門家に直接話を聞いて内容について	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
各業界団体の情報誌など	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
その他消費者庁、農水省のメールマガジン等	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳

(4)「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがある」情報Dについて、話す際に役に立ったと考える  
情報

**情報D** 情報C以外の、特定のハザードや個別の食品健康影響評価に関する情報

(回答者数=10人、うち空欄2人)

回答	話した回数(問4での選択肢)	職務経験	性別	年代
食育勉強会	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食品調理従事者、食協などの団体などから得た情報	①何度も話している	研究職経験者	男性	40～49歳
NPO「食のコミュニケーション円卓会議」勉強会	②話したことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
ハンバーグハンバーガー協会等	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
海外の評価機関(exEFSA)からの情報	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
各業界団体の情報誌など	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
FOOCOM(Food Communication Compus)メールマガジンより得た情報	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
COOPからの情報	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
	①何度も話している	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	②話したことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	女性	50～59歳

④「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない」4種類の情報について、平成25年4月以降、話したことがない理由（問6）

問6 問4で、4種類の情報のうち、「3(話したことがない)」を選択した情報についてお伺いします。  
 あなたが問4で「3(話したことがない)」を選択した情報について、平成25年4月以降、友人、隣人、職場の同僚等に話したことがない理由は何ですか。情報ごとに、最も近いものを選択肢1～7の中からお選び下さい。

(1)「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない」情報Aについて、平成25年4月以降、話したことがない理由

**情報A** 「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べるのが重要である」、「食中毒予防のためには十分な加熱や手洗い、適切な保存が重要である」等、食品の安全性・食生活に関する一般的な情報

(回答者数=2人)

回答	話した回数(問4での選択肢)	職務経験	性別	年代
職場の人は理解している。友人・隣人とは話す機会がない。	③話したことがない	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
学生や社会人教育の場面以外での伝達の必要性を感じなかったため。	③話したことがない	研究職経験者	男性	40～49歳

(2)「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない」情報Bについて、平成25年4月以降、話したことがない理由

**情報B** リスク分析(アナリシス)の仕組み、食品安全委員会と各リスク管理機関の役割等、食品の安全性を確保する行政の取組に関する情報

(回答者数=3人、うち1人空欄)

回答	話した回数(問4での選択肢)	職務経験	性別	年代
職場の人は理解している。友人・隣人とは話す機会がない。	③話したことがない	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
学生や社会人教育の場面以外での伝達の必要性を感じなかったため。	③話したことがない	研究職経験者	男性	40～49歳
	③話したことがない	医療職経験者	女性	50～59歳

(3)「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない」情報Cについて、平成25年4月以降、話したことがない理由

**情報C** モニター会議や、それ以外に食品安全委員会が行った説明会等(ご自身が出席したものに限る)において取り上げられた、特定のハザードや個別の食品健康影響評価に関する情報

(回答者数=2人)

回答	話した回数(問4での選択肢)	職務経験	性別	年代
職場の人は理解している。友人・隣人とは話す機会がない。	③話したことがない	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
学生や社会人教育の場面以外での伝達の必要性を感じなかったため。	③話したことがない	研究職経験者	男性	40～49歳

(4) 「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない」情報Dについて、平成25年4月以降、話したことがない理由

**情報D** 情報C以外の、特定のハザードや個別の食品健康影響評価に関する情報

(回答者数=2人)

回答	話した回数(問4での選択肢)	職務経験	性別	年代
職場の人は理解している。友人・隣人とは話す機会がない。	③話したことがない	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
学生や社会人教育の場面以外での伝達の必要性を感じなかったため。	③話したことがない	研究職経験者	男性	40～49歳



⑤「説明・講演等を行ったことがある」4種類の情報について、講演等の際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料（問8）

問8 問7で、4種類の情報のうち、「1(何度も説明・講演等を行ったことがある)」又は「2(説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある)」を選択した情報についてお伺いします。

あなたが選択した4種類の情報について、問7のような複数の人に対しての説明・講演等を行った際、配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考えられる資料はどのようなものですか。情報ごとに、選択肢 1～15の中から、当てはまるものを全て選択して下さい。(配布等したが、相手の理解を深めるのに有用でなかったと考える資料は選択しないでください。)

(1)「説明・講演等を行ったことがある」情報Aについて、講演等の際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料

**情報A** 「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、「食中毒予防のためには十分な加熱や手洗い、適切な保存が重要である」等、食品の安全性・食生活に関する一般的な情報

i) ①～⑤以外の、食品安全委員会のホームページから得た資料

- ①モニター会議における配布資料
- ②モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する説明会・意見交換会等において用いたスライド(パワーポイント)資料
- ③食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報(Q&Aなど。1及び2を除く。)
- ④食品安全委員会の季刊誌、パンフレット
- ⑤食品安全委員会のメールマガジン)

(回答者数=23人、うち11人が空欄)

回答	職務経験	性別	年代
食育勉強会	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
配信の動画	食品流通・販売経験者	女性	50～59歳
映像資料	食品生産・加工経験者	女性	30～39歳
食品安全委員会からのDVD	食品流通・販売経験者	女性	50～59歳
食品安全委員会作成のDVD	食品生産・加工経験者	女性	30～39歳
キッズボックス、ビジュアル資料	研究職経験者	男性	50～59歳
HPの「重要なお知らせ」の中に入っている資料	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
試験に、食品影響評価中の試験の数値から最低値を求め、安全係数を示してADIを求めさせる問題を出しました。	教育職経験者	男性	40～49歳
ノロウイルスによる食中毒にご注意ください	研究職経験者	男性	60～69歳
実際の事例	教育職経験者	男性	40～49歳
食中毒予防のポイント、食品に含まれるトランス脂肪酸	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
リスクプロファイル	医療職経験者	男性	60～69歳
	医療職経験者	女性	50～59歳
	食品流通・販売経験者	男性	70歳以上
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
	食品生産・加工経験者	女性	60～69歳
	食品生産・加工経験者	女性	70歳以上
	食品流通・販売経験者	男性	30～39歳
	食品関係行政従事者	男性	60～69歳
	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳

i i) その他の資料

(回答者数=18人、うち1人空欄)

回答	職務経験	性別	年代
食育勉強会	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
消費者庁の方から頂いた講習会の資料	食品生産・加工経験者	女性	40～49歳
別の講演会等資料	医療職経験者	男性	70歳以上
社外の講演会などで使われた資料	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
食品衛生協会のテキスト	食品生産・加工経験者	男性	70歳以上
食品衛生協会作成資料	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
健康福祉事務所でいただいた講習会のためのハンドブック	その他消費者	女性	40～49歳
仕事に関する資料から(全麵協など)	食品関係行政従事者	男性	60～69歳
日本食品衛生協会発行のノロウイルス予防対策	食品関係行政従事者	男性	60～69歳
消費者レポート	その他消費者	女性	50～59歳
食品安全委員会からお借りしたDVD	食品関係行政従事者	女性	50～59歳
サイエンスカフェ等のDVD	食品生産・加工経験者	女性	50～59歳
調理場、台所の衛生。消毒薬の種類と効果。その作り方と使い方について。次亜塩素酸ナトリウムの使い方等について。自分で作成した資料	研究職経験者	男性	60～69歳
実際の事例で使用した資料、写真、データなど	教育職経験者	男性	40～49歳
様々な資料から抜粋して資料を作成している。(この質問の聞き方は、非常に答えづらい。)	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
会社で制作している資料を配布している。	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳

(2) 「説明・講演等を行ったことがある」情報Bについて、講演等の際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料

**情報B** リスク分析(アナリシス)の仕組み、食品安全委員会と各リスク管理機関の役割等、食品の安全性を確保する行政の取組に関する情報

i) ①～⑤以外の、食品安全委員会のホームページから得た資料

- ①モニター会議における配布資料
- ②モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する説明会・意見交換会等において用いたスライド(パワーポイント)資料
- ③食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報(Q&Aなど。1及び2を除く。)
- ④食品安全委員会の季刊誌、パンフレット
- ⑤食品安全委員会のメールマガジン)

(回答者数=14人、うち9人が空欄)

回答	職務経験	性別	年代
食育勉強会、アレルギー大学	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
映像資料	食品生産・加工経験者	女性	30～39歳
食品安全委員会作成のDVD	食品生産・加工経験者	女性	30～39歳
実際の事例	教育職経験者	男性	40～49歳
食品中の放射性物質	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
	食品流通・販売経験者	男性	70歳以上
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
	食品関係行政従事者	女性	50～59歳
	食品生産・加工経験者	女性	60～69歳
	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
	食品流通・販売経験者	女性	40～49歳

i i) その他の資料

(回答者数=6人、1人が空欄)

回答	職務経験	性別	年代
食品衛生協会のテキスト	食品生産・加工経験者	男性	70歳以上
食品安全委員会からお借りしたDVD	食品関係行政従事者	女性	50～59歳
実際の事例で使用した資料、写真、データなど	教育職経験者	男性	40～49歳
様々な資料から抜粋して資料を作成している。(この質問の聞き方は、非常に答えづらい。)	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
会社で制作している資料を配布している。	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳

(3)「説明・講演等を行ったことがある」情報Cについて、講演等の際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料

**情報C** モニター会議や、それ以外に食品安全委員会が行った説明会等（ご自身が出席したものに限り）において取り上げられた、特定のハザードや個別の食品健康影響評価に関する情報

i) ①～⑤以外の、食品安全委員会のホームページから得た資料

①モニター会議における配布資料

②モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する説明会・意見交換会等において用いたスライド(パワーポイント)資料

③食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報(Q&Aなど。1及び2を除く。)

④食品安全委員会の季刊誌、パンフレット

⑤食品安全委員会のメールマガジン)

(回答者数=9人、うち6人が空欄)

回答	職務経験	性別	年代
かび毒、自然毒専門調査会の資料	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
ファクトシート	食品流通・販売経験者	女性	50～59歳
実際の事例	教育職経験者	男性	40～49歳
	教育職経験者	男性	70歳以上
	食品流通・販売経験者	男性	70歳以上
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
	食品生産・加工経験者	女性	60～69歳
	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳

i i) その他の資料

(回答者数=7人、うち1人が空欄)

回答	職務経験	性別	年代
専門研究機関による説明会に出席して得た情報及び資料	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食品衛生協会のテキスト	食品生産・加工経験者	男性	70歳以上
食品安全委員会からお借りしたDVD	食品関係行政従事者	女性	50～59歳
実際の事例で使用した資料、写真、データなど	教育職経験者	男性	40～49歳
様々な資料から抜粋して資料を作成している。(この質問の聞き方は、非常に答えづらい。)	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
サプリ	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳

(4) 「説明・講演等を行ったことがある」情報Dについて、講演等の際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料

**情報D** 情報C以外の、特定のハザードや個別の食品健康影響評価に関する情報

i) ①～⑤以外の、食品安全委員会のホームページから得た資料

(①モニター会議における配布資料

②モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する説明会・意見交換会等において用いたスライド(パワーポイント)資料

③食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報(Q&Aなど。1及び2を除く。)

④食品安全委員会の季刊誌、パンフレット

⑤食品安全委員会のメールマガジン)

(回答者数=11人、うち7人空欄)

回答	職務経験	性別	年代
ファクトシート等、資料作成に役立った	食品生産・加工経験者	女性	30～39歳
食品衛生の講義で、「魚介類におけるメチル水銀」の評価書を参考に致しました	教育職経験者	男性	40～49歳
実際の事例	教育職経験者	男性	40～49歳
誤嚥	研究職経験者	男性	60～69歳
	医療職経験者	男性	70歳以上
	食品流通・販売経験者	男性	70歳以上
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
	食品生産・加工経験者	女性	60～69歳
	食品関係行政従事者	男性	60～69歳

ii) その他の資料

(回答者数=10人、うち1人空欄)

回答	職務経験	性別	年代
消費者庁の方から頂いた講習会の資料	食品生産・加工経験者	女性	40～49歳
社外の講演会などで使われた資料	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
輸入食品に混入したある化学物質の毒性について講義する際に、その物質のMSDSの文章を引用しました	教育職経験者	男性	40～49歳
食品衛生協会のテキスト	食品生産・加工経験者	男性	70歳以上
食品安全委員会からお借りしたDVD	食品関係行政従事者	女性	50～59歳
行政健康課	食品生産・加工経験者	女性	60～69歳
実際の事例で使用した資料、写真、データなど	教育職経験者	男性	40～49歳
様々な資料から抜粋して資料を作成している。(この質問の聞き方は、非常に答えづらい。)	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
会社で制作している資料を配布している。	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳

⑥食品安全委員会から情報の提供があった場合、家族や友人・隣人、職場の同僚等にもっと話したいと思うテーマ（問9）

問9 食品安全委員会から情報の提供があれば、家族や友人・隣人、職場の同僚等に、あなたがもっと話したいと思うテーマはありますか。選択肢1～16の中から当てはまるものを全て選択して下さい。

(回答者数=30人、うち5人が空欄)

回答	家族に話した回数 (問1での選択肢)	友人・隣人、職場の同僚等に話した回数 (問4での選択肢)	説明・講演等の回数 (問7での選択肢)	職務経験	性別	年代
成分規格の状況	情報A:①何度も話している 情報B:①何度も話している 情報C:②話したことが1～3回程度ある 情報D:②話したことが1～3回程度ある	情報A:①何度も話している 情報B:①何度も話している 情報C:①何度も話している 情報D:①何度も話している	情報A:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報B:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報C:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報D:①何度も説明・講演等を行ったことがある	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
食品成分に関する事	情報A:①何度も話している 情報B:②話したことが1～3回程度ある 情報C:③話したことがない 情報D:②話したことが1～3回程度ある	情報A:②話したことが1～3回程度ある 情報B:③話したことがない 情報C:③話したことがない 情報D:③話したことがない	情報A:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報B:③説明・講演等を行ったことがない 情報C:③説明・講演等を行ったことがない 情報D:③説明・講演等を行ったことがない	医療職経験者	女性	50～59歳
食品衛生、アレルギー	情報A:①何度も話している 情報B:②話したことが1～3回程度ある 情報C:①何度も話している 情報D:②話したことが1～3回程度ある	情報A:①何度も話している 情報B:②話したことが1～3回程度ある 情報C:①何度も話している 情報D:①何度も話している	情報A:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報B:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報C:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報D:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
アレルギーに関する事	情報A:②話したことが1～3回程度ある 情報B:③話したことがない 情報C:②話したことが1～3回程度ある 情報D:③話したことがない	情報A:③話したことがない 情報B:③話したことがない 情報C:②話したことが1～3回程度ある 情報D:②話したことが1～3回程度ある	情報A:③説明・講演等を行ったことがない 情報B:③説明・講演等を行ったことがない 情報C:③説明・講演等を行ったことがない 情報D:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
ノロウイルスや腸管出血性大腸菌感染者のほんの一部が食中毒患者であるにもかかわらず、食中毒予防の視点でしか捉えられていない。感染症予防の視点が重要である。	情報A:①何度も話している 情報B:③話したことがない 情報C:③話したことがない 情報D:②話したことが1～3回程度ある	情報A:①何度も話している 情報B:③話したことがない 情報C:③話したことがない 情報D:①何度も話している	情報A:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報B:③説明・講演等を行ったことがない 情報C:③説明・講演等を行ったことがない 情報D:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある	医療職経験者	男性	60～69歳

回答	家族に話した回数 (問1での選択肢)	友人・隣人、職場の同僚等に話した回数 (問4での選択肢)	説明・講演等の回数 (問7での選択肢)	職務経験	性別	年代
鳥インフルエンザ	情報 A:①何度も話している 情報 B:③話したことがない 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も話している 情報 B:③話したことがない 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:③説明・講演等を行ったことがない 情報 B:③説明・講演等を行ったことがない 情報 C:③説明・講演等を行ったことがない 情報 D:③説明・講演等を行ったことがない	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
いわゆる健康食品や特定保健用食品の過剰摂取による危険性また、これらを過信して摂取することによる危険性を知りたいし、話したい。	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:③話したことがない 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:②話したことが1～3回程度ある 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:③話したことがない 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B:③説明・講演等を行ったことがない 情報 C:③説明・講演等を行ったことがない 情報 D:③説明・講演等を行ったことがない	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
酵素や抗酸化力などをうたう食品に関すること	情報 A:①何度も話している 情報 B:③話したことがない 情報 C:③話したことがない 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B:③説明・講演等を行ったことがない 情報 C:③説明・講演等を行ったことがない 情報 D:③説明・講演等を行ったことがない	その他消費者	女性	40～49歳
過剰な栄養に伴う生活習慣病も、食品によるハザードに思えます。	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 C:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 D:①何度も説明・講演等を行ったことがある	教育職経験者	男性	40～49歳
特定原材料、トランス脂肪酸、表示、寄生虫、オフフレーバー	情報 A:②話したことが1～3回程度ある 情報 B:③話したことがない 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:③話したことがない	情報 A:③話したことがない 情報 B:③話したことがない 情報 C:③話したことがない 情報 D:③話したことがない	情報 A:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 C:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 D:③説明・講演等を行ったことがない	食品流通・販売経験者	男性	40～49歳
食品中の放射能モニタリング検査報告	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:③話したことがない	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:③説明・講演等を行ったことがない 情報 B:③説明・講演等を行ったことがない 情報 C:③説明・講演等を行ったことがない 情報 D:③説明・講演等を行ったことがない	研究職経験者	男性	70歳以上



回答	家族に話した回数 (問1での選択肢)	友人・隣人、職場の同僚等に話した回数 (問4での選択肢)	説明・講演等の回数 (問7での選択肢)	職務経験	性別	年代
放射線照射食品	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:②話したことが1～3回程度ある 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:③説明・講演等を行ったことがない 情報 B:③説明・講演等を行ったことがない 情報 C:③説明・講演等を行ったことがない 情報 D:③説明・講演等を行ったことがない	食品生産・加工経験者	男性	60～69 歳
国際的な食品衛生の取り組みと今後の展望など	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 C:③説明・講演等を行ったことがない 情報 D:①何度も説明・講演等を行ったことがある	研究職経験者	男性	40～49 歳
輸入食品に関すること、リスクコミュニケーションに関すること	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:①何度も話している 情報 D:③話したことがない	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 C:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 D:①何度も説明・講演等を行ったことがある	食品流通・販売経験者	男性	50～59 歳
食品ロス	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:③話したことがない 情報 D:③話したことがない	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:③話したことがない 情報 D:③話したことがない	情報 A:③説明・講演等を行ったことがない 情報 B:③説明・講演等を行ったことがない 情報 C:③説明・講演等を行ったことがない 情報 D:③説明・講演等を行ったことがない	その他消費者	女性	70 歳以上
摂取と代謝の関係(摂取量がそのまま影響量とは限らないなど、影響の評価について)	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 B:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 C:③説明・講演等を行ったことがない 情報 D:③説明・講演等を行ったことがない	その他消費者	女性	30～39 歳
食糧需給情報、FAO情報等	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:①何度も話している	情報 A:③説明・講演等を行ったことがない 情報 B:③説明・講演等を行ったことがない 情報 C:③説明・講演等を行ったことがない 情報 D:③説明・講演等を行ったことがない	食品生産・加工経験者	男性	50～59 歳

回答	家族に話した回数 (問1での選択肢)	友人・隣人、職場の同僚等に話した回数 (問4での選択肢)	説明・講演等の回数 (問7での選択肢)	職務経験	性別	年代
健康被害を及ぼす硬質危害異物のレベル(サイズや形状等)を具体的に国が示し、基準を作って欲しい	情報 A: ②話したことが1~3回程度ある 情報 B: ②話したことが1~3回程度ある 情報 C: ③話したことがない 情報 D: ②話したことが1~3回程度ある	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ①何度も話している 情報 C: ③話したことがない 情報 D: ①何度も話している	情報 A: ②説明・講演等を行ったことが1~3回程度ある 情報 B: ②説明・講演等を行ったことが1~3回程度ある 情報 C: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 D: ③説明・講演等を行ったことがない	食品生産・加工経験者	男性	50~59歳
取組みの報告 具体的に回数や場所	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ①何度も話している 情報 C: ①何度も話している 情報 D: ①何度も話している	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ①何度も話している 情報 C: ①何度も話している 情報 D: ①何度も話している	情報 A: ①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B: ①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 C: ①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 D: ①何度も説明・講演等を行ったことがある	医療職経験者	女性	60~69歳
離乳食や幼児食の安全に関すること	情報 A: ③話したことがない 情報 B: ③話したことがない 情報 C: ③話したことがない 情報 D: ③話したことがない	情報 A: ②話したことが1~3回程度ある 情報 B: ③話したことがない 情報 C: ③話したことがない 情報 D: ③話したことがない	情報 A: ②説明・講演等を行ったことが1~3回程度ある 情報 B: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 C: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 D: ③説明・講演等を行ったことがない	食品流通・販売経験者	女性	30~39歳
管理栄養士とし地域活動の中で	情報 A: ②話したことが1~3回程度ある 情報 B: ①何度も話している 情報 C: ③話したことがない 情報 D: ③話したことがない	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ①何度も話している 情報 C: ②話したことが1~3回程度ある 情報 D: ①何度も話している	情報 A: ①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B: ①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 C: ②説明・講演等を行ったことが1~3回程度ある 情報 D: ②説明・講演等を行ったことが1~3回程度ある	食品生産・加工経験者	女性	60~69歳
健康情報はあふれている。エビデンスを見極め正しい判断力を身につけていくことが大切。義務教育等学校教育での科学系の学びで身につけていければいいと思うが、個々人の理解や考え、基本的な教養(?)といいますが、生涯にわたる学びも大切かと思う。	情報 A: ②話したことが1~3回程度ある 情報 B: ②話したことが1~3回程度ある 情報 C: ②話したことが1~3回程度ある 情報 D: ②話したことが1~3回程度ある	情報 A: ②話したことが1~3回程度ある 情報 B: ②話したことが1~3回程度ある 情報 C: ②話したことが1~3回程度ある 情報 D: ①何度も話している	情報 A: ②説明・講演等を行ったことが1~3回程度ある 情報 B: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 C: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 D: ③説明・講演等を行ったことがない	医療職経験者	女性	50~59歳



回答	家族に話した回数 (問1での選択肢)	友人・隣人、職場の同僚等に話した回数 (問4での選択肢)	説明・講演等の回数 (問7での選択肢)	職務経験	性別	年代
家庭科副読本の不正確な食品安全の記述内容について	情報 A: ②話したことが1～3回程度ある 情報 B: ②話したことが1～3回程度ある 情報 C: ②話したことが1～3回程度ある 情報 D: ②話したことが1～3回程度ある	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ①何度も話している 情報 C: ②話したことが1～3回程度ある 情報 D: ②話したことが1～3回程度ある	情報 A: ②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 B: ②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 C: ②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 D: ②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	50～59 歳
食品安全委員会のHPより得られる情報で購えるテーマばかりです。	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ②話したことが1～3回程度ある 情報 C: ②話したことが1～3回程度ある 情報 D: ②話したことが1～3回程度ある	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ②話したことが1～3回程度ある 情報 C: ③話したことがない 情報 D: ②話したことが1～3回程度ある	情報 A: ②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 B: ②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 C: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 D: ③説明・講演等を行ったことがない	その他消費者	女性	40～49 歳
機会があれば話す機会がないから	情報 A: ②話したことが1～3回程度ある 情報 B: ③話したことがない 情報 C: ②話したことが1～3回程度ある 情報 D: ②話したことが1～3回程度ある	情報 A: ②話したことが1～3回程度ある 情報 B: ③話したことがない 情報 C: ②話したことが1～3回程度ある 情報 D: ②話したことが1～3回程度ある	情報 A: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 B: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 C: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 D: ③説明・講演等を行ったことがない	食品生産・加工経験者	男性	60～69 歳
	情報 A: ②話したことが1～3回程度ある 情報 B: ②話したことが1～3回程度ある 情報 C: ②話したことが1～3回程度ある 情報 D: ③話したことがない	情報 A: ②話したことが1～3回程度ある 情報 B: ②話したことが1～3回程度ある 情報 C: ②話したことが1～3回程度ある 情報 D: ③話したことがない	情報 A: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 B: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 C: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 D: ③説明・講演等を行ったことがない	食品生産・加工経験者	女性	40～49 歳
	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ①何度も話している 情報 C: ①何度も話している 情報 D: ①何度も話している	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ①何度も話している 情報 C: ①何度も話している 情報 D: ①何度も話している	情報 A: ①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B: ①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 C: ①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 D: ①何度も説明・講演等を行ったことがある	食品生産・加工経験者	男性	50～59 歳
	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ①何度も話している 情報 C: ①何度も話している 情報 D: ①何度も話している	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ①何度も話している 情報 C: ①何度も話している 情報 D: ①何度も話している	情報 A: ②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 B: ②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 C: ②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 D: ②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある	その他消費者	男性	60～69 歳

回答	家族に話した回数 (問1での選択肢)	友人・隣人、職場の同僚等に話した回数 (問4での選択肢)	説明・講演等の回数 (問7での選択肢)	職務経験	性別	年代
	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:①何度も話している	情報 A:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 B:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 C:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 D:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある	食品関係行政従事者	男性	60～69 歳
	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 B:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 C:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 D:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある	その他消費者	女性	50～59 歳

⑦食品安全委員会から情報の提供があった場合、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で説明・講演等を行いたいと考えるテーマ（問10）

問10 食品安全委員会から情報の提供があれば、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で3人以上の方に対して説明・講演等を行いたいと考えるテーマはありますか。選択肢1～16の中から当てはまるものを全て選択して下さい。

(回答者数=21人)

回答	家族に話した回数 (問1での選択肢)	友人・隣人、職場の同僚等に話した回数 (問4での選択肢)	説明・講演等の回数 (問7での選択肢)	職務経験	性別	年代
具体的な食中毒事例などに対する解説・考察など。各自治体で行われている自主衛生管理認証制度などの概論と評価	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 C:③説明・講演等を行ったことがない 情報 D:①何度も説明・講演等を行ったことがある	研究職経験者	男性	40～49歳
有害微生物とウイルス	情報 A:②話したことが1～3回程度ある 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:①何度も話している	情報 A:②話したことが1～3回程度ある 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:①何度も話している 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 C:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 D:①何度も説明・講演等を行ったことがある	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
ノロウイルスによる食中毒拡大防止について	情報 A:②話したことが1～3回程度ある 情報 B:③話したことがない 情報 C:③話したことがない 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:②話したことが1～3回程度ある 情報 B:③話したことがない 情報 C:③話したことがない 情報 D:③話したことがない	情報 A:③説明・講演等を行ったことがない 情報 B:③説明・講演等を行ったことがない 情報 C:③説明・講演等を行ったことがない 情報 D:①何度も説明・講演等を行ったことがある	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
食品の成分規格	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 C:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 D:①何度も説明・講演等を行ったことがある	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳

回答	家族に話した回数 (問1での選択肢)	友人・隣人、職場の同僚等に話した回数 (問4での選択肢)	説明・講演等の回数 (問7での選択肢)	職務経験	性別	年代
[食薬分離]について、判っていない人が多いように思います。	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 C:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 D:①何度も説明・講演等を行ったことがある	教育職経験者	男性	40～49 歳
食品と薬の相互作用	情報 A:②話したことが1～3回程度ある 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:②話したことが1～3回程度ある 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:①何度も話している	情報 A:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 B:③説明・講演等を行ったことがない 情報 C:③説明・講演等を行ったことがない 情報 D:③説明・講演等を行ったことがない	医療職経験者	女性	50～59 歳
酵素や抗酸化力などをうたう食品に関すること	情報 A:①何度も話している 情報 B:③話したことがない 情報 C:③話したことがない 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B:③説明・講演等を行ったことがない 情報 C:③説明・講演等を行ったことがない 情報 D:③説明・講演等を行ったことがない	その他消費者	女性	40～49 歳
特定原材料、トランス脂肪酸、表示、寄生虫、オフフレーバー	情報 A:②話したことが1～3回程度ある 情報 B:③話したことがない 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:③話したことがない	情報 A:③話したことがない 情報 B:③話したことがない 情報 C:③話したことがない 情報 D:③話したことがない	情報 A:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 C:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 D:③説明・講演等を行ったことがない	食品流通・販売経験者	男性	40～49 歳
消費者ができる食品衛生について	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 B:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 C:③説明・講演等を行ったことがない 情報 D:③説明・講演等を行ったことがない	その他消費者	女性	30～39 歳
生活習慣病予防	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:③話したことがない 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:②話したことが1～3回程度ある 情報 B:③話したことがない 情報 C:③話したことがない 情報 D:③話したことがない	情報 A:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 B:③説明・講演等を行ったことがない 情報 C:③説明・講演等を行ったことがない 情報 D:③説明・講演等を行ったことがない	医療職経験者	女性	50～59 歳

回答	家族に話した回数 (問1での選択肢)	友人・隣人、職場の同僚等に話した回数 (問4での選択肢)	説明・講演等の回数 (問7での選択肢)	職務経験	性別	年代
輸入食品に関すること、リスクコミュニケーションに関すること	情報 A:①何度も話している 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:①何度も話している 情報 D:③話したことがない	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 C:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 D:①何度も説明・講演等を行ったことがある	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
家庭科副読本の不正確な食品安全の記述内容について	情報 A:②話したことが1～3回程度ある 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 B:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 C:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある 情報 D:②説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
福島原発の汚染水漏れ後の人体に「対する影響や」食品のセシウムへの安全対策	情報 A:②話したことが1～3回程度ある 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:②話したことが1～3回程度ある 情報 B:②話したことが1～3回程度ある 情報 C:②話したことが1～3回程度ある 情報 D:②話したことが1～3回程度ある	情報 A:③説明・講演等を行ったことがない 情報 B:③説明・講演等を行ったことがない 情報 C:③説明・講演等を行ったことがない 情報 D:③説明・講演等を行ったことがない	その他消費者	女性	50～59歳
食育関連の講義	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 C:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 D:①何度も説明・講演等を行ったことがある	教育職経験者	男性	40～49歳
食品の賞味期間と消費期限について 消費者の認知度の再認識	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も話している 情報 B:①何度も話している 情報 C:①何度も話している 情報 D:①何度も話している	情報 A:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 C:①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 D:①何度も説明・講演等を行ったことがある	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳

回答	家族に話した回数 (問1での選択肢)	友人・隣人、職場の同僚等に話した回数 (問4での選択肢)	説明・講演等の回数 (問7での選択肢)	職務経験	性別	年代
食品の表示に関すること	情報 A: ②話したことが1~3回程度ある 情報 B: ③話したことがない 情報 C: ③話したことがない 情報 D: ③話したことがない	情報 A: ②話したことが1~3回程度ある 情報 B: ③話したことがない 情報 C: ③話したことがない 情報 D: ②話したことが1~3回程度ある	情報 A: ①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 C: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 D: ②説明・講演等を行ったことが1~3回程度ある	食品関係行政従事者	男性	60~69歳
世界の食料自給と水問題	情報 A: ②話したことが1~3回程度ある 情報 B: ③話したことがない 情報 C: ③話したことがない 情報 D: ③話したことがない	情報 A: ②話したことが1~3回程度ある 情報 B: ②話したことが1~3回程度ある 情報 C: ③話したことがない 情報 D: ②話したことが1~3回程度ある	情報 A: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 B: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 C: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 D: ③説明・講演等を行ったことがない	食品流通・販売経験者	男性	60~69歳
食中毒だけではなく、消費者が日頃、心がける「考え方」等を話題にした、勉強会が大切と思われる。	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ①何度も話している 情報 C: ①何度も話している 情報 D: ②話したことが1~3回程度ある	情報 A: ②話したことが1~3回程度ある 情報 B: ②話したことが1~3回程度ある 情報 C: ②話したことが1~3回程度ある 情報 D: ②話したことが1~3回程度ある	情報 A: ①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B: ②説明・講演等を行ったことが1~3回程度ある 情報 C: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 D: ③説明・講演等を行ったことがない	医療職経験者	男性	60~69歳
消費者教育の観点で使いやすい資料があれば。	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ③話したことがない 情報 C: ①何度も話している 情報 D: ①何度も話している	情報 A: ③話したことがない 情報 B: ③話したことがない 情報 C: ③話したことがない 情報 D: ③話したことがない	情報 A: ①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 B: ①何度も説明・講演等を行ったことがある 情報 C: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 D: ①何度も説明・講演等を行ったことがある	食品生産・加工経験者	男性	30~39歳
情報の提供があるかどうかでなく、時間を割くだけでも報酬があれば、説明や講演等を行っていきたく思う。	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ②話したことが1~3回程度ある 情報 C: ②話したことが1~3回程度ある 情報 D: ②話したことが1~3回程度ある	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ②話したことが1~3回程度ある 情報 C: ③話したことがない 情報 D: ②話したことが1~3回程度ある	情報 A: ②説明・講演等を行ったことが1~3回程度ある 情報 B: ②説明・講演等を行ったことが1~3回程度ある 情報 C: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 D: ③説明・講演等を行ったことがない	その他消費者	女性	40~49歳
定期的に勉強会を開いているがメンバーが専門家なので話す必要性がないため	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ③話したことがない 情報 C: ③話したことがない 情報 D: ①何度も話している	情報 A: ①何度も話している 情報 B: ③話したことがない 情報 C: ③話したことがない 情報 D: ①何度も話している	情報 A: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 B: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 C: ③説明・講演等を行ったことがない 情報 D: ③説明・講演等を行ったことがない	教育職経験者	女性	50~59歳



## 2) モニター会議におけるグループ討論について

### ①平成 25 年度のモニター会議のグループ討議で、もっと話し合いたいと思ったテーマ（問 1 1）

問11 あなたが、平成25年度のモニター会議のグループ討論において、グループでもっと話し合いたいと思ったテーマはありますか。出欠について選択肢1又は2の中から当てはまるものを選び、自由記入欄に、出席された方は、そのテーマを記述して下さい。欠席された方は、出席していたら話し合ってみたかったテーマがあれば記述して下さい。

#### (1) 出席者が、もっと話し合いたいと思ったテーマ

(回答者数=260人、うち104人空欄)

##### ①食品安全について (20件)

回答	職務経験	性別	年代
平成26年度のモニター会議では、食品の安全性を地域に浸透させる方法について、取り上げてください。	研究職経験者	女性	70歳以上
食品の安全性に関して、普段の生活の中でそのリテラシーをどう身につけるか？	教育職経験者	女性	60～69歳
学校給食での安全性	研究職経験者	男性	60～69歳
食品の安全性にかかわる情報を消費者に発信する具体的な取り組み内容について	食品流通・販売経験者	女性	30～39歳
食品安全を疑う体験について(生レバーがメニューにあったとか合宿でみんながお腹をこわした等だけでなく、農薬を大量に使っていると農家に聞いたという話や、輸入時のいいなりの検査を港で見たといった都市伝説化したような話等も含む)	その他消費者	女性	40～49歳
何故安全性が科学的に証明されても嫌われるのはなぜか(例えば食品添加物、遺伝子組み換え等)	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
食品安全と食品表示、製造メーカーからの情報開示について	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
食品の安全に関する新しい取り組みについて。例えば食品添加物や農薬を減らすために近年取り入れられた農法や、食品の保存技術等。	その他消費者	女性	40～49歳
食の安全について、子供たちへの教育の機会を広げるための方策について。	研究職経験者	女性	50～59歳
農薬・細菌・ウィルス等一番身近な食品への安全性	その他消費者	女性	50～59歳
食の安全に関する市民や学校などへの教育について知りたい	その他消費者	男性	60～69歳
安全と安心	医療職経験者	男性	60～69歳
中国産原料を使用することの安全性について。輸入品の検査に対する問題発生率を見ても、ほかの海外よりも安全性は高い。しかし、いまだに中国産、というだけで避けられているものが数多くあるため。	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
最近発生している食品危害事例報告。例えば冷凍食品への農薬混入事件や、ノロウイルス食中毒発生事例等についての情報提供と衛生対策について。	研究職経験者	男性	60～69歳
食品の安全性をどのように啓蒙するか	その他消費者	女性	40～49歳
加工商品の内容明細について。消費者の立場にたつ食品の安全性について。	教育職経験者	女性	40～49歳
比較的安全性が確保されていると思われる農薬、食品添加物や遺伝子組み換え食品に対して、どのようにすれば安心してもらえるのか。	食品流通・販売経験者	女性	50～59歳

随時報告のまとめ方に関する討論で、皆がどうゆう事柄に関して食品の安全性を心配しているか。	食品関係行政従事者	女性	50～59歳
TPP 関税撤廃による海外産の食品の安全性について。	その他消費者	女性	30～39歳
私は登録検査機関に勤務する微生物検査員であり、さらに自治体のミニ HACCP の認証を行う業務に従事しています。会議で、さまざまな立場の方の食品安全に対する意識を知ることができればよいと思います。	研究職経験者	女性	30～39歳

②BSEについて(4件)

回答	職務経験	性別	年代
BSE への不安	その他消費者	女性	30～39歳
BSE 関連	食品流通・販売経験者	男性	40～49歳
bse の全頭検査について	食品流通・販売経験者	男性	70歳以上
BSE について、消費者からみた行政の問題点は？	その他消費者	女性	20～29歳

③遺伝子組換え食品について(6件)

回答	職務経験	性別	年代
日本の遺伝子組み換え食品の現状と海外の現状について。	食品生産・加工経験者	女性	50～59歳
遺伝子組換え食品や照射食品の受容について。フードロスを減らすための取組みについて。マスコミの不安をあおる報道に左右されないための情報収集の仕方、周囲への伝え方について。フードロスについて実際同じ班だったメンバーとMLで話したことがある。	食品流通・販売経験者	女性	40～49歳
遺伝子組み換え食品	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
遺伝子組み換え食品について	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
リタイア後、明らかに話す機会が減った。しかし残念なことに添加物や農薬、BSE 放射性物質など、一時の話題だけで去ってゆくものも多い。いずれも大事と思うが、今真剣にということでは、遺伝子組み換え食品の安全性かと思う。	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
遺伝子組換え食品に関すること	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳

④健康食品について(6件)

回答	職務経験	性別	年代
健康食品の使用に関する期待がどの程度であるのか、また健康食品をどの程度理解しているのか	その他消費者	男性	50～59歳
健康食品のあり方、食品問題のとらえ方	食品関係行政従事者	女性	50～59歳
いわゆる健康食品についてのリスク評価など	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
健康食品についてモニターさんのご意見をお聞きしてみたいです。	その他消費者	女性	50～59歳
健康食品に関すること	その他消費者	女性	40～49歳
医薬品と健康食品(またはトクホ)のエビデンスの違いについて、学生にどう説明したら良いか、考えております。	教育職経験者	男性	40～49歳



⑤食中毒について(17件)

回答	職務経験	性別	年代
食中毒について	食品生産・加工経験者	女性	30～39歳
食中毒防止対策について	食品関係行政従事者	男性	60～69歳
食中毒(ノロウイルス等)による学童や高齢者に多大な影響があり、食品生産や調理関係者の衛生意識を更に高めるにはどうしたら良いかを話し合ってみた。	食品生産・加工経験者	男性	70歳以上
ノロウイルスの食中毒を予防するにはどうするか	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
ノロウイルスに関すること	食品関係行政従事者	男性	60～69歳
ノロウイルスに効果があると言うラクトフェリンヨーグルトの宣伝が過大すぎる気がする、本当に効果があるとは思えない 鳥インフルについて人への感染、死亡率	教育職経験者	女性	40～49歳
一般的に関心の高い食品を通したウィルスの感染や健康食品について	教育職経験者	女性	40～49歳
ノロウイルス食中毒の発生原因と予防対策。その他食中毒(特にウエルシュ菌)の発生原因と予防対策。	食品生産・加工経験者	男性	70歳以上
食中毒、保存・調理上の注意事項をよりしっかり実践してもらうための動機づけをする方法	その他消費者	女性	40～49歳
食品における有害微生物(ノロウイルス等)への対応 食品表示と食品の安心・安全 食品と放射性物質の影響	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食中毒	その他消費者	女性	50～59歳
食中毒	その他消費者	女性	30～39歳
食中毒について	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食中毒について	食品流通・販売経験者	男性	30～39歳
ノロウイルス、O157、冷凍食品への農薬混入事件	食品関係行政従事者	男性	70歳以上
ノロウイルス対策	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
生食のリスクとどうつきあうか。	食品生産・加工経験者	女性	40～49歳

⑥食品添加物について(2件)

回答	職務経験	性別	年代
着色料(赤色102号)などの製造工程および危険性を知りたい。食品添加物の危険性を実験的に皆さんで体感したい。	その他消費者	女性	20～29歳
食品添加物、電子レンジによる容器包装からの溶出化学物質について	医療職経験者	女性	60～69歳

⑦農薬について(2件)

回答	職務経験	性別	年代
農薬の適正な使用方法と農作物への移行、ヒトへの影響について話し合いたい。	研究職経験者	男性	60～69歳
農薬の安全性評価について、どのように行われているのか勉強した上で、消費者の方の不安を取り除くにはどうすればよいのかを話し合いたいです。	食品生産・加工経験者	女性	30～39歳

⑧食物アレルギーについて(3件)

回答	職務経験	性別	年代
時間が短いので、難しいと思うが、アレルギー問題について交流できると良いと思う。	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
食品アレルギー	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
食物アレルギー	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳

⑨放射性物質について(17件)

回答	職務経験	性別	年代
----	------	----	----

放射能対策	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
放射性物質について	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
放射性物質に関すること。	食品関係行政従事者	女性	30～39歳
放射線関連など	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
放射性物質と食品について	教育職経験者	男性	50～59歳
放射線のリスクをどう考えるか。	研究職経験者	男性	70歳以上
放射能の除染プログラム	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食品中の放射能が基準値以下の低濃度でも将来的に体に悪影響を及ぼすと思っておる人が多く、行政もこれに対する確かな回答をしていないように思える。この問題を解決しない限り、いつまでたっても不安は消えない。このことについて話を聞きたい。	研究職経験者	男性	60～69歳
放射性物質モニタリング	研究職経験者	男性	50～59歳
「放射性物質について消費者の不安を解消するには、どうしたらよいのか？」についてのグループ分けによる話し合いで、それぞれの役割分担の重要性・責任をもって進める大切さを学ばせていただきました。この形式を引き続き行いながら、「食品添加物について」や「健康食品について」や「遺伝子組み換え食品の安全性」「加工食品の原材料など表示義務」など討議できたらと思います。	医療職経験者	女性	50～59歳
原発事故による、食物への影響など	その他消費者	女性	40～49歳
放射能汚染	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
放射性物質に関すること。食品添加物に関すること。	食品生産・加工経験者	女性	30～39歳
震災での放射能漏れ海水汚染による魚、海藻などへの蓄積	食品生産・加工経験者	女性	60～69歳
放射性物質	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
放射能汚染の現状と、規制値の決め方の妥当性について	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
その時に世間で話題になっている情報、ニュースに関するテーマ。たとえば放射性物質や農薬など。	教育職経験者	女性	40～49歳

⑩その他のハザードについて(2件)

回答	職務経験	性別	年代
環境汚染物質について	食品関係行政従事者	男性	60～69歳
器具容器からの溶出化学物質	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳

⑪リスクコミュニケーションについて(4件)

回答	職務経験	性別	年代
食品添加物・放射性物質・遺伝子組換えなど、一般的には怖いものであるから排除すべきという考えが多いと感じます。これらについて、どのように分かりやすく説明できるかを議論したらどうかと思います。(昨年の議題に似ていますが)	食品流通・販売経験者	女性	30～39歳
食品の安全について、モニターの方々でも安全と思えるレベルが違うと思うので、どの程度であれば安全と思えるかを、リスクごとにグループ内で討議してみたい。	食品生産・加工経験者	女性	40～49歳
リスコミについて	研究職経験者	男性	50～59歳
リスクコミュニケーション	食品流通・販売経験者	男性	70歳以上

⑫リスク分析・リスク管理について(4件)

回答	職務経験	性別	年代
この1年のリスク管理機関のリスク管理措置に関して具体例を挙げた上で問題点はなかったかについて情報交換したい。	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳

リスクとは何か？分析技術の高度化(今まで見えなかったものが数値化される)とゼロリスク志向をどう調和させコミュニケーションするか	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
リスク管理とそれに要するコストについて。価格転嫁された場合どこまで許容できるか。	食品生産・加工経験者	女性	30～39歳
リスク分析と管理のあり方。食品安全委員会と各行政機関における判断基準について等。	教育職経験者	男性	50～59歳

⑬情報提供のあり方等について(12件)

回答	職務経験	性別	年代
適切な情報はどのような手段で一般市民に伝達できるのか。	医療職経験者	女性	40～49歳
メディア活用による安全情報の提供(不安の伝達ではなく、食の安全に対して、正しく知り、正しく怖がることの必要性の伝達)	研究職経験者	男性	50～59歳
情報提供の具体的な方法や取り組み	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食品の誇大広告について	食品生産・加工経験者	女性	60～69歳
食品安全委員会での情報の伝達方法。食品安全の情報や活動を食品安全委員会で独自のビデオを作製し、活用して地域等に分かり安く伝えて行く。内容は対象者に合わせ視覚的な表現方法で、分かり安く制作する。	その他消費者	女性	50～59歳
一般消費者への正しい知識・認識の方法	食品流通・販売経験者	女性	50～59歳
正しく科学的な情報収集の仕方、方法。インターネット情報にも偏りがあり何が正しく何が偏った見方なのか判断しづらい。またネット環境がない人への情報提供の方策について。	食品流通・販売経験者	女性	40～49歳
正しい食品に関する知識をいかに購買行動に結び付けるか	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
消費者が食品を購入するとき、その商品に対する知るべく正確で正しい情報が不足している。	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
生産者や製造業が法改正の動向や食品関連の最新情報を確認できる役に立つ情報源について意見交換したい	食品生産・加工経験者	女性	40～49歳
「消費者、事業者、マスコミ等全ての人が、食品のリスクを正確に判断するために必要なことは何か」ということをテーマにグループ討議をしましたが、「どのようにして正しい情報入手するか・できるか」という点についてもう少し掘り下げて皆さんの意見を聞いてみたかったです。どのリスクにおいてもポイントになる点ではありますし、何をもちて正しい情報か？と考えると哲学的な話になるかもしれませんが。	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
リスク情報を一般の人に提供する場合の具体的な要領	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳

⑭食育について(2件)

回答	職務経験	性別	年代
義務教育下での食育について	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
食事は私たちの命に密接につながっている。ただ食べればよいのではなく、よりバランスよく、安全に食事が大切である。乳児から高齢者までみんなが一律同じ食生活ではありえない、年代ごとに必要となる食育を行う必要性を日々感じている。年代別の食育ということ、テーマにあるのもよいと思う。	医療職経験者	女性	40～49歳

⑮食品表示について(10件)

回答	職務経験	性別	年代
食品表示について	研究職経験者	男性	60～69歳
食品表示法の施工内容について	その他消費者	女性	50～59歳

食品のアレルギー表示の記載に関して。加工品の原材料変更時(変更内容がアレルギー表示における義務または推奨品目であった場合)食品企業としては、消費者に対するどのような考慮・配慮を行っているのか	医療職経験者	女性	40～49歳
食品表示について、伝達の方法	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食品の表示 賞味消費期限	教育職経験者	男性	70歳以上
食品表示のあり方	食品関係行政従事者	男性	60～69歳
食品の表示が示すもの、食品の本質、価値などを見抜く方法について	その他消費者	女性	50～59歳
消費者団体の活動の有効性、食品表示(サケとサーモンとらうとなど)	その他消費者	男性	40～49歳
食品の表示偽装対策等について	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
食品表示について	その他消費者	女性	50～59歳

⑩モニターの情報提供・活動のあり方について(11件)

回答	職務経験	性別	年代
隣のモニターさんがどのような活動をしているのか、事例をたくさん聞いて参考としたいです。	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
モニターとして地域活動等のようなことができるのか。	その他消費者	女性	40～49歳
食品安全のためモニターとしてそれぞれの活動の意見交換	医療職経験者	女性	30～39歳
食品安全に関する正確な情報を確保するために一般市民が行うこと。又その為に行政が取り組むこと。モニターの役割。	医療職経験者	女性	60～69歳
随時課題のテーマへの取組等の経験談	その他消費者	男性	60～69歳
各自が取り組んでいる経験談	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
モニターの地域情報活動の取り組み方。	その他消費者	男性	60～69歳
・食品の安全に関するインターネット情報の利活用について ・食品安全モニター活動を活性化するためには、何が必要か	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
地域活動や勉強会などの活動実績について	食品生産・加工経験者	女性	50～59歳
地域活動・講演会・セミナー、勉強会の場で説明講演を行ったことがない。社内の勉強会では実施したことはある。説明・講演を行う場の情報または紹介してもらえば、説明・講演を行う気持ちはある。この場合どのような働きかけをどこにしたらよいか教えてほしい。	その他消費者	男性	60～69歳
各自が取り組んでいる経験談	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳

⑪モニター会議のあり方について(9件)

回答	職務経験	性別	年代
グループ討議の時間がもう少しあれば、と感じています。	その他消費者	女性	40～49歳
グループ討議のテーマは「全ての人が食品のリスクを正確に判断するために必要なことは何か？」でした。討議の後の発表を私が担当しましたが発表時間の2分をオーバーしてストップされ非常に不愉快でした。10秒や20秒時間が伸びることが大きな支障となるのでしょうか？モニター会議はモニターの意見を聞くことも重要だと考えますが。	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳

グループ討議は不要です。初対面の人間同士で会話が弾みません。また、氏名を公開しているのでネットで検索すれば勤務先や職務内容等が特定されてしまう恐れがあり、どのレベルまで話してよいのか判断に困ります。	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
短い時間の中で、モニター会議に集まった人たちだけで、大きなテーマを、これが問題だからこうすれば、と、バタバタ意見をまとめるだけでなく、せっかく知識を持った人達が集まるのだから、問題に対してモニター個人個人で、具体的に出来ることや知識、情報の交換ができると思う。	食品生産・加工経験者	女性	40～49歳
それなりに十分議論したので、もっと話し合いたいと思ったテーマは残っていない。	研究職経験者	男性	30～39歳
グループをステークホルダー別に分け、食の安全について苦労されていることをディスカッションし、その内容を発表してもらい、スークホルダー間の共有認識とする。	食品流通・販売経験者	男性	40～49歳
グループ討議では、テーマが決められており、発表の為の討議になってしまい、すべてのグループが同じような発表をすると言う画一的な内容だった。もっと、自由に、各人が抱えている問題点を討議した方が有意義だと思う。	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
モニター会議の開催日、月、金の開催であると出席しやすい	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
昨年のモニター会議に参加したが、グループ討議のテーマが良くなかった。BSEについての知識がほとんど無く、意見も無くグループ討議が出来なかった。	食品関係行政従事者	男性	60～69歳

⑩フードディフェンスについて(3件)

回答	職務経験	性別	年代
フードディフェンスとその対策について。消費者の食品安全に対する意識向上策について	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
・フードディフェンスについて—意図的毒物等の混入を防止するには？	食品生産・加工経験者	女性	30～39歳
フードディフェンス	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳

⑪輸入食品について(2件)

回答	職務経験	性別	年代
①食料の自給を基本としながらも、輸入食品無しでは生きていけない現在の実態の中から、安全・安心を追求しなければならない。以前問題になった「カビ米」の件等々は「金(お金)」が絡んでいて、必ず利権が発生し、儲けの為に違法行為を行う体質が伺える。人の命を守る使命を認識して行動する事が重要であり、行政として目を光らせる所と考えます。農業混入の事件等はモラル以下ですが、今後とも発生する危険性が大。世界平和、人類幸福を願って生きていきたいものです。	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
輸入食品について	その他消費者	女性	60～69歳

⑫その他(15件)

回答	職務経験	性別	年代
「食品安全委員が出来ること」と、「真の食品の危険性と安全について」	食品生産・加工経験者	女性	40～49歳
課題報告書について、広く意見を汲み取ろうというより、委員会サイドの集計意図に添う方向に選択肢が作られていることが気になりました。3年間お世話になりました。	その他消費者	女性	60～69歳

東北産、福島産の農産物が必要以上に敬遠されていることについて	研究職経験者	女性	50～59歳
消費者自身は、どのような勉強をすべきか	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
食品を提供する側の立場と消費する側の立場で。	医療職経験者	女性	50～59歳
食品事業者へ望むこと	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
消費者の知りたい情報と法律とのズレを埋める方法	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
食品を扱う業者の倫理観	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
トレーサビリティ	研究職経験者	男性	50～59歳
食品テロ(農薬の意図的な混入など)の防止対策について	医療職経験者	女性	40～49歳
専門職者(医師・看護師・管理栄養士・品質管理者等)の各現場の実態と課題点	食品流通・販売経験者	男性	30～39歳
食材のバランスについて	教育職経験者	男性	70歳以上
地域活動・講演会・セミナー、勉強会の場で説明講演を行ったことがない。社内の勉強会では実施したことはある。説明・講演を行う場の情報または紹介してもらえば、説明・講演を行う気持ちはある。この場合どのような働きかけをどこにしたらよいか教えてほしい。	その他消費者	男性	60～69歳
食料自給率を上げるための取り組みについて	食品生産・加工経験者	女性	50～59歳
日本全体の食の自給率向上(広義の食の安全保障)について取り上げてほしい	その他消費者	女性	50～59歳

①特になし・無回答(108件)

回答	職務経験	性別	年代
忘れてしまいました。	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
特に無い	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
特になし	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
特にない	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
	医療職経験者	男性	60～69歳
	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
	教育職経験者	男性	50～59歳
	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
	食品流通・販売経験者	女性	30～39歳
	食品生産・加工経験者	女性	50～59歳
	食品生産・加工経験者	女性	30～39歳
	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
	その他消費者	女性	40～49歳
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	研究職経験者	男性	50～59歳
	食品生産・加工経験者	男性	70歳以上
	医療職経験者	男性	70歳以上
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	その他消費者	女性	60～69歳
	その他消費者	男性	60～69歳
	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
	研究職経験者	男性	60～69歳
	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	食品流通・販売経験者	男性	70歳以上



	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
	研究職経験者	男性	60～69歳
	医療職経験者	女性	40～49歳
	その他消費者	女性	70歳以上
	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
	研究職経験者	女性	40～49歳
	食品生産・加工経験者	女性	40～49歳
	その他消費者	男性	60～69歳
	食品生産・加工経験者	女性	50～59歳
	その他消費者	女性	50～59歳
	研究職経験者	男性	40～49歳
	その他消費者	女性	20～29歳
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	食品流通・販売経験者	男性	70歳以上
	その他消費者	女性	30～39歳
	その他消費者	女性	20～29歳
	食品流通・販売経験者	女性	50～59歳
	教育職経験者	女性	50～59歳
	食品関係行政従事者	男性	60～69歳
	その他消費者	女性	30～39歳
	食品流通・販売経験者	女性	40～49歳
	その他消費者	女性	40～49歳
	医療職経験者	女性	40～49歳
	食品流通・販売経験者	男性	30～39歳
	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
	食品関係行政従事者	男性	60～69歳
	研究職経験者	男性	70歳以上
	その他消費者	男性	50～59歳
	その他消費者	女性	40～49歳
	食品生産・加工経験者	女性	40～49歳
	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
	その他消費者	女性	30～39歳
	研究職経験者	男性	70歳以上
	医療職経験者	女性	30～39歳
	その他消費者	女性	50～59歳
	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
	その他消費者	女性	50～59歳
	その他消費者	女性	30～39歳
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	教育職経験者	男性	50～59歳
	医療職経験者	女性	60～69歳
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳

	研究職経験者	男性	60～69 歳
	教育職経験者	女性	40～49 歳
	食品生産・加工経験者	男性	30～39 歳
	研究職経験者	女性	40～49 歳
	食品流通・販売経験者	男性	70 歳以上
	教育職経験者	女性	40～49 歳
	食品流通・販売経験者	男性	20～29 歳
	食品流通・販売経験者	男性	50～59 歳
	その他消費者	女性	50～59 歳
	食品関係行政従事者	男性	60～69 歳
	食品生産・加工経験者	女性	30～39 歳
	その他消費者	女性	70 歳以上
	食品流通・販売経験者	女性	40～49 歳
	その他消費者	男性	60～69 歳
	食品流通・販売経験者	男性	60～69 歳
	食品流通・販売経験者	女性	40～49 歳
	食品流通・販売経験者	男性	60～69 歳
	食品生産・加工経験者	男性	70 歳以上
	食品生産・加工経験者	女性	40～49 歳
	食品生産・加工経験者	男性	30～39 歳
	食品生産・加工経験者	男性	40～49 歳
	教育職経験者	女性	60～69 歳
	食品生産・加工経験者	男性	60～69 歳
	研究職経験者	男性	40～49 歳
	食品生産・加工経験者	女性	50～59 歳
	医療職経験者	男性	50～59 歳
	その他消費者	女性	40～49 歳
	食品生産・加工経験者	男性	40～49 歳
	食品流通・販売経験者	男性	60～69 歳
	医療職経験者	女性	60～69 歳
	その他消費者	女性	40～49 歳
	教育職経験者	男性	40～49 歳
	食品生産・加工経験者	男性	60～69 歳
	食品生産・加工経験者	男性	60～69 歳
	食品関係行政従事者	男性	60～69 歳
	食品関係行政従事者	女性	50～59 歳
	その他消費者	女性	70 歳以上
	食品生産・加工経験者	男性	40～49 歳



(2) 欠席者が、出席していた場合話し合いたかったテーマ

(回答者数=121人、うち83人空欄)

① 食品安全について(3件)

回答	職務経験	性別	年代
食品安全の確保は交通事故防止等の安全確保と比べて高い優先順位を持って施策が講じられているように思われるが、その妥当性について、食品以外のわれわれの安全を脅かす事象に対する安全確保の努力と比較しながら議論してみたい。	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
日本全国で汚染されつつある海からの食べ物をより安全に摂取する方法	食品流通・販売経験者	女性	40～49歳
食品の安全性に関する一般的なことを、様々な考えをお持ちの方と話してみたい。	食品流通・販売経験者	女性	40～49歳

② 健康食品について(3件)

回答	職務経験	性別	年代
健康食品について海外情報、特に有効性クレームについて日本側対応比較検討したい。	食品流通・販売経験者	男性	40～49歳
健康食品の規制	食品関係行政従事者	男性	60～69歳
酵素や抗酸化力をうたう健康食品や食べ方	その他消費者	女性	40～49歳

③ 食中毒について(2件)

回答	職務経験	性別	年代
大規模な食中毒等の緊急事態の発生	食品関係行政従事者	男性	60～69歳
ノロウイルスに汚染された各種食品中の消長(増殖、静菌、死滅?)	研究職経験者	男性	60～69歳

④ 放射性物質について(4件)

回答	職務経験	性別	年代
食品の放射能測定における測定法と安全性について食品の放射能測定は、しっかりした検査機関で測定したもの、個人、企業で簡易型での測定など様々ありますが、市場に出回るのは、安全基準をクリアした事やその測定値のみです。これでは本当に安全なのか分かりません。どのような方法で、(特に簡易型はしっかりした測定方法か?)、全数検査なのか?それとも抜きとり検査、サンプリング頻度など、明確にして市場に流通させてほしいと思います。	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
放射性物質の事故発生時からいままでの食品に対する変化(原発由来の海産物への汚染)	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
放射能の健康への影響について	食品流通・販売経験者	男性	20～29歳
福島原発事故後の農水産物の安全性	医療職経験者	女性	50～59歳

⑤ その他のハザードについて(6件)

回答	職務経験	性別	年代
食品添加物、農薬	食品流通・販売経験者	男性	70歳以上
国内における遺伝子組み換え食品の安全性の確認の状況。	その他消費者	女性	40～49歳
農薬に関して	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
メチル水銀、ヒ素の基準について	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
アレルギー物質の取扱いについて	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳

今年、積極的に周りの人々に情報提供してゆきたいです。PM2.5の食品への影響は大変興味があるので、より多くの情報を得たいです。友人知人も知りたがっています。	その他消費者	女性	40～49歳
--	--------	----	--------

⑥情報提供のあり方等について(8件)

回答	職務経験	性別	年代
食品安全委員会からの情報の地域への伝達・普及について(実践状況等)	その他消費者	女性	30～39歳
世の中の一般的な食品安全に対する認識と認識向上に向けた方法	医療職経験者	女性	30～39歳
情報の伝達、周知の方法	その他消費者	男性	50～59歳
情報を正確に伝える方法	その他消費者	女性	40～49歳
今後も、メールによる最新の情報提供が良いです。子供や高齢者向けの、分かりやすい情報表示も宜しくお願いします。	その他消費者	男性	30～39歳
食品関係の取扱いで注意しなければならない最新の確かな情報を知るための方法	食品生産・加工経験者	女性	30～39歳
普段の食事にもリスクがある、添加物や農薬や放射能ばかりが危険なわけではない。そのあたりを分かりやすく説明できる資料をいただけると嬉しいです	食品生産・加工経験者	女性	30～39歳
特に地域活動の一環として食の安全に関する情報提供する場合のトリガーは何かあり、どのようなアプローチが出来るのか?	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳

⑦食品安全モニターの活動等について(4件)

回答	職務経験	性別	年代
食品安全モニターの役割について	食品生産・加工経験者	男性	40～49歳
食品安全に関する情報を普及させるために自分たちができる活動について	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
食品安全モニターの活動の現状	医療職経験者	女性	60～69歳
グループで最も話したいテーマは国、県、市町村で存在している食品モニターの人たちの情報共有についてです。地方によって最重要テーマは変わると思います。また、グループ討議が盛り上がらない理由は国からの押し付けでかつ突然のテーマを初対面の人に短時間でされるからだと思います。面白くありませんし達成感もありませんので、ご一考願います。	研究職経験者	男性	60～69歳

⑧その他(7件)

回答	職務経験	性別	年代
そもそも食品安全委員会に対しての意見をみんなで話し合うべきだと思う。	食品流通・販売経験者	男性	30～39歳
食品流通時の保管管理条件等	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
TTPが締結後の輸入食品の残留農薬量許容量について大変関心がありますので、次回モニター会議の議題にして頂きたいと思っております。	教育職経験者	男性	30～39歳
災害用備蓄食品と食品安全	研究職経験者	男性	60～69歳
昨年、フードディフェンスという話を聞いたことがあり、それについて話してみたいと思いました。しかし、私自身は詳しい知識もありませんので、モニター会議で豊富な知識や見解をお持ちの方々のお話を聞いてみたいと思っておりました。しかし、事情があり参加できませんでした。そして、年末に冷凍食品工場での薬物混入の事件が起こり、さまざまな状況や憶測がメディアで流れ、私の周りでも十分に理解できないままに、冷凍食品=もう使えない、使わない、危険などと騒がしい様子でした。きっと、多くの企業ではフードディフェンスの対策をされていることかと思えます。しかし、ひとつ	その他消費者	女性	40～49歳

事件が起こってしまうと、たちまち大騒ぎになってしまうのが昨今です。そのようなことも含めて、モニターとしてまた、個人としてどう考え、理解して周りに貢献できるのかを考えてみたいと思いました。			
モニター会議に是非参加したいのですが平日は仕事の都合上無理です。	研究職経験者	男性	40～49 歳
25年度のモニター会議は天候が悪くて出席出来ませんでした	食品生産・加工経験者	女性	70 歳以上

⑨特になし・無回答(84 件)

回答	職務経験	性別	年代
特になし	医療職経験者	女性	40～49 歳
	食品関係行政従事者	男性	60～69 歳
	その他消費者	女性	50～59 歳
	その他消費者	男性	60～69 歳
	教育職経験者	男性	60～69 歳
	研究職経験者	男性	40～49 歳
	その他消費者	女性	50～59 歳
	医療職経験者	女性	30～39 歳
	その他消費者	女性	50～59 歳
	その他消費者	女性	40～49 歳
	食品生産・加工経験者	女性	40～49 歳
	その他消費者	女性	50～59 歳
	食品流通・販売経験者	男性	40～49 歳
	食品関係行政従事者	男性	60～69 歳
	食品流通・販売経験者	女性	50～59 歳
	食品生産・加工経験者	男性	60～69 歳
	食品生産・加工経験者	女性	30～39 歳
	その他消費者	女性	30～39 歳
	食品関係行政従事者	男性	60～69 歳
	その他消費者	男性	50～59 歳
	教育職経験者	男性	60～69 歳
	医療職経験者	女性	30～39 歳
	食品生産・加工経験者	女性	30～39 歳
	研究職経験者	男性	40～49 歳
	教育職経験者	女性	60～69 歳
	食品生産・加工経験者	男性	40～49 歳
	食品流通・販売経験者	男性	30～39 歳
	その他消費者	女性	60～69 歳
	その他消費者	男性	40～49 歳
	食品生産・加工経験者	男性	40～49 歳
	食品生産・加工経験者	女性	40～49 歳
	食品生産・加工経験者	男性	40～49 歳
	食品流通・販売経験者	女性	30～39 歳
	医療職経験者	女性	50～59 歳
	研究職経験者	男性	30～39 歳
	教育職経験者	女性	30～39 歳

	食品生産・加工経験者	男性	60～69歳
	その他消費者	女性	40～49歳
	その他消費者	男性	30～39歳
	その他消費者	女性	30～39歳
	食品関係行政従事者	女性	40～49歳
	食品生産・加工経験者	女性	40～49歳
	医療職経験者	女性	50～59歳
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	食品生産・加工経験者	女性	30～39歳
	その他消費者	女性	40～49歳
	教育職経験者	男性	60～69歳
	食品関係行政従事者	女性	30～39歳
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	食品流通・販売経験者	女性	50～59歳
	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
	食品生産・加工経験者	男性	50～59歳
	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
	食品流通・販売経験者	女性	30～39歳
	食品生産・加工経験者	女性	40～49歳
	その他消費者	女性	30～39歳
	その他消費者	男性	40～49歳
	研究職経験者	男性	40～49歳
	教育職経験者	女性	60～69歳
	その他消費者	男性	40～49歳
	研究職経験者	女性	50～59歳
	研究職経験者	男性	40～49歳
	医療職経験者	男性	50～59歳
	その他消費者	女性	50～59歳
	食品流通・販売経験者	男性	60～69歳
	食品生産・加工経験者	男性	30～39歳
	教育職経験者	女性	60～69歳
	食品流通・販売経験者	男性	50～59歳
	食品関係行政従事者	男性	50～59歳
	食品生産・加工経験者	女性	40～49歳
	医療職経験者	女性	30～39歳
	その他消費者	女性	30～39歳
	教育職経験者	女性	40～49歳
	その他消費者	女性	40～49歳
	食品流通・販売経験者	男性	40～49歳
	医療職経験者	男性	40～49歳
	医療職経験者	男性	30～39歳
	医療職経験者	女性	40～49歳
	教育職経験者	女性	50～59歳
	その他消費者	女性	40～49歳
	医療職経験者	女性	50～59歳

	教育職経験者	男性	60～69 歳
	食品関係行政従事者	男性	60～69 歳
	医療職経験者	男性	60～69 歳

## 統計表

問 1.1 食品安全委員会から入手した情報Aの家族への提供の有無

	全体	何度も話している(回数目安: 4回以上。以下同じ。)	話したことが1~3回程度ある	話したことがない	無回答・無効回答
合計	381	57.2	38.1	4.7	0.0

問 1.2 食品安全委員会から入手した情報Bの家族への提供の有無

	全体	何度も話している(回数目安: 4回以上。以下同じ。)	話したことが1~3回程度ある	話したことがない	無回答・無効回答
合計	381	12.1	48.6	39.1	0.3

問 1.3 食品安全委員会から入手した情報Cの家族への提供の有無

	全体	何度も話している(回数目安: 4回以上。以下同じ。)	話したことが1~3回程度ある	話したことがない	無回答・無効回答
合計	381	15.2	52.2	32.3	0.3

問 1.4 食品安全委員会から入手した情報Dの家族への提供の有無

	全体	何度も話している(回数目安: 4回以上。以下同じ。)	話したことが1~3回程度ある	話したことがない	無回答・無効回答
合計	381	17.6	45.9	36.0	0.5

問 2.1 「家族に話したことがある」情報Aについて、話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報

	全体	モニター会議に出席して得た情報	モニター会議以外の、食品安全委員会が主催する意見交換会、説明会等に出席して得た情報	食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報	食品安全委員会のメールマガジンから得た情報(1~3回以外の情報に限る。)	1~4以外の、食品安全委員会のホームページから得た情報	科学的な情報誌(専門書・学術誌等)から得た情報	新聞・テレビのニュース(これらのニュースサイトを含む)から得た情報	上記以外のテレビ番組・週刊誌等から得た情報	他省庁・地方自治体のホームページから得た情報	5・9以外のインターネットから得た情報
合計	363	55.4	24.2	73.3	54.5	26.7	38.0	66.9	32.5	44.1	28.7
	その他	無回答・無効回答									
	6.6	1.1									

問 2.2 「家族に話したことがある」情報 B について、話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報

	全体	モニター 会議に出席して得た情報	モニター 会議以外の、食品 安全委員会が主催 等する意見交換 会、説明会等に 出席して得た情報	食品安全 委員会から送付 された季刊誌や パンフレット等 の資料から得た 情報	食品安全 委員会のメール マガジンから得 た情報(1~3以 外の情報に限 る。)	1~4以 外の、食品安全 委員会のホーム ページから得た 情報	科学的な 情報誌(専門書・ 学術誌等)から 得た情報	新聞・テ レビのニ ュース(これら のニュースサイ トを含む)から 得た情報	上記以外 のテレビ番組・ 週刊誌等から 得た情報	他省庁・ 地方自治体の ホームページ から得た情報	5・9以外 のインター ネットから得 た情報
合計	231	57.1	24.7	61.9	53.2	29.4	26.8	42.4	19.9	41.6	17.3
		その他	無回答・ 無効回答								
		5.2	2.6								

問 2.3 「家族に話したことがある」情報 C について、話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報

	全体	モニター 会議に出席して得た情報	モニター 会議以外の、食品 安全委員会が主催 等する意見交換 会、説明会等に 出席して得た情報	食品安全 委員会から送付 された季刊誌や パンフレット等 の資料から得た 情報	食品安全 委員会のメール マガジンから得 た情報(1~3以 外の情報に限 る。)	1~4以 外の、食品安全 委員会のホーム ページから得た 情報	科学的な 情報誌(専門書・ 学術誌等)から 得た情報	新聞・テ レビのニ ュース(これら のニュースサイ トを含む)から 得た情報	上記以外 のテレビ番組・ 週刊誌等から 得た情報	他省庁・ 地方自治体の ホームページ から得た情報	5・9以外 のインター ネットから得 た情報
合計	257	70.8	22.2	61.1	41.6	22.6	26.5	45.1	18.3	31.1	15.6
		その他	無回答・ 無効回答								
		4.3	3.5								

問 2.4 「家族に話したことがある」情報 D について、話す際に役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報

	全体	モニター 会議に出席して得た情報	モニター 会議以外の、食品 安全委員会が主催 等する意見交換 会、説明会等に 出席して得た情報	食品安全 委員会から送付 された季刊誌や パンフレット等 の資料から得た 情報	食品安全 委員会のメール マガジンから得 た情報(1~3以 外の情報に限 る。)	1~4以 外の、食品安全 委員会のホーム ページから得た 情報	科学的な 情報誌(専門書・ 学術誌等)から 得た情報	新聞・テ レビのニ ュース(これら のニュースサイ トを含む)から 得た情報	上記以外 のテレビ番組・ 週刊誌等から 得た情報	他省庁・ 地方自治体の ホームページ から得た情報	5・9以外 のインター ネットから得 た情報
合計	242	33.5	20.7	54.5	47.5	24.8	36.4	57.9	22.3	41.3	24.4
		その他	無回答・ 無効回答								
		4.1	4.5								

問 3.1 「家族に話したことがない」情報Aについて、平成 25 年 4 月以降、話したことがない理由

	全体	話すべき情報を持っていないから	情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから	家族が興味を持っていないから	機会があれば話したいが、機会がないから	自分自身が話したくないから	モニター会議や説明会に出席していないので、わからない(情報Cのみの選択肢)	その他	無回答・無効回答
合計	18	-	11.1	50.0	27.8	-	-	11.1	0.0

問 3.2 「家族に話したことがない」情報 B について、平成 25 年 4 月以降、話したことがない理由

	全体	話すべき情報を持っていないから	情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから	家族が興味を持っていないから	機会があれば話したいが、機会がないから	自分自身が話したくないから	モニター会議や説明会に出席していないので、わからない(情報Cのみの選択肢)	その他	無回答・無効回答
合計	149	13.4	17.4	62.4	24.2	2.0	-	2.7	5.4

問 3.3 「家族に話したことがない」情報 C について、平成 25 年 4 月以降、話したことがない理由

	全体	話すべき情報を持っていないから	情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないか	家族が興味を持っていないから	機会があれば話したいが、機会がないから	自分自身が話したくないから	モニター会議や説明会に出席していないので、わからない(情報Cのみの選択肢)	その他	無回答・無効回答
合計	123	18.7	12.2	34.1	21.1	2.4	27.6	1.6	7.3

問 3.4 「家族に話したことがない」情報 D について、平成 25 年 4 月以降、話したことがない理由

	全体	話すべき情報を持っていないから	情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないか	家族が興味を持っていないから	機会があれば話したいが、機会がないから	自分自身が話したくないから	モニター会議や説明会に出席していないので、わからない(情報Cのみの選択肢)	その他	無回答・無効回答
合計	137	26.3	24.1	40.1	19	2.2	-	2.2	9.5

問 4.1 食品安全委員会から入手した情報Aの、友人・隣人(近所や親戚等、お知り合いの方を含む。以下同じ。)、職場の同僚等への提供の有無

	全体	何度も話している	話したことが1~3回程度ある	話したことがない	無回答・無効回答
合計	381	49.6	40.7	9.7	0.0



問 4.2 食品安全委員会から入手した情報 B の、友人・隣人(近所や親戚等、お知り合いの方を含む。以下同じ。)、職場の同僚等への提供の有無

	全体	何度も話している	話したことが1～3回程度ある	話したことがない	無回答・無効回答
合計	381	18.6	44.4	36.7	0.3

問 4.3 食品安全委員会から入手した情報 C の、友人・隣人(近所や親戚等、お知り合いの方を含む。以下同じ。)、職場の同僚等への提供の有無

	全体	何度も話している	話したことが1～3回程度ある	話したことがない	無回答・無効回答
合計	381	18.6	43.0	38.1	0.3

問 4.4 食品安全委員会から入手した情報 D の、友人・隣人(近所や親戚等、お知り合いの方を含む。以下同じ。)、職場の同僚等への提供の有無

	全体	何度も話している	話したことが1～3回程度ある	話したことがない	無回答・無効回答
合計	381	21.3	39.9	38.1	0.8

問 5.1 「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがある」情報 A について、話す際に役に立ったと考える情報

	全体	モニター会議に出席して得た情報	モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する説明会等に出席して得た情報	食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報	食品安全委員会のメールマガジンから得た情報(1～3以外の情報に限る。)	1～4以外の、食品安全委員会のホームページから得た情報	科学的な情報誌(専門書・学術誌等)から得た情報	新聞・テレビのニュース(これらのニュースサイトを含む)から得た情報	上記以外のテレビ番組・週刊誌等から得た情報	他省庁・地方自治体のホームページから得た情報	5・9以外のインターネットから得た情報
合計	344	54.1	25.6	68.3	57.0	27.6	38.7	61.3	27.9	46.8	23.8
		その他	無回答・無効回答								
		5.2	1.7								

問 5.2 「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがある」情報 B について、話す際に役に立ったと考える情報

	全体	モニター会議に出席して得た情報	モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する説明会等に出席して得た情報	食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報	食品安全委員会のメールマガジンから得た情報(1～3以外の情報に限る。)	1～4以外の、食品安全委員会のホームページから得た情報	科学的な情報誌(専門書・学術誌等)から得た情報	新聞・テレビのニュース(これらのニュースサイトを含む)から得た情報	上記以外のテレビ番組・週刊誌等から得た情報	他省庁・地方自治体のホームページから得た情報	5・9以外のインターネットから得た情報
合計	240	61.7	28.3	68.3	53.8	30.4	30.0	45.8	18.3	42.9	19.2
		その他	無回答・無効回答								
		4.2	1.7								

問 5.3 「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがある」情報 C について、話す際に役に立ったと考える情報

	全体	モニター会議に出席して得た情報	モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する説明会等に出席して得た情報	食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報	食品安全委員会のメールマガジンから得た情報(1~3以外の情報に限る。)	1~4以外の、食品安全委員会のホームページから得た情報	科学的な情報誌(専門書・学術誌等)から得た情報	新聞・テレビのニュース(これらのニュースサイトを含む)から得た情報	上記以外のテレビ番組・週刊誌等から得た情報	他省庁・地方自治体のホームページから得た情報	5・9以外のインターネットから得た情報
合計	235	69.8	29.4	60.9	52.3	26	34.5	45.5	15.7	41.3	21.3
		その他	無回答・無効回答								
		4.7	2.6								

問 5.4 「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがある」情報 D について、話す際に役に立ったと考える情報

	全体	モニター会議に出席して得た情報	モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する説明会等に出席して得た情報	食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報	食品安全委員会のメールマガジンから得た情報(1~3以外の情報に限る。)	1~4以外の、食品安全委員会のホームページから得た情報	科学的な情報誌(専門書・学術誌等)から得た情報	新聞・テレビのニュース(これらのニュースサイトを含む)から得た情報	上記以外のテレビ番組・週刊誌等から得た情報	他省庁・地方自治体のホームページから得た情報	5・9以外のインターネットから得た情報
合計	233	41.6	24.5	59.7	57.9	31.8	43.8	54.1	21.5	49.8	30.9
		その他	無回答・無効回答								
		4.3	2.1								

問 6.1 「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない」情報 A について、平成 25 年 4 月以降、話したことがない理由

	全体	話すべき情報を持っていないから	情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから	周りが興味を持っていないから	機会があれば話したいが、機会がないから	自分自身が話したくないから	モニター会議や説明会に出席していないので、わからない(情報 C のみの選択肢)	その他	無回答・無効回答
合計	37	8.1	18.9	37.8	54.1	8.1	-	5.4	2.7

問 6.2 「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない」情報 B について、平成 25 年 4 月以降、話したことがない理由

	全体	話すべき情報を持っていないから	情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから	周りが興味を持っていないから	機会があれば話したいが、機会がないから	自分自身が話したくないから	モニター会議や説明会に出席していないので、わからない(情報 C のみの選択肢)	その他	無回答・無効回答
合計	140	18.6	26.4	46.4	27.9	5.0	-	2.1	5.7

問 6.3 「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない」情報C について、平成 25 年 4 月以降、話したことがない理由

	全体	話すべき情報を持っていないから	情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから	周りが興味を持っていないから	機会があれば話したいが、機会がないから	自分自身が話したくないから	モニター会議や説明会に出席していないので、わからない(情報Cのみの選択肢)	その他	無回答・無効回答
合計	145	18.6	19.3	31.0	27.6	4.1	19.3	1.4	6.9

問 6.4 「友人・隣人、職場の同僚等に話したことがない」情報D について、平成 25 年 4 月以降、話したことがない理由

	全体	話すべき情報を持っていないから	情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないか	周りが興味を持っていないから	機会があれば話したいが、機会がないから	自分自身が話したくないから	モニター会議や説明会に出席していないので、わからない(情報Cのみの選択肢)	その他	無回答・無効回答
合計	145	27.6	31.7	35.2	26.2	3.4	-	1.4	6.9

問 7.1 情報A について、回答者が食品安全モニターになって以降の、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等での説明・講演経験の有無

	全体	何度も説明・講演等を行ったことがある	説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある	説明・講演等を行ったことがない	無回答・無効回答
合計	381	19.2	31.2	49.3	0.3

問 7.2 情報B について、回答者が食品安全モニターになって以降の、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等での説明・講演経験の有無

	全体	何度も説明・講演等を行ったことがある	説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある	説明・講演等を行ったことがない	無回答・無効回答
合計	381	10.0	21.0	68.8	0.3

問 7.3 情報C について、回答者が食品安全モニターになって以降の、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等での説明・講演経験の有無

	全体	何度も説明・講演等を行ったことがある	説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある	説明・講演等を行ったことがない	無回答・無効回答
合計	381	7.3	19.9	71.9	0.8

問 7.4 情報D について、回答者が食品安全モニターになって以降の、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等での説明・講演経験の有無

	全体	何度も説明・講演等を行ったことがある	説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある	説明・講演等を行ったことがない	無回答・無効回答
合計	381	9.2	17.6	72.7	0.5

問 8.1 「説明・講演等を行ったことがある」情報Aについて、講演等の際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料

	全体	モニター会議における配布資料	モニター会議以外の、食品安全委員会が主催する説明会・意見交換会等において用いたスライド(パワーポイント)資料	食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報(Q&Aなど。1及び2を除く。)	食品安全委員会の季刊誌、パンフレット	食品安全委員会のメールマガジン	1～5以外の、食品安全委員会のホームページから得た資料	自分で作成した資料	科学的な情報誌(専門書・学術誌等)から得た資料	新聞・テレビのニュース(これらのニュースサイトを含む)から得た資料	上記以外のテレビの番組・週刊誌等から得た資料
合計	192	35.9	26.0	49.5	57.3	38.0	12.0	49.0	39.1	36.5	10.9
		他省庁・地方自治体のホームページから得た資料	5・9以外のインターネットから得た資料	その他の資料	相手の理解が深まったと考えられる資料はない	資料の配布等はない	無回答・無効回答				
		46.9	33.3	9.4	2.1	4.7	1.6				

問 8.2 「説明・講演等を行ったことがある」情報 B について、講演等の際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料

	全体	モニター会議における配布資料	モニター会議以外の、食品安全委員会が主催する説明会・意見交換会等において用いたスライド(パワーポイント)資料	食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報(Q&Aなど。1及び2を除く。)	食品安全委員会の季刊誌、パンフレット	食品安全委員会のメールマガジン	1～5以外の、食品安全委員会のホームページから得た資料	自分で作成した資料	科学的な情報誌(専門書・学術誌等)から得た資料	新聞・テレビのニュース(これらのニュースサイトを含む)から得た資料	上記以外のテレビの番組・週刊誌等から得た資料
合計	118	45.8	33.9	57.6	51.7	38.1	11.9	37.3	37.3	36.4	10.2
		他省庁・地方自治体のホームページから得た資料	5・9以外のインターネットから得た資料	その他の資料	相手の理解が深まったと考えられる資料はない	資料の配布等はない	無回答・無効回答				
		42.4	19.5	5.1	2.5	5.9	2.5				

問 8.3 「説明・講演等を行ったことがある」情報 C について、講演等の際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料

	全体	モニター会議における配布資料	モニター会議以外の、食品安全委員会が主催する説明会・意見交換会等において用いたスライド（パワーポイント）資料	食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報（Q&Aなど。1及び2を除く。）	食品安全委員会の季刊誌、パンフレット	食品安全委員会のメールマガジン	1～5以外の、食品安全委員会のホームページから得た資料	自分で作成した資料	科学的な情報誌（専門書・学術誌等）から得た資料	新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た資料	上記以外のテレビの番組・週刊誌等から得た資料
合計	104	53.8	35.6	61.5	57.7	48.1	8.7	38.5	38.5	40.4	9.6
		他省庁・地方自治体のホームページから得た資料	5・9以外のインターネットから得た資料	その他の資料	相手の理解が深まったと考えられる資料はない	資料の配布等はない	無回答・無効回答				
		47.1	33.7	6.7	2.9	2.9	1.9				

問 8.4 「説明・講演等を行ったことがある」情報 D について、講演等の際に配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料

	全体	モニター会議における配布資料	モニター会議以外の、食品安全委員会が主催する説明会・意見交換会等において用いたスライド（パワーポイント）資料	食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報（Q&Aなど。1及び2を除く。）	食品安全委員会の季刊誌、パンフレット	食品安全委員会のメールマガジン	1～5以外の、食品安全委員会のホームページから得た資料	自分で作成した資料	科学的な情報誌（専門書・学術誌等）から得た資料	新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た資料	上記以外のテレビの番組・週刊誌等から得た資料
合計	102	35.3	26.5	59.8	50.0	45.1	10.8	44.1	41.2	39.2	9.8
		他省庁・地方自治体のホームページから得た資料	5・9以外のインターネットから得た資料	その他の資料	相手の理解が深まったと考えられる資料はない	資料の配布等はない	無回答・無効回答				
		54.9	35.3	9.8	3.9	4.9	2.9				

問 9 食品安全委員会から情報の提供があった場合、家族や友人・隣人、職場の同僚等にもっと話したいと思うテーマ

	全体	食品安全委員会の活動内容	上記1に限らず、食品安全行政の仕組み、食品の安全性を守る取り組み	「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量による」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、といった、食品の安全性に関する一般的なこと	食中毒を起こさないための食品の保存や調理に関する一般的なこと	食品における有害微生物(細菌等)、ウイルス等に関すること	BSE(伝達性牛海綿状脳症)に関すること	食品添加物に関すること	放射性物質に関すること	農業に関すること	汚染物質(メチル水銀、カドミウム、ヒ素等)に関すること
合計	381	30.2	37.0	65.6	68.8	57.2	24.7	61.4	54.1	49.3	29.9
		器具・容器包装からの溶出化学物質に関すること	遺伝子組換え食品等に関すること	いわゆる健康食品に関すること	大規模な食中毒等の緊急事態の発生に関すること	その他	話すつもりはない、現状より話す機会を増やすことは考えていない	無回答・無効回答			
		31.5	43.8	54.1	42.5	7.9	1.6	0.5			

問 10 食品安全委員会から情報の提供があった場合、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で説明・講演等を行いたいと考えるテーマ

	全体	食品安全委員会の活動内容	上記1に限らず、食品安全行政の仕組み、食品の安全性を守る取り組み	「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、といった、食品の安全性に関する一般的なこと	食中毒を起こさないための食品の保存や調理に関する一般的なこと	食品における有害微生物(細菌等)、ウイルス等に関すること	BSE(伝達性牛海綿状脳症)に関すること	食品添加物に関すること	放射性物質に関すること	農業に関すること	汚染物質(メチル水銀、カドミウム、ヒ素等)に関すること
合計	381	21.3	27.6	47.5	46.5	39.1	15.0	44.6	36.0	35.7	18.9
		器具・容器包装からの溶出化学物質に関すること	遺伝子組換え食品等に関すること	いわゆる健康食品に関すること	大規模な食中毒等の緊急事態の発生に関すること	その他	説明・講演等を行うことは考えていない	無回答・無効回答			
		19.7	31.8	36.7	30.4	5.5	17.6	0.3			

問 11 平成 25 年度のモニター会議のグループ討議で、もっと話し合いたいと思ったテーマ

	全体	平成 25 年 度モニター 会議に出 席した	平成 25 年 度モニター 会議を欠 席した	無回答・無 効回答
合計	381	68.2	31.8	0.0

平成 25 年度第 2 回食品安全モニター課題報告  
「食品安全委員会から入手した情報の利用等について」

1 食品安全委員会から入手した情報の利用について

食品安全委員会から、食品安全モニター会議（以下「モニター会議」という。）、ホームページ、メールマガジン、季刊誌、説明会への出席その他の手段により得た以下の情報（下記の囲み内のA～D）について、あなたが行った情報提供について伺います。以下の問にお答え下さい。

【情報】

A 「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、「食中毒予防のためには十分な加熱や手洗い、適切な保存が重要である」等、食品の安全性・食生活に関する一般的な情報

B リスク分析（アナリシス）の仕組み、食品安全委員会と各リスク管理機関の役割等、食品の安全性を確保する行政の取組に関する情報

C モニター会議や、それ以外に食品安全委員会が行った説明会等（ご自身が出席したものに限る）において取り上げられた、特定のハザード※や個別の食品健康影響評価に関する情報

D 上記C以外の、特定のハザードや個別の食品健康影響評価に関する情報

※農薬、食品添加物、化学物質・汚染物質（メチル水銀等）、遺伝子組換え食品等をいう。

問 1 は全員お答え下さい。

問 1 あなたは平成 25 年 4 月以降、情報 A～Dについて、家族に話したことがありますか。情報 A～D ごとに、当てはまるものを選択肢 1～3 の中から 1 つずつ選んで下さい。

【選択肢】

- 1 何度も話している（回数の目安：4回以上。以下同じ。）
- 2 話したことが1～3回程度ある
- 3 話したことがない



問1で、情報A～Dのうち、

- ・ 1 何度も話している、2 話したことが1～3回程度あるを選択した情報については、問2をお答え下さい。
- ・ 3 話したことがないを選択した情報については、問3をお答え下さい。

問2 問1で、情報A～Dのうち、「1（何度も話している）」又は「2（話したことが1～3回程度ある）」を選択した情報についてお伺いします。

あなたが家族に対し、問1で「1（何度も話している）」又は「2（話したことが1～3回程度ある）」を選択したA～Dの情報を話した際に、役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、どのようなものですか。  
情報A～Dごとに、選択肢1～7の中から当てはまるものを全て選択して下さい。

**【選択肢】**

- 1 モニター会議に出席して得た情報
- 2 モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する意見交換会、説明会等に参加して得た情報
- 3 食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報
- 4 食品安全委員会のメールマガジンから得た情報（1～3以外の情報に限る。）
- 5 1～4以外の、食品安全委員会のホームページから得た情報
- 6 科学的な情報誌（専門書・学術誌等）から得た情報
- 7 新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た情報
- 8 上記以外のテレビ番組・週刊誌等から得た情報
- 9 他省庁・地方自治体のホームページから得た情報
- 10 5・9以外のインターネットから得た情報
- 11 その他（具体的に記入）

問3 問1で、情報A～Dのうち、「3（話したことがない）」を選択した情報についてお伺いします。

あなたが問1で「3（話したことがない）」を選択した情報について、平成25年4月以降、家族に話したことがない理由は何ですか。情報A～Dごとに、最も近いものを選択肢1～7の中から1つずつお選び下さい。

**【選択肢】**

- 1 話すべき情報を持っていないから
- 2 情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから
- 3 家族が興味を持っていないから
- 4 機会があれば話したいが、機会がないから
- 5 自分自身が話したくないから
- 6 モニター会議や説明会に出席していないので、わからない（情報Cのみの選択肢）
- 7 その他（具体的に記入）

問4は全員お答え下さい。

問4 あなたは平成25年4月以降、情報A～Dについて、友人・隣人（近所や親戚等、お知り合いの方を含む。以下同じ。）、職場の同僚等に話したことがありますか。情報A～Dごとに、当てはまるものを選択肢1～3の中から1つずつ選んで下さい。

**【選択肢】**

- 1 何度も話している
- 2 話したことが1～3回程度ある
- 3 話したことがない

問4で、情報A～Dのうち、

- ・ 1 何度も話している、2 話したことが1～3回程度あるを選択した情報については、問5をお答え下さい。
- ・ 3 話したことがないを選択した情報については、問6をお答え下さい。

問5 問4で、情報A～Dのうち、「1（何度も話している）」又は「2（話したことが1～3回程度ある）」を選択した情報についてお伺いします。

あなたが友人・隣人、職場の同僚等に対し、問4で「1（何度も話している）」又は「2（話したことが1～3回程度ある）」を選択したA～Dの情報を話した際に、あなたが役に立ったと考える食品安全委員会等からの情報は、どのようなものですか。情報A～Dごとに、選択肢1～7の中から当てはまるものを全て選択して下さい。

**【選択肢】**

- 1 モニター会議に出席して得た情報
- 2 モニター会議以外の食品安全委員会が主催等する説明会等に出席して得た情報
- 3 食品安全委員会から送付された季刊誌やパンフレット等の資料から得た情報
- 4 食品安全委員会のメールマガジンから得た情報（1～3以外の情報に限る。）
- 5 1～4以外の、食品安全委員会のホームページから得た情報
- 6 科学的な情報誌（専門書・学術誌等）から得た情報
- 7 新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た情報
- 8 上記以外のテレビ番組・週刊誌等から得た情報
- 9 他省庁・地方自治体のホームページから得た情報
- 10 5・9以外のインターネットから得た情報
- 11 その他（具体的に）

問6 問4で、情報A～Dのうち、「3（話したことがない）」を選択した情報についてお伺いいたします。

あなたが問4で「3（話したことがない）」を選択した情報について、平成25年4月以降、友人、隣人、職場の同僚等に話したことがない理由は何ですか。情報A～Dごとに、最も近いものを選択肢1～7の中から1つずつお選び下さい。

**【選択肢】**

- 1 話すべき情報を持っていないから
- 2 情報は持っているが、人に話せるほど自分の知識が十分でないから
- 3 周りが興味を持っていないから
- 4 機会があれば話したいが、機会がないから
- 5 自分自身が話したくないから
- 6 モニター会議や説明会に出席していないので、わからない（情報Cのみの選択肢）
- 7 その他（具体的に記入）

問7は全員お答え下さい。

問7 あなたは、食品安全モニターになってから、情報A～Dについて、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で説明・講演を行った（\*）ことがありますか。情報A～Dごとに、選択肢1～3の中から1つずつお選び下さい。

\* 「地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で説明・講演」は、あなたが主な話し手となって、3人以上の方に対してあなたの知識等を伝えるような場を想定しています。（問8以降においても同じ）

**【選択肢】**

- 1 何度も説明・講演等を行ったことがある
- 2 説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある
- 3 説明・講演等を行ったことがない

問7で、情報A～Dのうち、

- ・ **1** 何度も説明・講演等を行ったことがある、**2** 説明・講演等を行ったことが1～3回程度あるを選択した情報については、**問8**をお答え下さい。
- ・ 情報A～Dの全部について**3** 説明・講演等を行っていないを選択した方は、**問9**にお進み下さい。

**問8** 問7で、情報A～Dのうち、「1（何度も説明・講演等を行ったことがある）又は「2（説明・講演等を行ったことが1～3回程度ある）」を選択した情報についてお伺いします。

あなたが選択した情報A～Dについて、問7のような複数の人に対しての説明・講演等を行った際、配布や提示、回覧等をしたことで、相手の理解が深まったと考える資料はどのようなものですか。情報A～Dごとに、選択肢1～10の中から、当てはまるものを全て選択して下さい。（配布等したが、相手の理解を深めるのに有用でなかったと考える資料は選択しないでください。）

**【選択肢】**

- 1 モニター会議における配布資料
- 2 モニター会議以外の、食品安全委員会が主催等する説明会・意見交換会等において用いたスライド（パワーポイント）資料
- 3 食品安全委員会のホームページに掲載されているハザード情報（Q&Aなど。1及び2を除く。）
- 4 食品安全委員会の季刊誌、パンフレット
- 5 食品安全委員会のメールマガジン
- 6 1～5以外の、食品安全委員会のホームページから得た資料（具体的に記入）
- 7 自分で作成した資料
- 8 科学的な情報誌（専門書・学術誌等）から得た資料
- 9 新聞・テレビのニュース（これらのニュースサイトを含む）から得た資料
- 10 上記以外のテレビの番組・週刊誌等から得た資料
- 11 他省庁・地方自治体のホームページから得た資料
- 12 5・9以外のインターネットから得た資料
- 13 その他の資料（具体的に記入）
- 14 相手の理解が深まったと考えられる資料はない
- 15 資料の配布等はしていない

問 9～11 は全員お答え下さい。

問 9 食品安全委員会から情報の提供があれば、家族や友人・隣人、職場の同僚等に、あなたがもっと話したいと思うテーマはありますか。選択肢 1～16の中から当てはまるものを全て選択して下さい。

**【選択肢】**

- 1 食品安全委員会の活動内容
- 2 上記 1 に限らず、食品安全行政の仕組み、食品の安全性を守る取組み
- 3 「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、といった、食品の安全性に関する一般的なこと
- 4 食中毒を起こさないための食品の保存や調理に関する一般的なこと
- 5 食品における有害微生物（細菌等）、ウイルス等に関すること
- 6 B S E（伝達性牛海綿状脳症）に関すること
- 7 食品添加物に関すること
- 8 放射性物質に関すること
- 9 農薬に関すること
- 10 汚染物質（メチル水銀、カドミウム、ヒ素等）に関すること
- 11 器具・容器包装からの溶出化学物質に関すること
- 12 遺伝子組換え食品等に関すること
- 13 いわゆる健康食品<sup>※</sup>に関すること
- 14 大規模な食中毒等の緊急事態の発生に関すること
- 15 その他（具体的に記入）
- 16 話すつもりはない、現状より話す機会等を増やすことは考えていない

※ 「いわゆる健康食品」とは、健康増進法（平成 14 年法律第 103 号）に基づく特定保健用食品及び栄養機能食品以外のもので、健康の保持又は増進に係る効果、機能等を表示して販売・利用されている食品を広く指しています。（問 10 も同じ）

例：「○○サプリ」「スーパースリムダイエット○○○」など

問 10 食品安全委員会から情報の提供があれば、地域活動・講演会・セミナー・勉強会等の場で3人以上の方に対して説明・講演等を行いたいと考えるテーマはありますか。選択肢1～16の中から当てはまるものを全て選択して下さい。

**【選択肢】**

- 1 食品安全委員会の活動内容
- 2 上記1に限らず、食品安全行政の仕組み、食品の安全性を守る取組み
- 3 「食品に含まれる物質等が安全か危険かは、摂取量にもよる」、「様々な食材をバランスよく食べることが重要である」、といった、食品の安全性に関する一般的なこと
- 4 食中毒を起こさないための食品の保存や調理に関する一般的なこと
- 5 食品における有害微生物（細菌等）、ウイルス等に関すること
- 6 BSE（伝達性牛海綿状脳症）に関すること
- 7 食品添加物に関すること
- 8 放射性物質に関すること
- 9 農薬に関すること
- 10 汚染物質（メチル水銀、カドミウム、ヒ素等）に関すること
- 11 器具・容器包装からの溶出化学物質に関すること
- 12 遺伝子組換え食品等に関すること
- 13 いわゆる健康食品に関すること
- 14 大規模な食中毒等の緊急事態の発生に関すること
- 15 その他（具体的に記入）
- 16 説明・講演等を行うことは考えていない

**2 モニター会議におけるグループ討議について**

問 11 あなたが、平成 25 年度のモニター会議のグループ討議において、グループでもっと話し合いたいと思ったテーマはありますか。出欠について選択肢1又は2の中から当てはまるものを選び、自由記入欄に、出席された方は、そのテーマを記述して下さい。欠席された方は、出席していたら話し合ってみたかったテーマがあれば記述してください。

**【選択肢】**

- 1 平成 25 年度モニター会議に出席した
  - 2 平成 25 年度モニター会議を欠席した
- ※選択肢1又は2を選んでから、自由記載欄に記入して下さい。

ご協力ありがとうございました。